

第3期

大館市子ども・子育て支援事業計画



令和7年3月

大館市

第1章 計画の策定にあたって

1 計画の位置付け	1
2 計画の期間	1
3 計画の対象	2
4 計画策定までの流れ	2

第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

1 人口と世帯の動向	3
2 教育・保育施設の状況	7
3 大館市における地域子ども・子育て支援事業の実施状況	10
4 大館市子ども・子育て支援事業ニーズ調査結果の概要	13

第3章 計画の基本方針

1 計画の基本理念	17
2 家庭、地域、事業者、行政の役割	17
3 基本的視点と主要施策の方向	18

第4章 子ども・子育て支援事業計画

1 教育・保育提供区域の設定	20
2 教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保の方策	20
3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保の方策	23
4 教育・保育の一体的提供及びその推進	36
5 産休後及び育休後の教育・保育施設の円滑な利用の確保	37
6 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保	37

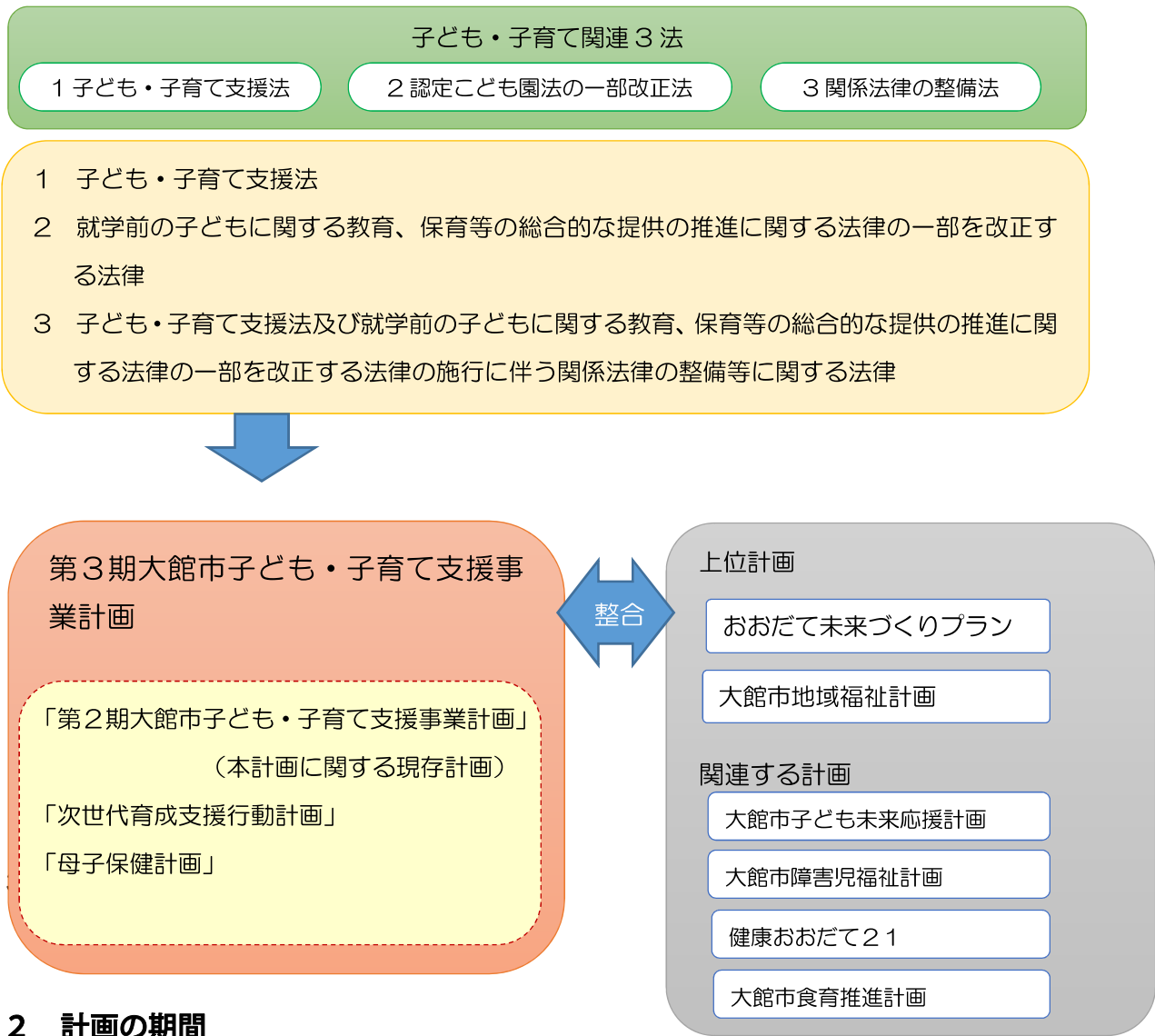
第5章 計画の推進体制

1 関係機関等との連携	39
2 雇用環境の整備に関する施策との連携	40
3 母子保健計画の施策	40
4 広域連携や県との連携	44
5 計画の点検・評価	44
6 その他の取り組み	45

1. 大館市子ども・子育て会議	51
(1) 大館市子ども・子育て会議に関する条例	51
(2) 大館市子ども・子育て会議委員名簿	53
2. 大館市子ども・子育て支援事業ニーズ調査結果	54
(1) 在宅乳幼児	55
(2) 保育施設利用児	69
(3) 小学1～6年生	84
3. 「第3期大館市子ども・子育て支援事業計画」(案)についての意見募集(パブリックコメント)の結果	94
4. 統計資料	102
住民基本台帳人口	102
大館市子ども課関連施設位置図・保育関連施設ごあんない Map	110

第 1 章 計画の策定にあたって

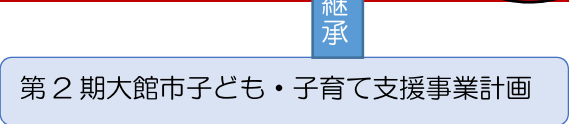
1 計画の位置付け



2 計画の期間

本計画の期間は、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間とします。各年度の進捗状況・評価等の進捗管理を行い、必要に応じて、計画の見直しを図ります。

年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
第3期大館市子ども・子育て支援事業計画	第3期計画期間									
			計画の 中間見直し			次期計画期間				



3 計画の対象

18歳以下のすべての子どもや子育て家庭を対象とするものです。

4 計画策定までの流れ

- ・「第2期大館市子ども・子育て支援事業計画」（現存の計画）を継承
- ・子ども及びその保護者の施設利用等に関する意向やその他事情を把握するため、ニーズ調査を実施（6月17日～7月12日）
- ・子ども・子育て支援法第72条の規定に基づく「大館市子ども・子育て会議」の場で内容等を審議（10月～3月に2回の会議と3部会を開催）
- ・パブリックコメント（意見募集）の実施（2月3日～2月21日）

●国・県と一体で行う子どもや保護者への主な給付と支援の一覧●

（他の事業については、第5章から記載しています）

子ども・子育て支援給付

○施設型給付

- ・認定こども園
- ・幼稚園
- ・保育園

○子育てのための施設等利用給付

- ・認可外施設
- ・幼稚園
- ・認定こども園の一時預かりに関する給付ほか

○乳児等のための支援給付（仮称：こども誰でも通園制度）

※月一定時間までの枠の中、時間単位等で柔軟に通園が可能な仕組み（令和8年4月給付化）

○地域型保育給付

- ・小規模保育
- ・家庭的保育
- ・居宅訪問型保育
- ・事業所内保育

○児童手当

すべてのこどもの育ちを支える基礎的な経済支援（令和6年10月より高校生年代まで拡充）

地域子ども・子育て支援事業

- ①利用者支援事業 ②地域子育て支援拠点事業 ③妊産婦健康診査 ④乳児家庭全戸訪問事業
- ⑤養育支援訪問事業及び子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
- ⑥子育て短期支援事業 ⑦子育て援助活動支援事業 ⑧一時預かり事業 ⑨延長保育事業
- ⑩病児保育事業 ⑪放課後児童健全育成事業 ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ⑬多様な事業者の参入促進・能力活用事業 ⑭子育て世帯訪問支援事業 ⑮児童育成支援事業
- ⑯親子関係形成支援事業 ⑰産後ケア事業 ⑱妊婦等包括相談支援事業

第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

1 人口と世帯の動向

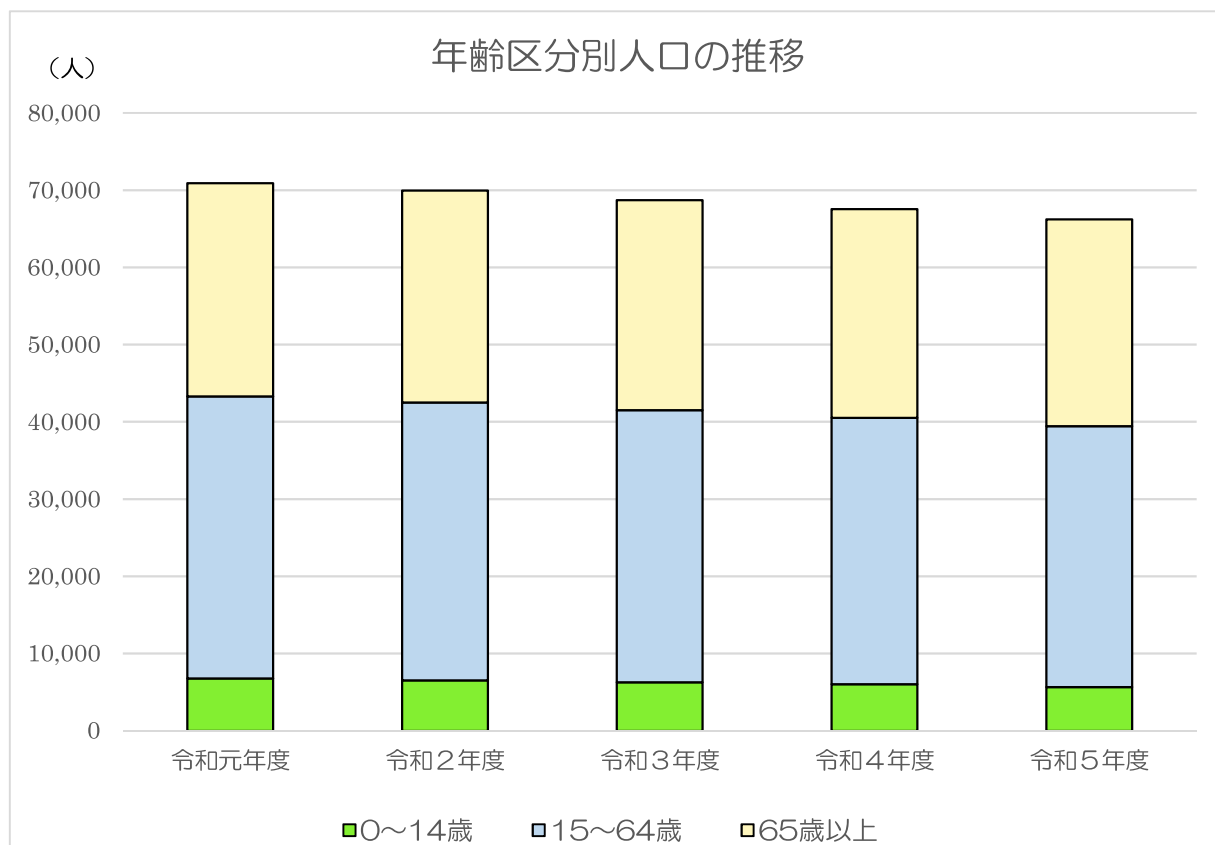
(1) 年齢別人口の推移（各年度末現在）

本市の人口は年々減少しており、令和5年度末の総人口は66,218人となっており、0歳から14歳の年少人口は、直近5年平均で6,243人、令和5年度末にあつては5,642人で8.5%となっています。

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年間平均
総人口	70,902	69,957	68,728	67,550	66,218	68,671
0～14歳	6,779	6,505	6,265	6,022	5,642	6,243
構成比	9.6%	9.3%	9.1%	8.9%	8.5%	9.1%
15～64歳	36,522	35,990	35,254	34,510	33,810	35,217
構成比	51.5%	51.4%	51.3%	51.1%	51.1%	51.3%
65歳以上	27,601	27,462	27,209	27,018	26,766	27,211
構成比	38.9%	39.3%	39.6%	40.0%	40.4%	39.6%

（資料：住民基本台帳）



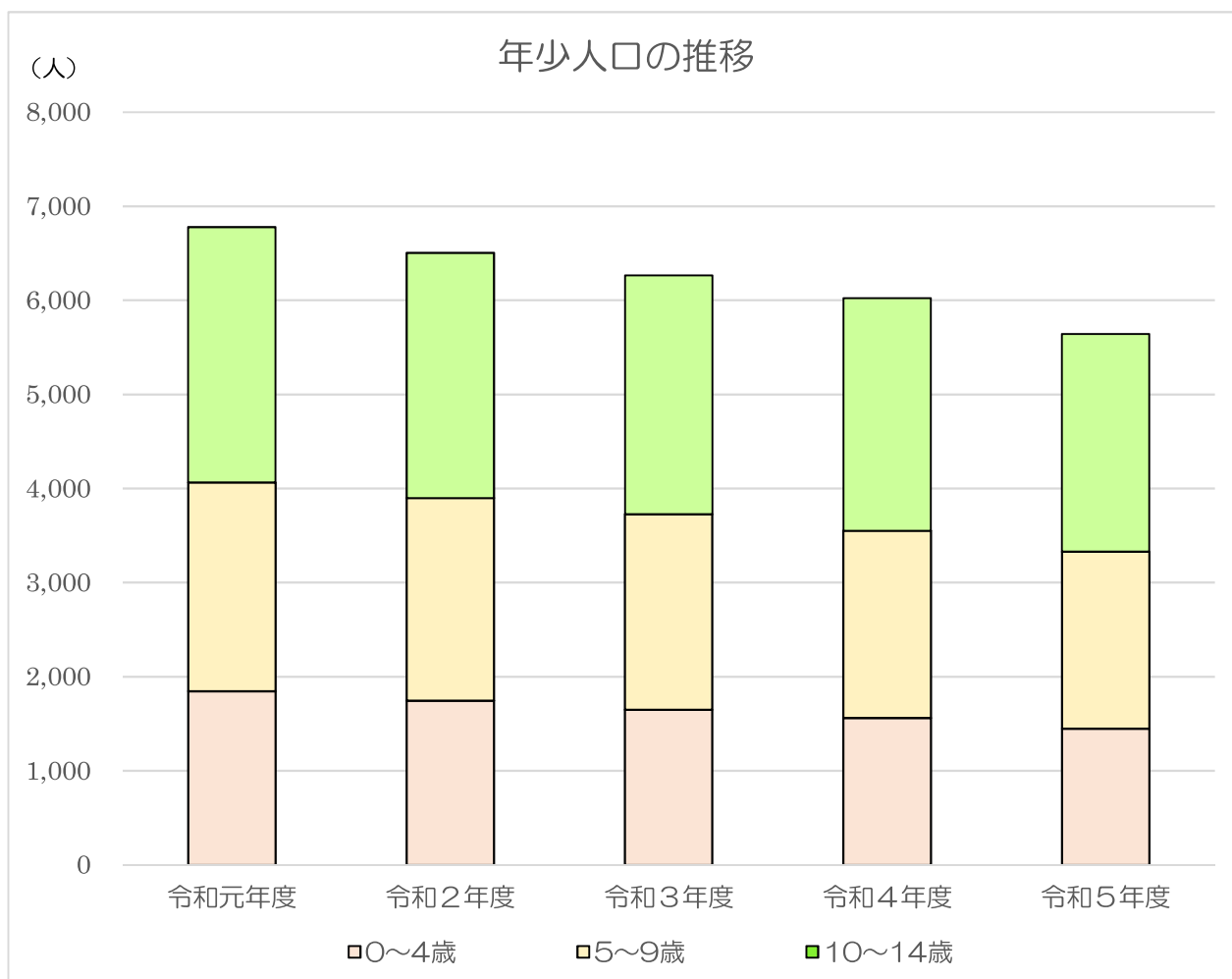
(2) 年少人口の推移（各年度末現在）

年少人口も総人口と同じく減少傾向となっています。この5年間で年少人口の減少は、1,137 人となっており、10～14 歳の減少割合が最も大きく、401 人の減となっています。

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年間の増減
0～4 歳	1,845	1,746	1,648	1,563	1,449	▲ 396
5～9 歳	2,219	2,153	2,078	1,988	1,879	▲ 340
10～14 歳	2,715	2,606	2,539	2,471	2,314	▲ 401
小 計	6,779	6,505	6,265	6,022	5,642	▲ 1,137

（資料：住民基本台帳）

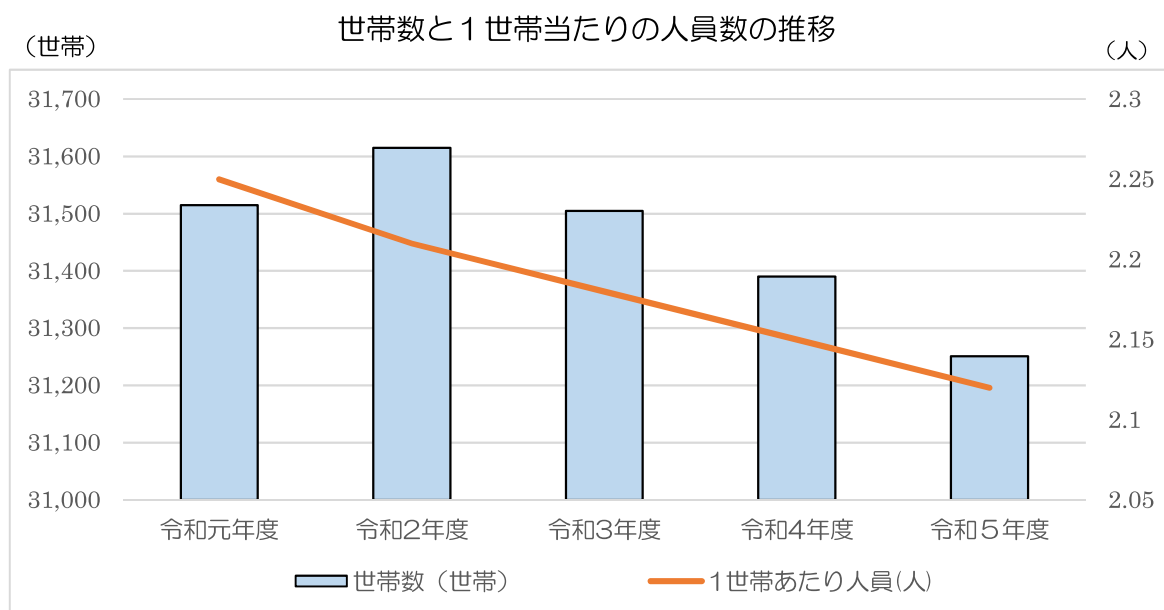


(3) 世帯数の推移（各年度末現在）

総人口が大きく減少しているのに対し、世帯数及び1世帯あたりの人員の減少は、ゆるやかに推移しています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
世帯数（世帯）	31,515	31,615	31,505	31,390	31,251
1世帯あたり人員（人）	2.25	2.21	2.18	2.15	2.12

（資料：住民基本台帳）



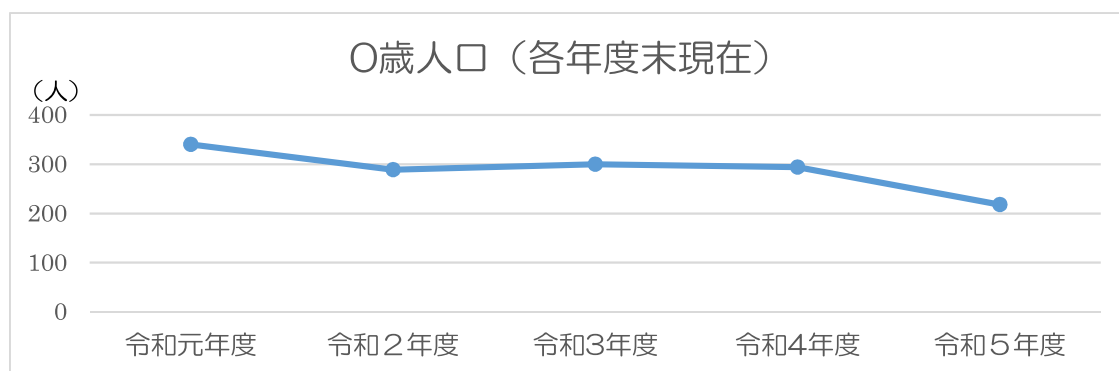
(4) 0歳人口の推移（各年度末現在）

令和3年度には前年度から11人増えましたが、令和元年度と比較すると令和5年度は、▲122人と大きく減少しています。

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出生数（人）	340	289	300	294	218

（資料：住民基本台帳）



(5) 今後の大館市の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所より）

男女計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総数	69,237	63,908	58,675	53,661	48,851	44,182	39,696
0～4歳	1,760	1,359	1,226	1,118	989	833	683
5～9歳	2,139	1,771	1,371	1,237	1,127	997	840
10～14歳	2,589	2,120	1,758	1,361	1,228	1,119	989
15～19歳	2,593	2,242	1,833	1,519	1,175	1,058	963
20～24歳	1,980	1,787	1,532	1,247	1,036	798	713
25～29歳	2,381	2,292	2,060	1,762	1,435	1,193	917
30～34歳	2,709	2,559	2,446	2,197	1,878	1,530	1,272
35～39歳	3,457	2,752	2,596	2,478	2,224	1,900	1,548
40～44歳	4,103	3,433	2,729	2,576	2,456	2,203	1,882
45～49歳	4,473	4,082	3,423	2,725	2,573	2,453	2,199
50～54歳	4,111	4,486	4,089	3,435	2,738	2,587	2,465
55～59歳	4,717	4,115	4,486	4,099	3,447	2,748	2,599
60～64歳	5,074	4,675	4,073	4,444	4,069	3,426	2,734
65～69歳	5,952	4,909	4,527	3,950	4,316	3,961	3,341
70～74歳	6,258	5,621	4,675	4,324	3,783	4,140	3,809
75～79歳	4,763	5,662	5,130	4,285	3,983	3,497	3,835
80～84歳	4,538	4,012	4,823	4,406	3,704	3,468	3,061
85～89歳	3,473	3,362	3,042	3,691	3,421	2,908	2,759
90歳～	1,683	1,986	1,989	1,852	2,289	2,173	1,885
(再掲)0～14歳	484	683	867	955	980	1,190	1,202
(再掲)15～64歳	6,488	5,250	4,355	3,716	3,344	2,949	2,512
(再掲)65歳以上	35,598	32,423	29,267	26,482	23,031	19,896	17,292
(再掲)65～74歳	27,151	26,235	25,053	23,463	22,476	21,337	19,892
(再掲)75歳以上	12,210	10,530	9,202	8,274	8,099	8,101	7,150
男	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総数	32,551	30,174	27,882	25,688	23,544	21,447	19,423
0～4歳	892	696	628	573	507	427	350
5～9歳	1,115	903	706	637	581	514	433
10～14歳	1,354	1,104	895	701	632	576	509
15～19歳	1,344	1,176	957	776	606	546	497
20～24歳	972	898	780	632	514	400	357
25～29歳	1,279	1,167	1,073	930	754	615	477
30～34歳	1,406	1,412	1,282	1,177	1,019	827	675
35～39歳	1,823	1,436	1,439	1,306	1,197	1,036	841
40～44歳	2,150	1,815	1,428	1,431	1,298	1,189	1,029
45～49歳	2,277	2,125	1,801	1,420	1,425	1,292	1,183
50～54歳	2,037	2,295	2,136	1,816	1,435	1,440	1,306
55～59歳	2,314	2,042	2,296	2,145	1,825	1,442	1,449
60～64歳	2,516	2,289	2,016	2,270	2,126	1,813	1,434
65～69歳	2,856	2,414	2,202	1,944	2,194	2,062	1,763
70～74歳	2,951	2,633	2,255	2,066	1,832	2,074	1,957
75～79歳	1,942	2,541	2,299	1,984	1,831	1,634	1,858
80～84歳	1,678	1,497	2,016	1,844	1,609	1,499	1,349
85～89歳	1,145	1,081	991	1,366	1,273	1,131	1,072
90歳～	425	526	518	492	703	675	618
(再掲)0～14歳	75	124	164	178	183	255	266
(再掲)15～64歳	3,361	2,703	2,229	1,911	1,720	1,517	1,292
(再掲)65歳以上	18,118	16,655	15,208	13,903	12,199	10,600	9,248
(再掲)65～74歳	11,072	10,816	10,445	9,874	9,625	9,330	8,883
(再掲)75歳以上	5,807	5,047	4,457	4,010	4,026	4,136	3,720
女	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総数	36,686	33,734	30,793	27,973	25,307	22,735	20,273
0～4歳	868	663	598	545	482	406	333
5～9歳	1,024	868	665	600	546	483	407
10～14歳	1,235	1,016	863	660	596	543	480
15～19歳	1,249	1,066	876	743	569	512	466
20～24歳	1,008	889	752	615	522	398	356
25～29歳	1,102	1,125	987	832	681	578	440
30～34歳	1,303	1,147	1,164	1,020	859	703	597
35～39歳	1,634	1,316	1,157	1,172	1,027	864	707
40～44歳	1,953	1,618	1,301	1,145	1,158	1,014	853
45～49歳	2,196	1,957	1,622	1,305	1,148	1,161	1,016
50～54歳	2,074	2,191	1,953	1,619	1,303	1,147	1,159
55～59歳	2,403	2,073	2,190	1,954	1,622	1,306	1,150
60～64歳	2,558	2,386	2,057	2,174	1,943	1,613	1,300
65～69歳	3,096	2,495	2,325	2,006	2,122	1,899	1,578
70～74歳	3,307	2,988	2,420	2,258	1,951	2,066	1,852
75～79歳	2,821	3,121	2,831	2,301	2,152	1,863	1,977
80～84歳	2,860	2,515	2,807	2,562	2,095	1,969	1,712
85～89歳	2,328	2,281	2,051	2,325	2,148	1,777	1,687
90歳～	1,258	1,460	1,471	1,360	1,586	1,498	1,267
(再掲)0～14歳	409	559	703	777	797	935	936
(再掲)15～64歳	3,127	2,547	2,126	1,805	1,624	1,432	1,220
(再掲)65歳以上	17,480	15,768	14,059	12,579	10,832	9,296	8,044
(再掲)65～74歳	16,079	15,419	14,608	13,589	12,851	12,007	11,009
(再掲)75歳以上	6,403	5,483	4,745	4,264	4,073	3,965	3,430

2 教育・保育施設の状況

(1) 定員・利用者数・施設数（令和6年4月1日現在）

各施設の利用状況については、次のとおりです。

① 認可保育施設

認可保育施設の数、市立保育園 9 園、私立保育園 1 園、認定こども園（保育認定）8 園、地域型保育施設 2 施設となっています。

また、利用定員数は 1,499 人、入所児童数は 1,275 人です。

② 認可外保育施設（事業所内託児所・へき地保育所・企業主導型保育施設）

事業所内託児所 2 施設、企業主導型保育施設 3 施設、へき地保育所 5 施設となっています。入所児童数は 139 人です。

③ 教育施設

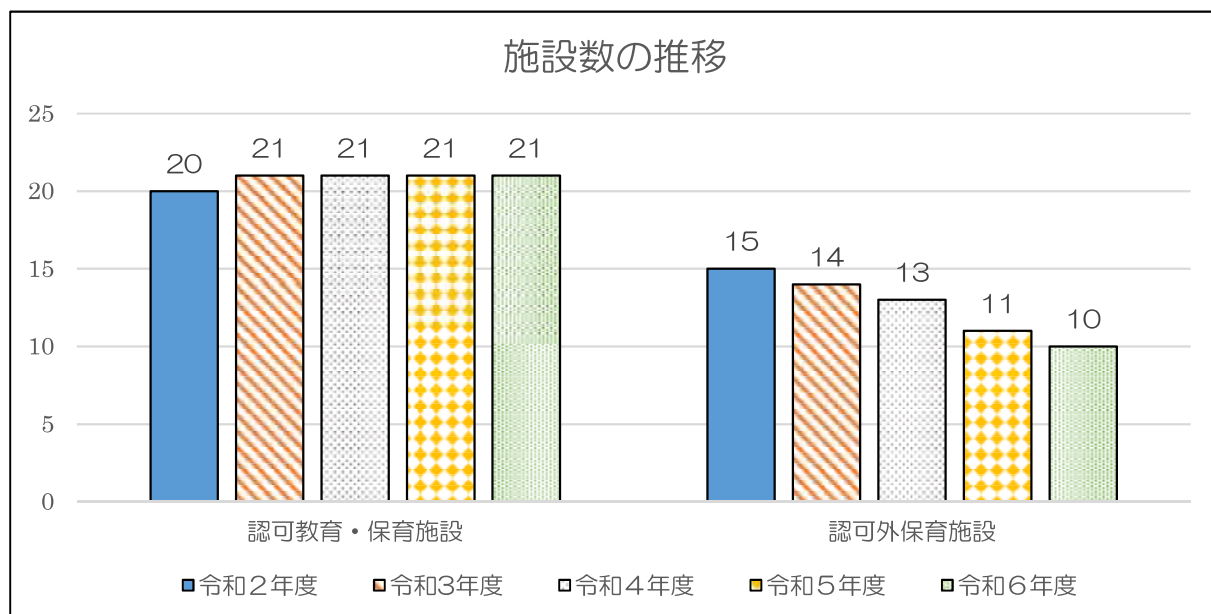
私立幼稚園 1 園、認定こども園（教育認定）8 園となっています。また、利用定員数は 155 人、入所児童数は 100 人です。

教育・保育施設			施設数	利用定員	利用者数						
					0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可	保育施設	市立保育園	9	715	20	67	95	117	131	134	564
		私立保育園	1	60	5	27	24	0	0	0	56
		認定こども園（保育認定）	8	702	34	106	112	119	137	131	639
		地域型保育施設	2	22	1	8	7	0	0	0	16
		小計	20	1,499	60	208	238	236	268	265	1,275
	教育施設	私立幼稚園	1	25	0	0	0	7	7	5	19
		認定こども園（教育認定）	(8)	130	0	0	0	16	39	26	81
		小計	9	155	0	0	0	23	46	31	100
	認可外保育施設	へき地保育所	5	140	0	0	8	12	22	19	61
			事業所内保育所	2	25	0	3	3	0	0	6
			企業主導型保育施設	3	95	9	25	24	5	7	72
			小計	10	260	9	28	35	17	21	139
合計			31	1,914	69	236	273	276	343	317	1,514

（２）施設数及び施設別利用者数の推移（各年度の４月１日現在）

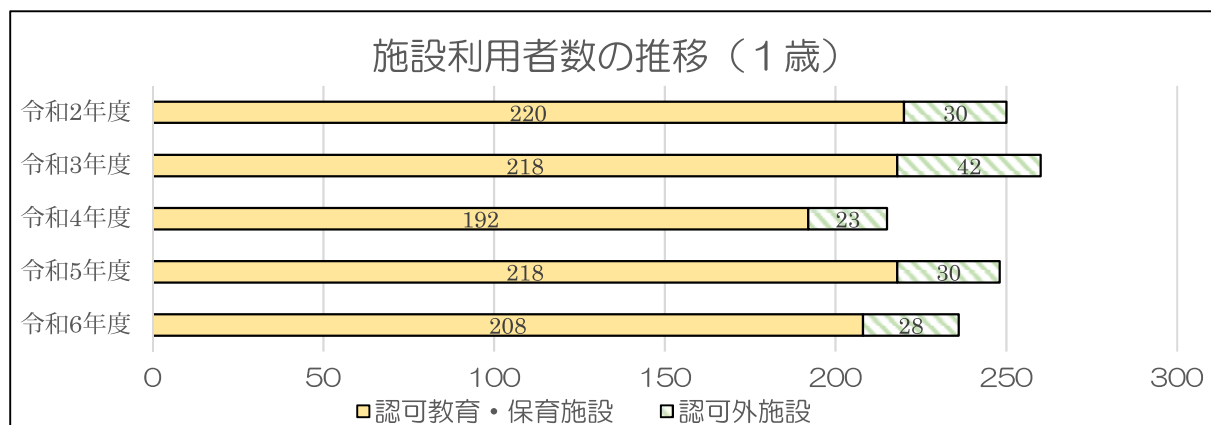
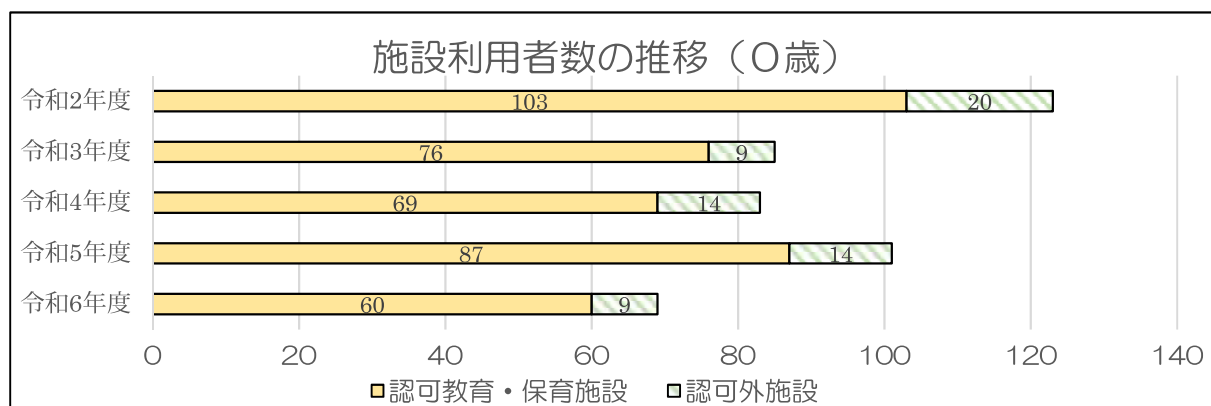
令和２年度からの５年間で、利用児童数の減少により認可外保育施設が減少となり、令和４年度末で、認定保育施設については、すべて廃止となりました。また、３歳未満のお子さんをお持ちのかたで就労を希望するかたが増加傾向にあるため、０～２歳までの認可保育施設の利用者数についても増加しています。

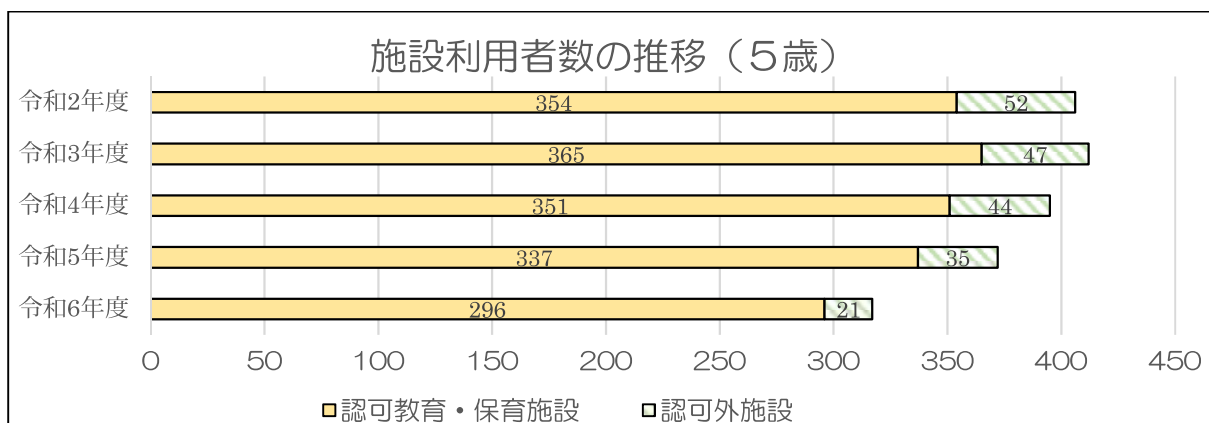
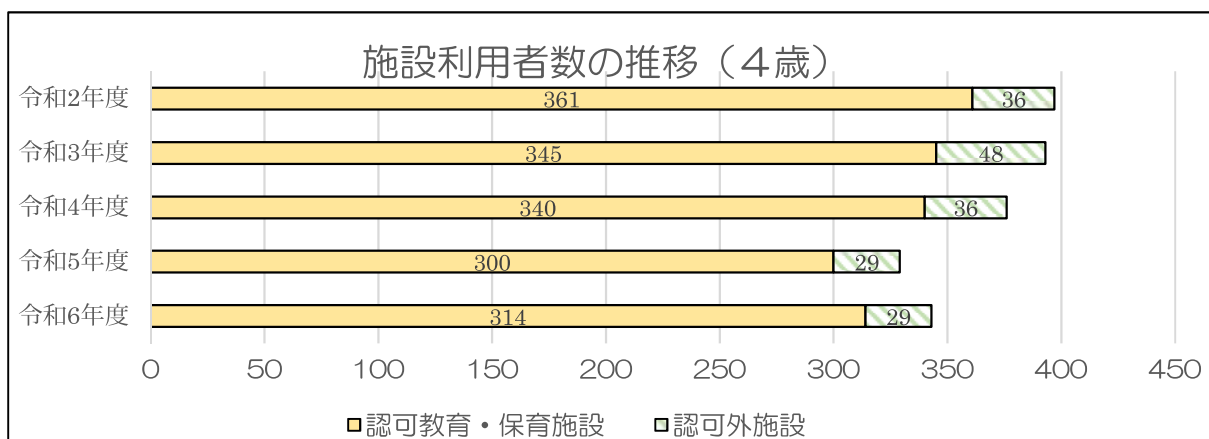
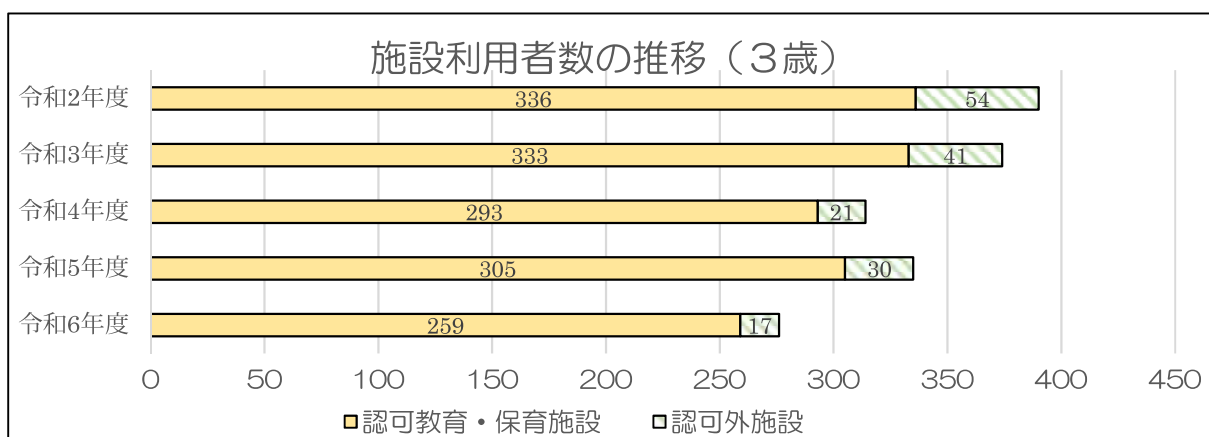
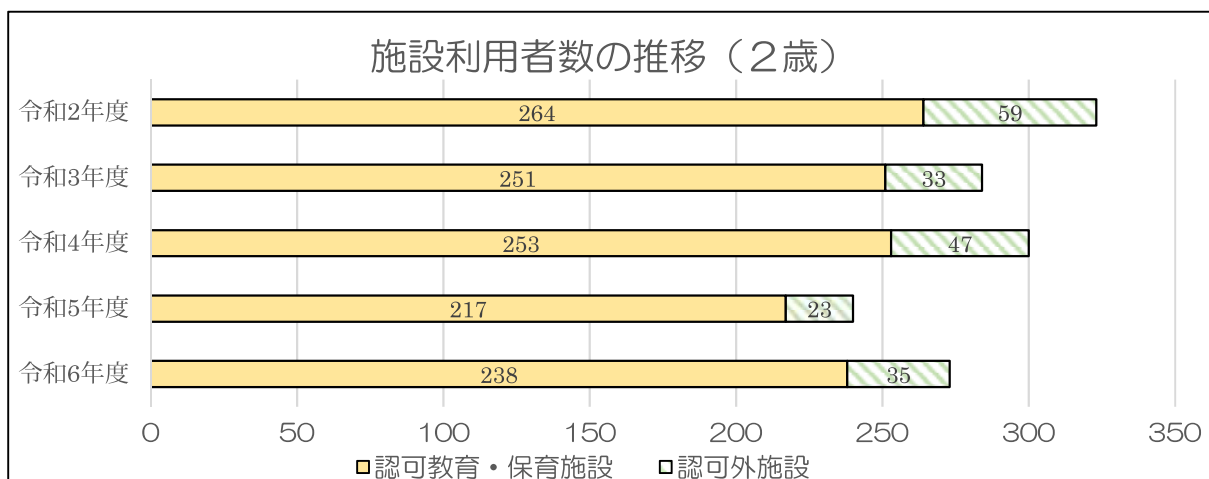
【施設数】



【施設利用者数】

【単位：人】





3 大館市における地域子ども・子育て支援事業の実施状況

「第2期大館市子ども・子育て支援事業計画」(現存の計画)における子育てに関する施策 (基本目標及び施策の方向性)	地域子ども・子育て支援事業一覧 ※ここでは、国・県と一体で行う主な事業のみ記載しています	市の取り組み事業一覧 ※事業の詳細は、第4章及び第5章に記載しています
基本目標 1「高水準の教育・保育環境の整備」		
施策 1. 多様な保育サービスの提供	①利用者支援事業(特定型) ②地域子育て支援拠点事業 ⑥子育て短期支援事業 ⑦子育て援助活動支援事業 ⑧一時預かり事業 ⑩病児保育事業	○はちくんすくすく子育て支援事業 ○在宅子育て支援事業 ○子育て広場(拠点)の実施 ○一時預かり事業(一般型・幼稚園型) ○病児・病後児保育事業 ○育児休業取得支援助成金(企業へ) ○子育て援助活動支援事業 ほか
施策 2. 保育サービスの充実	⑨延長保育事業 ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業 ⑬多様な事業者の参入促進・能力活用事業	○延長保育事業・休日保育事業 ○保育料助成(すこやか子育て支援事業) ○保育施設への助成(施設型給付費・保育士宿舍借上支援事業) ほか
施策 3. 放課後における居場所づくり	⑪放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)	○放課後健全育成事業 ○放課後子ども教室推進事業 ほか
基本目標 2「切れ目なく子育てに寄り添う重層的サービスの確保」		
施策 1. 親と子どもの健康の確保	①利用者支援事業(母子保健型) ③妊産婦健康診査 ④乳児家庭全戸訪問事業 〔母子保健計画〕(P.40～)	○子育て世代包括支援センター ○乳幼児・小中学生等の医療費助成 ○妊産婦・乳幼児健診事業 ○不妊治療費助成 ほか
基本目標 3「あらゆるリスクに対応したセーフティネットの構築」		
施策 1. 児童虐待防止対策の充実	⑤養育支援訪問事業及び子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	○要保護児童対策地域協議会(子ども・家族支援ネットワーク会議) ○母子生活支援施設 ○ショートステイ事業 ほか

地域子ども・子育て支援事業とは、子どもや子育て家庭等を対象とし、地域の実情に応じて実施している事業です。この事業の他に市が行う関連事業については、第5章に記載しています。

「第2期大館市子ども・子育て支援事業計画」教育・保育の量及び13事業

No.	事業名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績見込み (R7.1.31 現在)
	教育・保育の量の 見込みと確保方 策	1号 146人 2号 962人 3号 1,2歳児 512人 0歳児 135人	1号 135人 2号 903人 3号 1,2歳児 499人 0歳児 140人	1号 122人 2号 839人 3号 1,2歳児 514人 0歳児 110人
①	利用者支援事業	(特定型/母子保健型) 専任職員 : 1人/2人 相談等件数: 1,353件/1,796件	(特定型/母子保健型) 専任職員 : 1人/2人 相談等件数: 939件/1,483件	(特定型/母子保健型) 専任職員: 1人/兼任職員: 7人 相談等件数: 1,288件/1,101件
②	地域子育て支援 拠点事業	4箇所(内2箇所自主) つどいの広場ひよこ 城南分園子育て相談室 (自主事業) 扇田地域子育て支援センター たしろ子育て支援室	4箇所(内2箇所自主) つどいの広場ひよこ 城南分園子育て相談室 (自主事業) 扇田地域子育て支援センター たしろ子育て支援室(自主事業)	4箇所(内2箇所自主) つどいの広場ひよこ 城南分園子育て相談室 (自主事業) 扇田地域子育て支援センター たしろ子育て支援室(自主事業)
③	妊産婦健康診査	受診者数: 延べ人数 4,550人	受診者数: 延べ人数 3,309人	受診者数: 延べ人数 2,613人
④	乳児家庭全戸訪 問事業 (こんにちは赤ち ゃん事業)	対象家庭数: 318戸 家庭訪問数: 313戸	対象家庭数: 223戸 家庭訪問数: 221戸	対象家庭数: 234戸 家庭訪問数: 234戸
⑤	養育支援訪問事 業、子どもを守る 地域ネットワー ク機能強化事業	大館市子ども・家庭支援ネッ トワーク会議の実施 養育支援訪問事業 家事利用実人数 24人 家事利用延件数 100件	大館市子ども・家庭支援ネッ トワーク会議の実施 養育支援訪問事業 家事利用実人数 24人 家事利用延件数 97件	大館市子ども・家庭支援ネッ トワーク会議の実施 養育支援訪問事業 家事支援: 子育て世帯訪問支援事業へ 移行 専門的相談支援事業: 未実施 (母子保健事業で実施)
⑥	子育て短期支援事 業 (ショートステイ・ トワイライトステ イ)	トワイライト 1箇所 白百合ホーム 平日 延べ317人 休日 延べ302人 ショートステイ 3箇所 陽清学園、秋田赤十字乳児院、 その他、市内の里親等 延べ47人	トワイライト 1箇所 白百合ホーム 平日 延べ217人 休日 延べ319人 ショートステイ 3箇所 陽清学園、秋田赤十字乳児院、 その他、市内の里親等 延べ10人	トワイライト 1箇所 白百合ホーム 平日 延べ 39人、 休日 延べ252人 ショートステイ 4箇所 陽清学園、秋田赤十字乳児院、 白百合ホーム、その他、市内の 里親等 延べ 28人

No.	事業名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績見込み (R7.1.31 現在)
⑦	子育て援助活動 支援事業	利用会員 241 人、協力会員 53 人 両方会員 7 人、会員計 294 人 利用人数 2,235 人、利用時間 2,953h	利用会員 267 人、協力会員 64 人 両方会員 4 人、会員計 331 人 利用人数 1,519 人、利用時間 2,123h	利用会員 307 人、協力会員 73 人 両方会員 4 人、会員計 384 人 利用人数 814 人、利用時間 1,343.5h
⑧	一時預かり事業	一般型：2 箇所 延べ人数 1,095 人 たしろ保育園、白百合ホーム 幼稚園型：3 箇所 延べ人数：4,642 人	一般型：2 箇所 延べ人数 760 人 たしろ保育園、白百合ホーム 幼稚園型：3 箇所 延べ人数：3,536 人	一般型：2 箇所 延べ人数 683 人 たしろ保育園、白百合ホーム 幼稚園型：3 箇所 延べ人数：3,242 人
⑨	延長保育事業	実人数 408 人 16 箇所 市立保育園 9 園、私立保育園 1 園、 私立認定こども園 5 園 休日保育事業 私立保育園 1 園 延利用人数：138 人	実人数 383 人 15 箇所 市立保育園 9 園、私立保育園 1 園、 私立認定こども園 5 園 休日保育事業 私立保育園 1 園 延利用人数：268 人	実人数 320 人 15 箇所 市立保育園 9 園、私立保育園 1 園、 私立認定こども園 5 園 休日保育事業 私立保育園 1 園 延利用人数：109 人
⑩	病児保育事業	2 箇所 病児：マミースマイル 延人数：899 人 病後児：エンジェル 延人数：114 人 【参考】 病児：キッズテラスアットセ イジュ（企業主導型） 延人数：137 人	1 箇所 病児：マミースマイル 延人数：1,156 人 病後児：エンジェル R5 年度 休止 【参考】 病児：キッズテラスアットセ イジュ（企業主導型） R5 年度 休止	2 箇所 病児：マミースマイル 延人数：869 人 病後児：エンジェル 延人数：67 人 【参考】 病児：キッズテラスアット セイジュ（企業主導型） R6 年度 休止
⑪	放課後児童クラ ブ(放課後児童健 全育成事業)	放課後児童健全育成事業 施設数 19 箇所 登録者数 944 人 放課後子供教室 施設数 6 箇所 登録者数 130 人	放課後児童健全育成事業 施設数 19 箇所 登録者数 920 人 放課後子供教室 施設数 6 箇所 登録者数 129 人	放課後児童健全育成事業 施設数 19 箇所 登録者数 858 人 放課後子供教室 施設数 6 箇所 登録者数 127 人
⑫	実費徴収に係る 補足給付を行う 事業	未実施	未実施	未実施
⑬	多様な事業者の 参入促進・能力活 用事業	未実施	未実施	未実施

4 大館市子ども・子育て支援事業ニーズ調査結果の概要

子育て家庭の就労希望の状況・子育て支援事業・教育保育施設・学校教育・放課後児童クラブ等に関する利用状況を把握することができました。

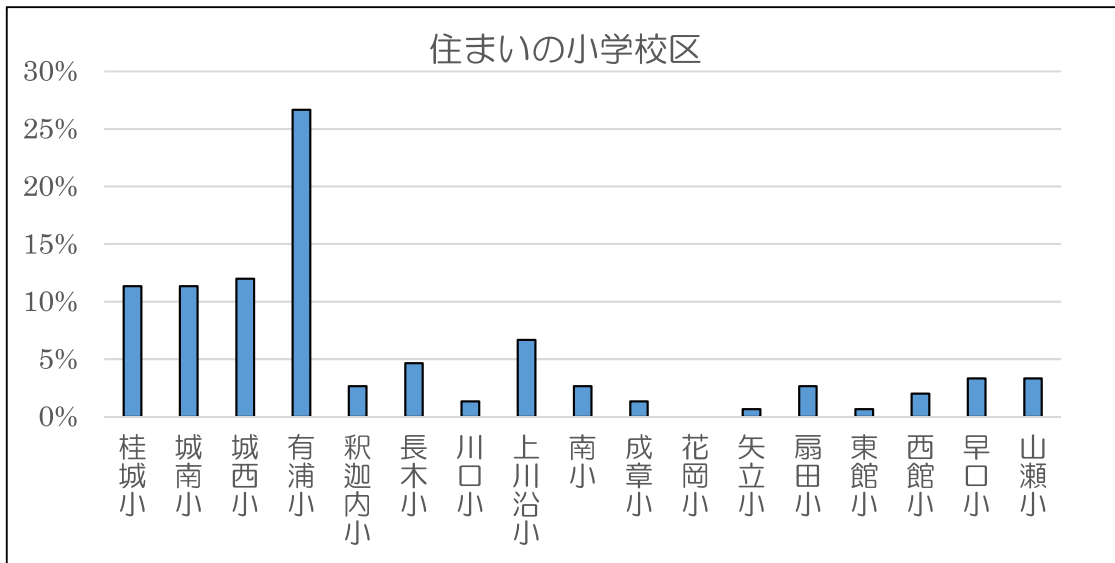
また、市が行う事業については、多数のご意見・ご要望をいただき、その内容を参考に、市が展開する子育て支援事業の方向性を検討していきます。

調査名	大館市子ども・子育て支援事業ニーズ調査			
実施主体	大館市子ども・子育て会議			
目的	子ども・子育て支援法第61条の規定により、市町村は、国の示す基本指針に即して5年を一期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされている。この事業計画策定にあたり、基礎となる、「幼児教育・保育・子育て支援」の「量の見込み」設定に必要な「今後の利用希望」を把握するため、また、子ども及び子育て家庭の実情を把握するため、保護者を対象とした「ニーズ調査」を実施する。			
調査期間	令和6年6月17日～7月12日			
対象者	無作為に抽出した小学6年生以下の子どもの保護者（R6.4.1 基準）			
配付数	在宅乳幼児 245 部	保育施設等入所者 540 部	小学1～6年生 650 部	合計 1,435 部
配付方法	郵送	保育施設等を通じて	小学校を通じて	
回収方法	返送用封筒による郵送	施設へ提出されたものを市で回収	小学校へ提出されたものを市で回収	
回収数	150 部	518 部	609 部	1,277 部
回収率	61.2%	95.9%	93.7%	89.0%
調査事項	○家族の状況 ○子どもの環境 ○保護者の就労状況 ○教育・保育事業（施設）の利用状況と利用希望 ○子育て支援事業等の利用状況と利用希望 ○一時的な預かりの利用希望 ○就学後の放課後の過ごし方 ○育児と仕事の両立 ○こども誰でも通園制度 ○市の子育て支援について			

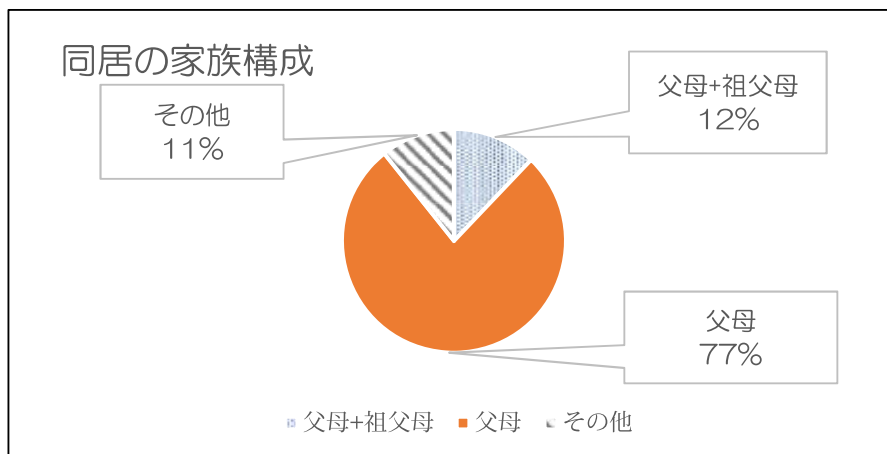
子育て支援事業の量の見込みと確保方策については、第4章に記載しています。

【在宅乳幼児の主な集計結果】

- ① 住まいの小学校区（旧市内が61%と過半数。近年、住宅及びアパート建設が多い有浦地区に集中）

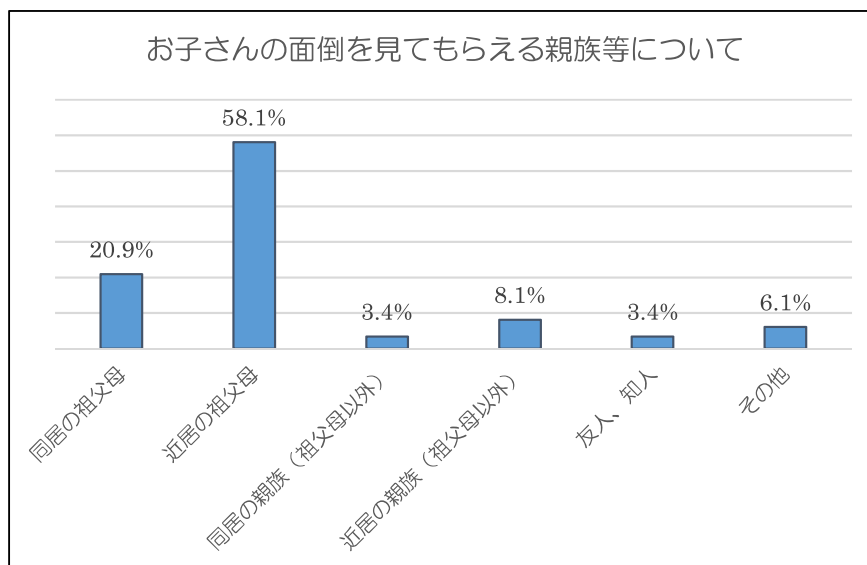


- ② 在宅乳幼児の家族構成（約12%が祖父母との同居、88%が核家族世帯）



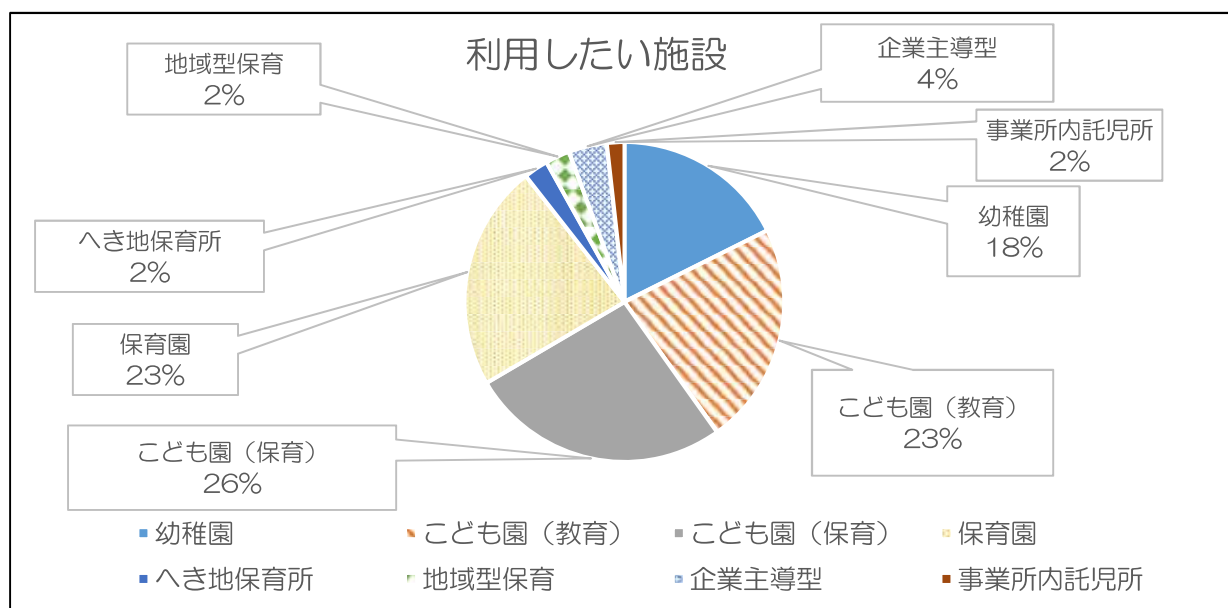
その他
（ひとり親世帯など）

- ③ 日常的・緊急時にお子さんをみてもらえる親族について



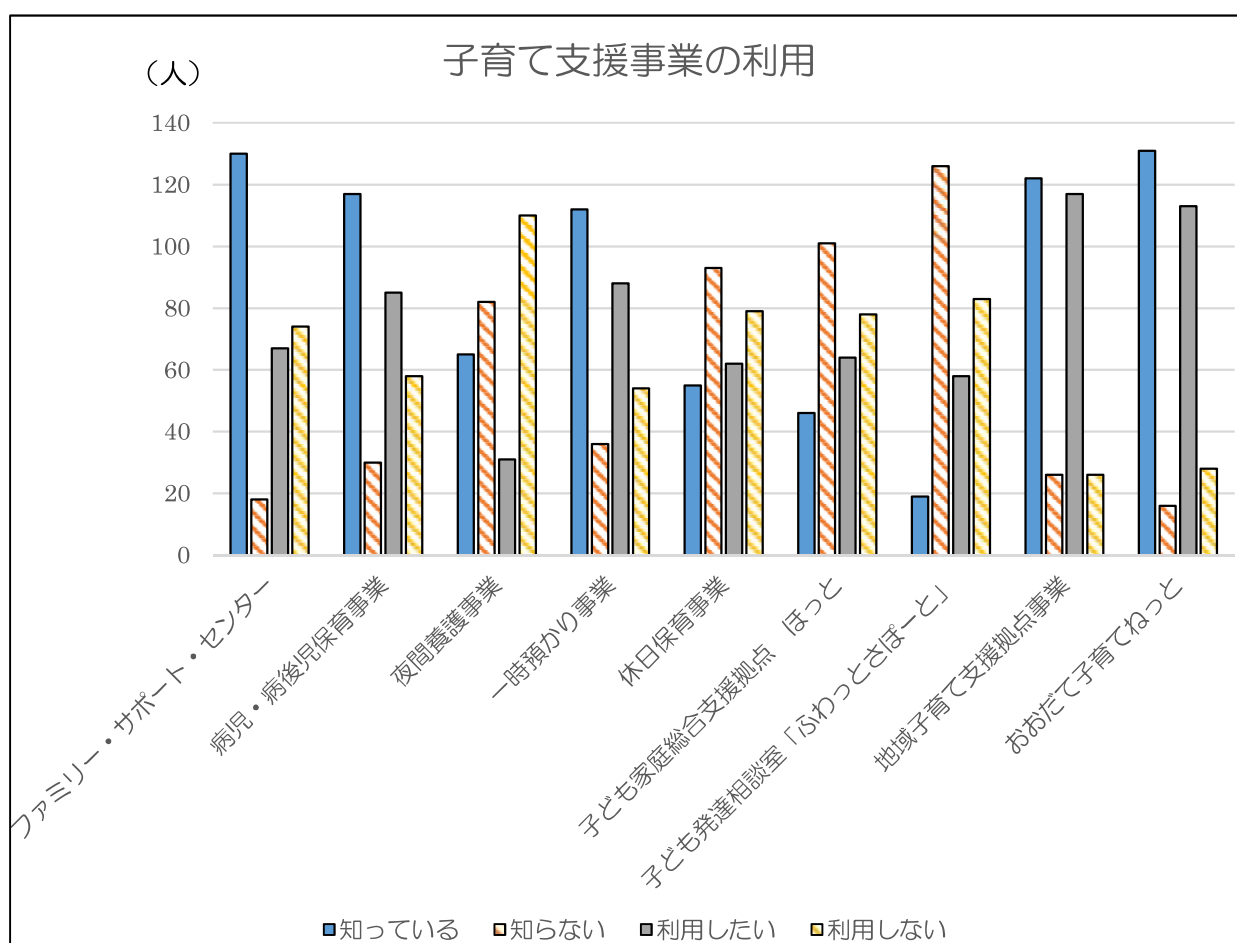
日常的・緊急的にお子さんを見てもらえる親族がいると答え たかたのうち、2割が同居の祖父母、6割が近居の祖父母

④利用したい施設【3歳以上児童の利用施設（こども園（教育）、幼稚園など）の希望者が43%】



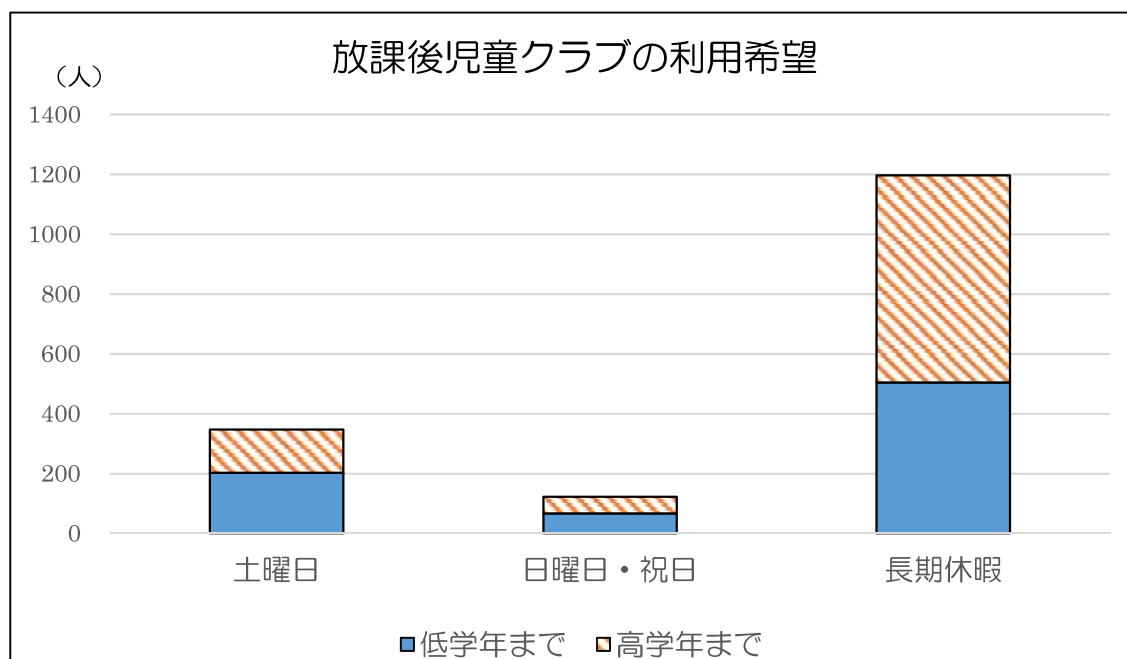
⑤子育て支援事業の利用

認知度が高い事業は、「ファミリー・サポート・センター事業」「おおだて子育てねっと」、利用したい事業は、「おおだて子育てねっと」、「地域子育て支援拠点事業」。認知度が低い事業「子ども発達相談室」。



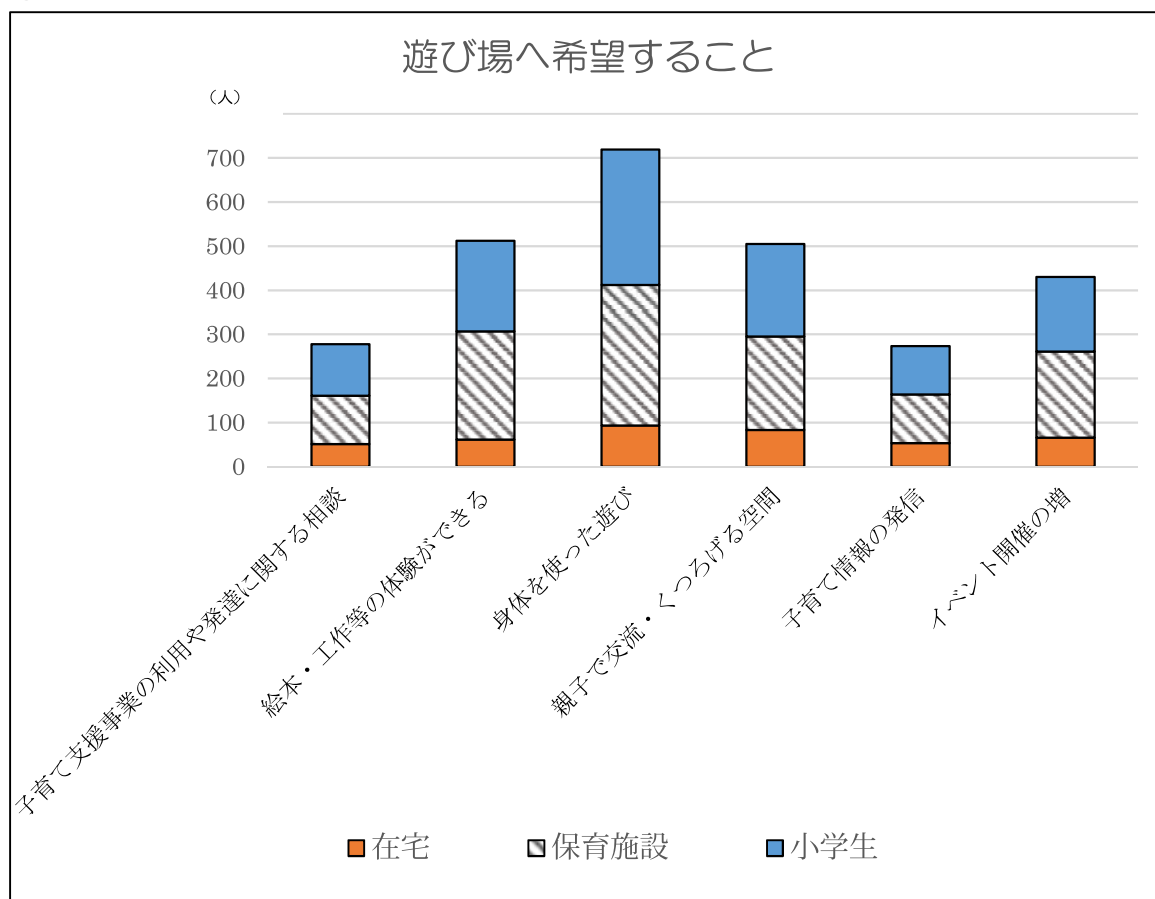
⑥放課後児童クラブの利用希望の状況(長期休業中の利用希望は5割、土曜日の利用希望は約2割)

保育施設を利用している4歳以上の保護者と小学生の保護者の主な利用希望状況



※また、利用したい時間帯は、朝は8時・夕方は18時が最も多かった。

⑦子どもの遊び場について、設備運営面で期待すること(身体を使った遊びを望む声が多い。)



第3章 計画の基本方針

1 計画の基本理念

「こどもまんなか社会」
全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態
(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会

基本目標 1 最適な教育・保育サービスの提供及び放課後のこどもの居場所の確保

育児休業明けを含む低年齢児の保育枠を確保するなど、公立保育施設の適正配置や定員調整を行うほか、保護者の働き方や保育ニーズに合わせた多様なサービスを通じて、働きながら子育てしやすい環境を整え、教育・保育サービスの質と量を確保します。

こどもたちに安全・安心な放課後の居場所を提供するため、放課後健全育成事業と放課後子供教室の一体的または連携した児童クラブを開設し、待機児童の解消を図ります。

基本目標 2 妊娠期から子育て期の切れ目のない包括的な支援の確保

「子育て世代包括支援センター さんまある」と「子ども家庭総合支援拠点 ほっと」の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関「こども家庭センター」を設置し、妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進に関する包括的な支援、子育て期の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく進めていきます。

基本目標 3 成育環境に左右されない健やかな成長環境の保障

障害、疾病、虐待、貧困、家族の状況その他の事情により社会的な支援の必要性が高いこどもと家庭へ、市が展開する教育支援・生活支援・保護者への就労支援・経済的支援・ネットワークによる網羅的支援を届けられるよう、地域、機関、団体等、様々な地域資源を最大限に活かし、体制整備を進めていきます。

2 家庭、地域、事業者、行政の役割

核家族化や地域の関わりの希薄化に伴い、家庭や地域の教育力が低下し、教育・保育施設の役割が一層重要となるため、施設・学校・行政・医療機関等の連携の強化を進めていきます。

3 基本的視点と主要施策の方向

①最適な教育・保育サービスの提供に関する視点

0歳から22歳までの成長過程にすべての教育・保育機関が協働して関わることを基本とした「大館ふるさとキャリア教育」の理念のもと「人間的基礎力」の育成に向け、心理・療育等との連携を強化するとともに、研修や授業・保育参観等に参加しやすい体制づくりの支援を行い、年中児から小学校低学年までの連続した「架け橋期のカリキュラム」の開発と、保育・授業改善のための研修及び普及を図ります。

②妊娠期から子育て期の切れ目のない包括的な支援の確保に関する視点

「こども家庭センター」を設置し、妊娠時から出産・子育て期まで、一貫して身近で相談に応じ、ニーズに即した必要な支援へとつなぐ伴走型相談支援と退院直後の母子に対しての心身のケアや育児のサポート等を行う産後ケア事業の実施体制を強化していきます。

また、複雑化・潜在化している児童虐待への対応やこどもや子育て世帯が抱えるさまざまな問題、ひとり親家庭への支援等を推進し、切れ目のない包括的な支援の充実を図ります。

③成育環境に左右されない健やかな成長環境の保障に関する視点

こどもが心豊かに成長していくためには、地域全体で子育て家庭やこどもの成長を支える環境づくりに取り組むことが必要です。子育てと仕事等の両立を会員相互で支えるファミリー・サポート・センターの充実を図るほか、地域子育て支援拠点施設や家庭教育支援チームなどの活動を通して、子育て家庭と地域との関わりを深めるなど、市民の積極的な子育て支援への参加を促進します。

また、子ども・家族支援ネットワーク会議等の関連機関の連携を強化し、セーフティネットの構築をしていきます。

④「ワーク・ライフ・バランス」を実現する視点

男女ともに子育てと仕事を両立させ、「仕事と生活との両立（ワーク・ライフ・バランス）」の意識啓発に努めるとともに、男女双方の育児休業取得や多様な働き方について、「働くパパママ応援企業認定制度」を活用し、働きやすい職場環境づくりへの啓発活動を進めます。

⑤こどもまんなか社会の視点

こどもや子育て家庭の置かれた状況に応じて必要な支援が義務教育開始・終了年齢や、成年年齢である18歳、20歳といった特定の年齢で途切れることなく行われ、乳幼児期から学童期・思春期・青年期を経て成人期への移行期にある若者が自分らしく社会生活を送ることができるようになるまでを、社会全体で切れ目なく支えていきます。

「第3期大館市子ども・子育て支援事業計画」における子育てに関する施策 (基本目標及び施策の方向性)	地域子ども・子育て支援事業一覧 ※ここでは、国・県と一体で行う主な事業のみ記載しています。	市の取り組み事業一覧 ※事業の詳細は、第4章及び第5章に記載しています
基本目標 1「最適な教育・保育サービスの提供及び放課後のこどもの居場所の確保」		
施策 1. 多様な保育サービスの提供	①利用者支援事業（特定型） ②地域子育て支援拠点事業 ⑥子育て短期支援事業（トワイライト） ⑦子育て援助活動支援事業 ⑧一時預かり事業 ⑩病児保育事業	○はちくんすくすく子育て支援事業 ○在宅子育て支援事業 ○子育て広場（拠点）の実施 ○一時預かり事業（一般型・幼稚園型） ○病児・病後児保育事業 ○育児休業取得支援助成金（企業へ） ○子育てファミリー支援事業 ほか
施策 2. 保育サービスの充実	⑨延長保育事業 ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業 ⑬多様な事業者の参入促進・能力活用事業	○延長保育事業 ○休日保育事業 ○保育料助成（すこやか子育て支援事業） ○保育施設への助成（施設型給付費）ほか
施策 3. 放課後のこどもの居場所づくり	⑪放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業） ⑮児童育成支援事業	○放課後健全育成事業 ○放課後子ども教室推進事業 ほか
基本目標 2「妊娠期から子育て期の切れ目のない包括的な支援の確保」		
施策 1. 妊娠期から子育て期の切れ目のない包括的な支援	①利用者支援事業（こども家庭センター型） ③妊産婦健康診査 ④乳児家庭全戸訪問事業 ⑭子育て世帯訪問支援事業 ⑰産後ケア事業 ⑱妊婦等包括相談支援事業 〔母子保健計画〕（第5章に記載）	○こども家庭センター母子保健機能 ○医療費助成事業 ○妊産婦・乳幼児健診事業 ○不妊治療費助成 ほか

「第3期大館市子ども・子育て支援事業計画」における子育てに関する施策 (基本目標及び施策の方向性)	地域子ども・子育て支援事業一覧 ※ここでは、国・県と一体で行う主な事業のみ記載しています。	市の取り組み事業一覧 ※事業の詳細は、第4章及び第5章に記載しています
基本目標3「成育環境に左右されない健やかな成長環境の保障」		
施策 1. 児童虐待防止対策の充実	①利用者支援事業(こども家庭センター型) ⑤養育支援訪問事業及び子どもを守る地域ネットワーク強化事業 ⑥子育て短期支援事業(ショートステイ) ⑩親子関係形成支援事業	○こども家庭センター児童福祉機能 ○要保護児童対策地域協議会 ○母子生活支援施設 ○ショートステイ事業 ほか

第4章 子ども・子育て支援事業計画

1 教育・保育提供区域の設定

①教育・保育提供区域

教育・保育提供区域とは、子ども・子育て支援法第61条第1項第2号に基づく、地域の実情に応じて、保護者や子どもが住居から、より容易に移動することが可能な区域であり、地理的条件、人口、交通事情等の社会的条件や教育・保育の整備の状況等を総合的に勘案して設定するものです。

②区域の設定について

本市においては、居住地・職場・親族による送迎など、様々な理由で保育環境を選択しており、保護者がどの施設でも自由に希望することができるよう、市内全体を1つの区域と定めることとします。

2 教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保の方策

各年度における教育・保育の量の見込み（必要利用定員総数）並びに実施しようとする教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期は、【表1】の認定区分を基準に大館市に居住する子ども及びその保護者の教育・保育の利用状況及びニーズ調査等により推計した潜在的利用希望等を踏まえ、【表2】のとおりとします。

【主な取り組み】

年度当初の待機児童の解消が見込まれる【表2】ことから、0,1 歳児の年度途中の待機を解消します。保育従事者の雇用環境の充実に努め、受入れ枠の確保を図ります。

また、供給過多にある3歳以上については、民間施設の児童数を確保するため、公立保育施設適正配置計画において公立保育施設の適正配置と定員の調整を図っていきます。

また、縮小・廃止によって保護者の不利益にならないよう要望を汲み取り、新たな子育て支援サービスの実施を検討していきます。

【表1：認定区分について】

こどもの年齢や保育の必要性の状況に応じて、3つの区分に認定し、教育・保育を提供することとなります。なお、2・3号認定は、標準時間（主にフルタイムの就労を想定。現行の11時間保育）及び短時間（主にパートタイムの就労を想定。8時間保育）の保育必要量を設けています。

認定区分	対象年齢	保育の必要性／保育必要量		対象施設
1号認定	3～5歳	なし	教育標準時間	幼稚園、認定こども園
2号認定	3～5歳	あり	保育標準時間 ----- 保育短時間	保育園、認定こども園
3号認定	0～2歳	あり	保育標準時間 ----- 保育短時間	保育園、認定こども園、地域型保育事業

【表2：教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期】

認定区分 量の見込み・ 確保方策（単位：人）		令和7年度			
		1号	2号	3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上 保育が必要	1・2歳児 保育が必要	0歳児 保育が必要
（参考）児童数推計			935	514	200
①二歳量の見込み		93	842	444	72
②確保方策	幼保連携型認定こども園	130	438	226	50
	幼稚園	25			
	認可保育園・地域型保育施設		388	189	51
③過不足分（②－①）		62	▲16	▲29	29
④確保方策	企業主導型保育事業		15	55	25
	認可外保育施設		53	11	2
⑤過不足分（③＋④）		62	52	37	56

認定区分 量の見込み・ 確保方策（単位：人）		令和8年度			
		1号	2号	3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上 保育が必要	1・2歳児 保育が必要	0歳児 保育が必要
（参考）児童数推計		886		418	184
①ニーズ量の見込み		89	797	360	66
②確保方策	幼保連携型認定こども園	117	438	226	50
	幼稚園	23			
	認可保育園・地域型保育施設		388	146	38
③過不足分（②－①）		51	29	12	22
④確保方策	企業主導型保育施設		14	51	23
	認可外保育施設		25	8	2
⑤過不足分（③＋④）		51	68	71	47

認定区分 量の見込み・ 確保方策（単位：人）		令和9年度			
		1号	2号	3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上 保育が必要	1・2歳児 保育が必要	0歳児 保育が必要
（参考）児童数推計		821		384	169
①ニーズ量の見込み		82	739	331	61
②確保方策	幼保連携型認定こども園	98	438	226	50
	幼稚園	19			
	認可保育園・地域型保育施設		349	113	29
③過不足分（②－①）		35	48	8	18
④確保方策	企業主導型保育事業所			47	21
	認可外保育施設			8	2
⑤過不足分（③＋④）		35	48	63	41

認定区分 量の見込み・ 確保方策（単位：人）		令和10年度			
		1号	2号	3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上 保育が必要	1・2歳児 保育が必要	0歳児 保育が必要
（参考）児童数推計		714		353	155
①ニーズ量の見込み		71	643	304	56
②確保方策	幼保連携型認定こども園	79	438	226	50
	幼稚園	15			
	認可保育園・地域型保育施設		262	89	22
③過不足分（②－①）		23	57	11	16
④確保方策	企業主導型保育事業			43	19
	認可外保育施設			8	2
⑤過不足分（③＋④）		23	57	62	37

認定区分 量の見込み・ 確保方策（単位：人）		令和11年度			
		1号	2号	3号	
		3歳以上 教育希望	3歳以上 保育が必要	1・2歳児 保育が必要	0歳児 保育が必要
（参考）児童数推計		602		324	142
①ニーズ量の見込み		60	542	279	51
②確保方策	幼保連携型認定こども園	59	438	226	50
	幼稚園	12			
	認可保育園・地域型保育施設		196	71	18
③過不足分（②－①）		11	92	18	17
④確保方策	企業主導型保育事業所			39	18
	認可外保育施設			8	2
⑤過不足分（③＋④）		11	92	65	37

【表3：こども誰でも通園制度の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期】

こどもの成長の観点から、「全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備する」ことを目的とし、幼児教育・保育給付とは別に、月一定時間までの利用枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度。親子での通園も可能とし、孤立感や不安感を抱えながら子育てを行っている保護者の負担感の軽減や支援が必要な家庭の把握につなげていく。

年度途中の育児休業明けの保育施設の利用希望枠を保持しながら、徐々に通園制度の利用枠を確保していきます。人口減少社会における保育所等の在り方として、保育所等の多機能化の柱となる事業です。

（単位：人）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量	0	9	9	9	9
確保方策	0	9	9	9	9

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保の方策

地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期は、大館市に居住するこども及びその保護者の地域子ども・子育て支援事業の利用状況並びにニーズ調査等により推計した潜在的利用希望等を踏まえ、それぞれ次のとおりとします。（上記以外の事業は、第5章に掲載）

①利用者支援事業（子育て家庭と関係機関をつなぎます）

【事業内容】

特定型（保育コンシェルジュ）

子育て中の親子や妊婦及び配偶者が教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整を実施する事業です。

※子ども・子育て支援事業の利用に向けて専門の職員が情報提供や関係機関との連絡調整などの支援を行います。

こども家庭センター型

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児、子育てに関する悩みなどの相談に対応し、社会福祉士、保健師等が専門的な見地から適時、支援や虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた相談支援体制等を構築していきます。

【確保方策】

特定型

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
箇所	1	1	1	1	1
専任職員	1	1	1	1	1

こども家庭センター型

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
箇所	1	1	1	1	1
専任職員	児童福祉機能4 母子保健機能2	児童福祉機能4 母子保健機能2	児童福祉機能4 母子保健機能2	児童福祉機能4 母子保健機能2	児童福祉機能4 母子保健機能2

【主な取り組み】

母子保健機能及び児童福祉機能の一体的な運用により、妊娠・出産・子育て・就園・就学等、子育て家庭の多様な要望や課題について、切れ目なく、漏れなく対応するとともに、「子育て版ワンストップサービス」の充実を目的に、行政機関と子育て家庭をつなぐパイプ役として、情報提供の工夫に取り組みます。

また、令和4年児童福祉法改正により、地域子育て相談機関の整備（中学校区に1箇所）に努めることとされているため、今後、検討してまいります。

②地域子育て支援拠点事業（お子さんや親子同士が集い交流する場の提供）

【事業内容】

公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等を実施し、育児不安等を解消するものです。

直営の地域子育て支援拠点施設の機能を城南保育園分園に集約し、扇田保育園地域子育て支援センターとたしろ保育園子育て支援室の機能を包括することにより、市全体の子育て中の親子の交流、情報交換の場の提供、不安や悩みに応じ、乳幼児と保護者の相互の交流を促進していきます。

子育て支援拠点施設名	所在地	開設時間	対象
城南保育園分園 子育て相談室	水門前 124 番地	月～土 8:30～17:15 出張ひろば 木曜日（毎週） 9:30～14:30	0歳児（首がすわってから）～ 3歳児の未就 園児と保護者
つどいの広場 「ひよこ」	上代野字稻荷台1番1 （大館樹海ドーム パークセンター内）	月～金 9:00～16:00 日曜日（月2回） 9:00～16:00	未就園児と 保護者
子育て支援施設名	所在地	問い合わせ	内容
扇田保育園地域子育て 支援センター	比内町扇田字町後 13 番地 8	月～土 8:30～17:15	園の開放と育児 相談
たしろ保育園子育て 支援室「きりん」	岩瀬字上岩瀬上野 19 番地	月～土 8:30～17:15	園の開放と育児 相談、体験保育 の実施

※扇田保育園地域子育て支援センター、たしろ保育園子育て支援室「きりん」の園開放は不定期開催（月2回程度）問い合わせが必要です。

【見込み量・確保方策】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量（人回）	8,030	7,138	6,530	6,002	5,516
確保方策	4	4	4	4	4
上段：全体箇所	2	2	2	2	2
中段：うち、拠点事業	2	2	2	2	2
下段：うち、その他	2	2	2	2	2

【主な取り組み】

子どもの遊び場を設置しているパークセンター内の「つどいの広場 ひよこ」を中心的な子育て支援施設と位置付け、利便性が良く保護者の集まりやすい場所とするため、子育て支援に関する相談、ファミリー・サポート・センター事業及び利用者支援事業のほか、親子のフリースペースとしての活用を検討します。

③妊産婦健康診査（妊産婦と赤ちゃんの健康の増進）

【事業内容】

妊娠から出産までの間、妊婦とおなかの赤ちゃんの健康を守るため、医療機関において定期的な健診を行う事業です。

妊娠届出時に母子健康手帳の交付と、妊産婦健康診査受診票を合わせて交付することにより、健診に係る経済的負担を軽減し、安心して出産ができるよう受診率の向上を図ります。

【国が示している妊婦に対する健康診査についての望ましい基準 平成27年3月31日付】

期間	妊婦初期～23週	24～35週	36週～出産
回数	1～4回目	5～10回目	11～14回目
間隔	4週間に1回	2週間に1回	1週間に1回
基本的な項目	- 健康状態の把握（問診、診察） - 検査、計測（血圧、尿検査、腹囲、体重など） - 保健指導		
必要に応じて行う医学的検査	血液型等の検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、HIV抗体検査、梅毒血清反応検査、風疹ウイルス抗体検査（妊娠初期に1回）		
	- 血算検査（初期1回） - 血糖検査（初期1回） - 子宮頸がん検診（初期1回） - 超音波検査（2回）	- 血算検査（1回） - 血糖検査（1回） - 超音波検査（1回）	- 血液検査（1回） - 超音波検査（1回）
	- B型溶血性レンサ球菌（GBS）検査（33週～37週に1回） - HTLV-1抗体検査 - 性器クラミジア検査（ともに30週までに1回）		

【見込み量・確保方策】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量（人）	2,915	2,682	2,468	2,270	2,085
確保方策	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施

④乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業による養育環境の把握）

【事業内容】

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を、保健師が直接訪問し、育児に関する相談や子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、各家庭の養育環境の把握を行う事業です。

この事業において、社会的な支援を必要としている家庭を把握し、必要に応じて「産前・産

後ママサポート事業」を活用し、悩みを傾聴することにより、子育て家庭の孤立を防ぎます。

【見込み量・確保方策】

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
見込み量(人)	216	198	182	167	153
確保方策	全戸訪問	全戸訪問	全戸訪問	全戸訪問	全戸訪問

⑤養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

【事業内容】

子育てに対する不安や孤独感を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要となっている家庭を訪問し、養育に関する相談を受け、支援・助言等を行うことにより虐待に至ることを防ぎ、個々に家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図る事業です。

本市では、大館市子ども・家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を活用し、関係機関の連携、協働により、養育上の課題を抱える家庭に対し切れ目のない支援を実施し、積極的な個別ケース検討会議を開催し児童虐待防止の強化を図ります。

養育支援訪問事業の専門的相談支援事業は、母子保健事業の保健師による訪問、相談支援等で対応して実施します。

⑥子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）

【事業内容】

こどもの養育が保護者の疾病・出産・看護・災害等で一時的に困難になった場合に、子育てに係る保護者の負担の軽減が必要な場合及び経済的な理由により緊急一時的に親子を保護することが必要な場合にこども等を児童養護施設その他の保護を適切に行うことのできる施設において、一定期間、養育・保護を行う事業です。この事業は、利用目的や時間帯などにより「短期入所生活援助（ショートステイ）事業」と「夜間養護等（トワイライトステイ）事業」の2つの事業形態があります。

【夜間養護等（トワイライトステイ）事業】（夜間等の一時的な預かり事業）

実施場所	1 場所	利用料	定員と対象者
施設名	母子生活支援施設 白百合ホーム	平日・土曜日 1,500 円 日曜・祝日 2,000 円 ※減免制度あり	定員：乳幼児 7 名 小学生 10 名 対象者：小学校までのお子さんで、大館市に住所を有すること。
所在地	大館市泉町 7-20		
利用可能時間	・乳 児：8:30～17:30 ・幼 児：8:30～20:30 ・小学生：8:30～20:30		

【見込み量・確保方策】

（人：延人数）

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
見込み量	588	588	588	588	588
確保方策	1	1	1	1	1
上段：箇所、下段：人	920	920	920	920	920

【短期入所生活援助（ショートステイ）事業】

【見込み量・確保方策】

実施場所	4 場所	利用期間	利用料	対象者
施設名 （所在地）	児童養護施設 陽清学園 （北秋田市七日市字家向 46-1）	7 日以内	2 歳未満児 5,350 円	対象者：満 18 歳未満の児童又は母子で、大館市に住所を有すること。
	秋田赤十字乳児院 （秋田市広面字釣瓶町 100-3）		2 歳以上児 2,750 円	
	母子生活支援施設 白百合ホーム （大館市泉町 7-20）		緊急一時保護の母親 750 円	
	その他、市内の里親等		※減免制度あり	

（人：延人数）

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
見込み量	43	43	43	43	43
確保方策	4	4	4	4	4
上段：箇所、下段：人	43	43	43	43	43

⑦ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

※会員同士で、一時的に預かりや送迎を行う相互援助活動

【事業内容】

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て家庭を対象に、育児の支援をお願いしたい人（利用会員）と、育児の援助ができる人（協力会員）との「相互援助活動」に関する連絡・調整を行う事業です。

※本事業を利用するには、利用会員、協力会員ともに、事前に「ファミリー・サポート・センター」への会員登録を行う必要があります。

実施方法	秋田県北NPO支援センターに事業を委託し、子育て支援を受けたい人（利用会員）子育てをお手伝いしたい人（協力会員）のマッチングを実施しています。
事業の対象者	生後3か月から小学校6年生までのお子さん。里帰り出産等で帰省先が大館市のかた
利用時間	7:30 ~ 19:30
利用料金	子ども1人につき 300円/1時間（以降30分 150円） ※最初の1時間までは、1時間未満であっても1時間料金となります。 ※減免制度あり

【見込み量・確保方策】※預かり及び送迎についての見込みです。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量（人）	2,020	1,899	1,785	1,660	1,527
確保方策（人）	2,440	2,440	2,440	2,440	2,440

【主な取り組み】

利用者数の増に対応できるよう、子育てサポーター新規養成講習会やスキルアップ研修について、毎年開催を継続します。病児・病後児の預かりや早朝・夜間等の緊急時の預かり、宿泊を伴う預かり等について検討していきます。

⑧一時預かり事業（一時的に保育を必要とするかたの預かり）

【事業内容】

家庭での保育が、パートタイム就労や冠婚葬祭、入院・介護などで、一時的に困難となった場合や、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減する必要がある場合等に、こどもを一時的に預かる事業です。

本市では、保育所などで在宅のこどもを預かる「一般型」と、幼稚園・認定こども園において主に在園児を預かる「幼稚園型」を実施します。

【一般型】※原則として週3日、月14日以内

施設名（所在地）	定員	利用時間	利用料金（1日）	休日
母子生活支援施設 白百合ホーム （泉町7-20）	7名	8:30～17:30	3歳以上児 1,500円 3歳未満児	日曜、祝日、年末年始
たしろ保育園 （岩瀬字上岩瀬上野19）	10名	8:00～17:00で 8時間以内	2,000円 ※減免制度あり	日曜、祝日、保育園の休 園日、行事日、年末年始

（確保方策 上段：箇所、下段：延人数）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量	999	999	999	999	999
確保方策	2	2	2	2	2
（一時預かり事業）	4,502	4,502	4,502	4,502	4,502

【幼稚園型】

（確保方策 上段：箇所、下段：延人数）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量	12,897	11,607	10,447	9,402	8,462
確保方策	9	9	9	9	9
（一時預かり事業）	45,880	41,440	34,632	27,824	21,016

⑨延長保育事業（保育施設で行う、通常の保育時間を超えた預かり保育）

【事業内容】

保育所における通常の11時間の開所時間を超えて、さらに30分以上、保育時間の延長を行う事業です。

本市においては、公立・私立の保育施設において実施し、保護者が安心して就労できる環境の整備に努めております。

【見込み量・確保方策】

（人：1日当たりの人数）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量（人）	187	168	156	138	120
確保の方策	18	18	18	18	18
上段：箇所、下段：人	1,342	1,286	1,205	1,087	999

⑩病児保育事業

【事業内容】

病児・病後児保育事業は、児童が発熱等の急な病気となった場合、病院や保育所に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育サービスを提供する事業です。

対象	保護者が就労している場合等において、市内の小学校又は幼稚園・保育園等に通っているお子さんが自宅での保育及び集団保育が困難な病気のとき	
対象年齢	小学校6年生以下のお子さん	
	《病児保育》	《病後児保育》
病気の程度	当面症状の急変は認められないが、病気の回復期に至っていない	病気の回復期である
実施施設名	マミースマイル (耳鼻咽喉科まきなクリニック内)	エンジェル (大館ホテヤこども園内)
所在地	常盤木町 17-8	片山町1丁目3番10号
利用時間	月曜日～土曜日 7:00～19:00	月曜日～土曜日 7:30～18:00
休園	日曜日・祝日・年末年始	日曜日・祝日・年末年始
定員	9名	3名
利用料	1日当たりの利用者負担額：1,000円 ※減免制度あり	

【参考】企業主導型の病児保育施設 キッズテラス アット セイジユ

【見込み量・確保方策】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量(人)	1,006	917	847	771	686
確保の方策	2	2	2	2	2
上段：箇所、下段：人	4,524	4,524	4,524	4,524	4,524

【主な取り組み】

保育所等に通所しており、保育中に熱を出すなど体調不良となった児童を、保護者に代わり迎えに行く、病児送迎サービス事業の実施と保護者への就労支援の拡充策として、保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に、保護者が迎えに来るまでの間、在園する施設で看護師等が一時的に保育を行う「体調不良児型」の実施を併せて検討します。

⑪放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

【事業内容】

放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与えて、その健全育成を図る事業です。

保育の待機児童が減少する一方で、放課後児童クラブの待機児童は依然として一定程度存在し、安全対策についての強化が求められるなど、学齢期の児童が安全・安心に過ごせる場所の拡充が求められています。

本市では、国の新・放課後子ども総合プラン（※１）で進めてきた受け皿の拡大を着実に進めていきます。

※１ 新・放課後子ども総合プラン（国・平成３０年９月策定、令和５年度で終了）

共働き家庭等の「小１の壁」・「待機児童」を解消するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型（放課後児童クラブと放課後子供教室の児童が、同一の小中学校内等の活動場所において、放課後子供教室開催時に共通プログラムに参加できるものを一体型という。）を中心とした、放課後児童クラブと放課後子供教室の計画的な整備を進める。

（１）放課後子供教室の令和１１年度までの整備計画

- ・希望する学校区を調査、把握し、実施に向けて計画的な整備を推進します。

（２）放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な、又は連携による実施に関する具体的な方策

- ・共通プログラムの企画段階から、放課後児童クラブの支援員と放課後子供教室のコーディネーターが連携してプログラムの内容・実施日等を検討できるよう、学校区毎の定期的な打ち合わせの場を設けます。

（３）小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子供教室への活用に関する具体的な方策

- ・運営委員会等において、余裕教室の活用状況等について、定期的に協議を行い、使用計画を決定・公表します。
- ・放課後子供教室実施日には、特別教室、体育館、校庭、図書室等の一時利用を促進します。

（４）放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施に係る教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策

- ・放課後活動の実施にあたっての責任体制を明確化します。
- ・総合教育会議を活用し、総合的な放課後対策について協議を行います。

（５）地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取り組み

- ・全放課後児童クラブが１９時まで実施済み。

【放課後児童クラブ一覧（19箇所）】

施設名	開所の時間帯			月額利用料 ※減免制度あり
	平日	土曜日	平日・土曜日（長期休業）	
桂城児童仲良しクラブ	13:00～19:00	8:00～19:00	8:00～19:00	3,150 円
城南児童仲良しクラブ	//	//	//	//
城南第二児童仲良しクラブ	//	//	//	//
城西児童仲良しクラブ	//	//	//	//
有浦児童仲良しクラブ	//	//	//	//
有浦第二児童仲良しクラブ	//	//	//	//
釈迦内児童仲良しクラブ	//	//	//	//
東館にこにこクラブ	//	//	//	//
山瀬児童仲良しクラブ	//	//	//	//
成章にこにこクラブ	//	//	//	//
比内わんぱくクラブ	//	//	//	//
西館わくわくクラブ	//	//	//	//
はやぐち児童仲良しクラブ	//	//	//	//
上川沿キラキラクラブ	//	//	//	//
川口キラキラクラブ	//	//	//	//
長木キラキラクラブ	//	//	//	//
南キラキラクラブ	//	//	//	//
花岡キラキラクラブ	//	//	//	//
矢立キラキラクラブ	//	//	//	//

【見込み量】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
上段：全体（人）	970	970	970	970	970
中段：うち、小学1～3	810	796	784	769	760
下段：うち、小学4～6	160	174	186	201	210

【確保方策・放課後児童健全育成事業】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
施設数（箇所）	6	6	6	6	6
上段：一体型、下段：その他	13	13	13	13	13
登録児童数（人）	170	170	170	170	170
上段：一体型、下段：その他	800	800	800	800	800

【確保方策・放課後子ども教室推進事業】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
施設数（箇所）	6	6	6	6	6
上段:一体型、下段:その他	0	0	0	0	0
登録児童数（人）	181	181	181	181	181
上段:一体型、下段:その他	0	0	0	0	0

【主な取り組み】

「小1の壁」への対応策として、小学校1年生の利用を優先的に調整します。

また、「待機児童」の解消に向け、希望する学校区を調査・把握し、実施に向けて計画的な整備を推進します。

⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業

【事業内容】

日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等が発生する教育・保育施設があります。

本事業は、教育・保育施設がこれらの徴収を行う際、保護者が実費負担する部分について、低所得者の負担軽減を図るため、公費による補助を行うものです。

⑬多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【事業内容】

新たに整備・開設した施設や事業が安定的、かつ継続的に事業を運営し、利用者の信頼関係を築いていくためには、一定期間のサポートが必要であることから、新規事業者が事業を円滑に運営していくことができるよう、支援、相談・助言、さらには、他の事業者の連携施設のあっせん等を行う事業です。

⑭子育て世帯訪問支援事業

【事業内容】

家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とした事業です。

⑮児童育成支援拠点事業

【事業内容】

養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、当該児童の居場所となる場を開設し、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等児童の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、虐待を防止し、健全な育成を図ることを目的とした事業です。

⑯親子関係形成育成支援事業

【事業内容】

児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、親子間における適切な関係性の構築を図ることを目的とした事業です。

⑰産後ケア事業

【事業内容】

出産後１年以内の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう、市内の助産院等に委託し通所型、居宅訪問型で支援を行う事業です。

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
見込み量（件）	180	165	152	139	127
確保方策	２施設	２施設	２施設	２施設	２施設

⑮妊婦等包括相談支援事業

【事業内容】

妊婦・その配偶者等に対して、面談等の実施により、必要な情報提供や相談に応じるとともに、ニーズに応じて必要な支援につなげる伴走型相談支援を行う事業です。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込み量	妊娠届出数 200件 1組当たりの 面談回数 3回	妊娠届出数 184件 1組当たりの 面談回数 3回	妊娠届出数 169件 1組当たりの 面談回数 3回	妊娠届出数 155件 1組当たりの 面談回数 3回	妊娠届出数 142件 1組当たりの 面談回数 3回
確保方策	こども家庭センター 600回	こども家庭センター 552回	こども家庭センター 507回	こども家庭センター 465回	こども家庭センター 426回

4 教育・保育の一体的提供及びその推進

(1) 認定こども園の普及に係る基本的考え方

幼稚園と保育園の機能や特長を合わせ持ち、幼児期の学校教育と保育を一体的に提供することができます。満3歳以上のこどもは、保護者の就労状況に関わらず利用できるため、保護者の就労状況等に変化があった場合も、同じ認定こども園を継続して利用することができます。

(2) 質の高い教育・保育等の基本的考え方及びその推進方策

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期であることに鑑み、こどもの居場所がどこにあっても質の高い教育・保育が保障されるよう、教育・保育アドバイザーを核として、教育委員会や県の施策と連携して各種の施策に取り組みます。

(3) 認定こども園・幼稚園・保育所と小学校等との円滑な接続の推進について

幼保小中高大の連携に取り組み、「ふるさとキャリア教育」を通して0歳から最長22歳までの育ちと学びをつなぎ、未来を切り拓く人財の育成を目指します。特に小学校との連携においては、架け橋期のカリキュラムの作成・実践によって幼保小の交流を促進し、同じ方針のもとに「人間的基礎力」の育成に取り組みます。（具体的な方策については、次頁の図「おおだて型学力構想、幼保小架け橋プログラムについて」を参照）

(4) 外国につながる幼児への支援・配慮について

国際化の進展に伴い、海外から帰国した幼児や外国人幼児、両親が国際結婚のこどもなどのいわゆる外国につながるこどもの増加が見込まれる中、当該幼児が教育・保育施設や地域子ども・子育て支援等を円滑に利用できるよう、コミュニケーションツールとして、翻訳機などを活用した相談支援を図っていきます。

5 産休後及び育休後の教育・保育施設の円滑な利用の確保

就学前施設に入所を希望する保護者が、産前・産後休業、育児休業明けに、希望に応じて円滑に認定こども園や幼稚園、保育園等を利用できるよう、国・県の保育士確保対策事業の活用や処遇改善をはじめとした保育従事者の労働環境の整備・改善による受け入れ枠の確保に努め、産前・産後休業、育児休業期間中の保護者に利用方法等についての情報提供や相談支援等を行います。

6 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保

子育てのための施設等利用給付の実施にあたっては、当該給付をはじめとした幼児教育・保育の無償化の主たる目的である、保護者の経済的負担の軽減や利便性等を勘案しつつ、支給方法について公正かつ適正な支給を担保できる給付を行うとともに、必要に応じ、保護者の利便性向上等を図るため給付の方法や事務手続きの変更について検討します。

（認定こども園の預かり保育利用料については、各保育事業者の協力をいただき、無償化のメリットを実感いただけるよう法定代理受領による給付を基本とし、認可外保育施設等の利用料については、償還払いを基本とします。）

また、子育てのための施設等利用給付の対象施設である、特定子ども・子育て支援施設等の確認や公示、その後の設置運営状況の把握などについては、認可権限や指導監督権限をもつ秋田県による指導監査等に同行するなど、県と常に連携しながら、特定子ども・子育て支援施設等の情報を共有し、保育の質の向上が図られるよう働きかけます。

「架け橋プログラム 大館モデル」(前ページの4の(3) 関係)

人と社会の幸いを希求する「大館ふるさとキャリア教育」

～幼保小連携で、「育ちと学び」をつなぐ～

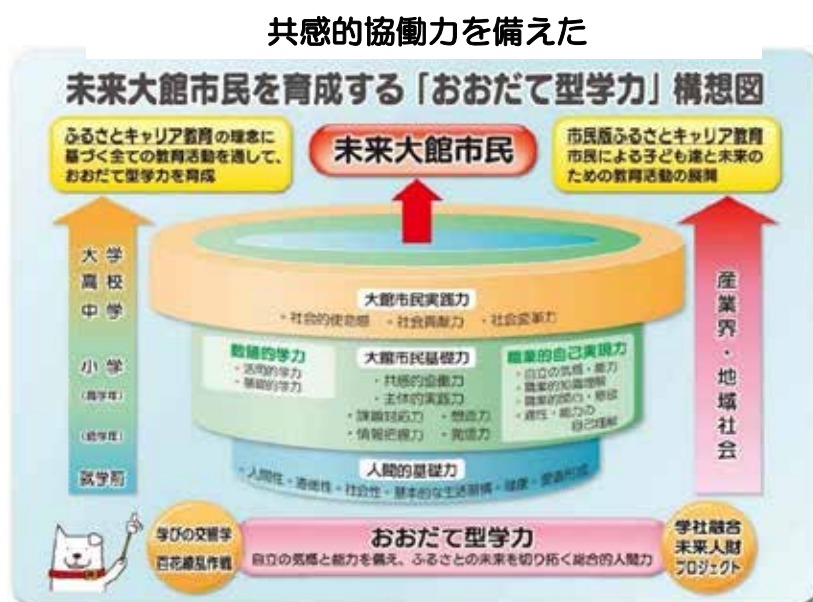
大館市は、2011年度(平成23年度)から、「ふるさとキャリア教育」(※1)を通して0歳から22歳までの育ちと学びをつなぎ、大館の未来を切り拓く人財の育成に取り組んできました。

大館に育つこどもたちは、家族や周りの大人に愛されて愛着を育みながら、やがて友達と関わり、遊びを通して様々な感情を体験し、社会性や協働力を身に付けていきます。また、学びの場を広げながら、仲間とともに、

体験を通して「気づき」「試し」「実感」し、「自覚」するという学びのプロセスを重視した教育・保育の活動を基盤に、自ら考える力、思いを表現する力等を獲得するなど、こどもたちは自ら育つ力を蓄えていきます。大館の誇れる宝であるこどもたちを、ふるさとを支える「未来大館市民」に育てるという目的を共有し、就学前も小学校もそれぞれの教育・保育を充実させることを第一にしながら、生涯で一番学びへの期待が膨らむ架け橋期のこどもたちを関係する大人が立場を越えて協働し支えていきたいものです。こどもたちが、学ぶ楽しさや成長する嬉しさを味わいながら、仲間と共に育ち合い、将来一人一人が社会の中で生きがいを感じながら人生を豊かに生きていくこと、他者と協働しながら豊かな社会の担い手となることを願って、生涯を支える背骨となる「人間的基礎力」を育てていきます。

また、本市では「おおだて型学力」として、「共感性」「協働性」を重視しています。そのため「架け橋期」を5歳児からではなく、仲間との関わりが深まっていく4歳児から、そして、教科学習、ギャングエイジにつながっていく小学校2年生までの4年間で、大きく一つの発達のくくりと捉えることにしました。この時期にふさわしい援助・指導が積み重ねられ、市内どの園・小学校にいても発達に必要な経験が保障されるためには、園と小学校が市の教育理念を共有する架け橋期のカリキュラムが必要となります。

小学校や園の教職員が、互いの教育・保育の違いを理解した上で、小学校側はこども一人一人の実態や、就学前にどのような経験をしてきたかを把握し、その発達の特性に応じた指導や学級経営に取り組む必要があります。一方、園側は、仲間との関係性の中で、ねらいや意図をもってこども一人一人の育ちや学びを引き出すことが大切です。



文部科学省委託「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」

秋田県教育委員会委託「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」リーフより抜粋

そして、架け橋期は0歳からの育ちの上にあり、架け橋期以降の学びや生活へと発展していくことを念頭におきながら、校種や所轄等の垣根を超えて、共に大館の子どもを育てる大人の意識と協働性がカリキュラム作成、実践の第一歩となります

＊1『ふるさとキャリア教育』

「大館盆地を学舎に、市民一人一人を先生に」をコンセプトに、ふるさとに生きる基盤を培う「ふるさと教育」と、その基盤の上に自らの人生の指針を描く「キャリア教育」を融合した本市独自の教育理念

第5章 計画の推進体制

1 関係機関等との連携

(1) 児童虐待防止対策の充実

①関係機関との連携及び相談体制の強化

庁内の関係部署が緊密な連携を図るとともに、福祉・教育・医療等をはじめとした関係機関による子ども・家族支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）、児童相談所等との連携を強化するとともに、関係職員の相談体制の強化を図り、虐待の発生予防、早期発見、迅速で的確な対応に努めます。また、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、こども等に関する相談全般に応じ、継続的なソーシャルワーク業務までを担う「こども家庭センター」を設置し、支援体制の強化を図ります。

②発生予防、早期発見、早期対応等

「こども家庭センター」を中心に関係機関との連携により、妊娠、出産及び育児期に養育支援を必要とする家庭を早期に把握するとともに適切な支援に繋がっていきます。

(2) ひとり親家庭の自立支援の推進

ひとり親家庭等の児童の健全な育成を図るため、きめ細かな福祉サービスの展開と自立・就業の支援に主眼を置き、子育て・生活支援策や就労支援策、養育費の確保策及び経済的支援策について、地域のひとり親家庭等の現状を把握しつつ、総合的な取組を推進します。

(3) 障害児施策の充実等

乳幼児期から学齢期までの各年齢に応じ、障害児通所支援事業所、乳幼児健診事業、就学前施設、教育機関等が連携し、発達に課題のある児童の早期発見、早期対応に努め、専門職による一貫した相談体制の充実を図ります。

児童発達支援センターでは、地域の中核的機関として児童の発達に係る相談を担い、関係機関との連携を行うとともに集団療育や児童に対する個別支援を行ないます。

さらに、医療的ケア児への支援体制の充実を図るため、ニーズの把握や関係機関との連携体制の構築を進めます。

また、巡回支援専門員による就学前施設等への巡回やペアレントトレーニング(※)など、保育者や保護者への支援を引き続き実施します。

※保護者がこどもとより良い関わり方ができるよう、障害の特性をふまえた子育てを学ぶことを目的とするものです。

2 雇用環境の整備に関する施策との連携

(1) 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

男女共同参画、仕事と生活の調和の実現に向けた事業主、労働者、地域住民の理解や合意形成を促進するための広報・啓発、情報提供等を図ります。

(2) 仕事と子育ての両立のための基盤整備

病児保育サービス・放課後健全育成事業・一時預かり及びファミリー・サポート・センターなどの充実等、多様な働き方に対応した子育て支援を推進します。

働くパパママ応援企業認定制度や育児休業支援給付金を活用した、企業への支援策を充実させ、子育てに温かい社会づくりと機運の醸成を図ってまいります。

3 母子保健計画の施策

本事業計画と一体のものとしている母子保健計画では、安心、安全に妊娠・出産・子育てができるよう、母子保健対策の充実に努め、次の事業により妊娠・出産期からの継続した支援体制の強化を図り、地域の母子の健康や生活環境の向上を図ります。

(1) 主要目標

- 妊産婦・乳幼児期の疾病の予防・早期発見と健康管理の充実
- 妊婦及び乳幼児・学童期の歯と口腔の健康づくり
- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実
- 妊産婦やこどもの成長を見守り親子を孤立させない地域づくり
- 親やこどもの多様性を尊重し、それを支える社会の構築

(2) 取組

①親と子どもの健康の確保

番号	事業名	事業概要	令和11年度目標
1	母子健康手帳交付 妊婦健康相談	安心した妊娠・出産できるよう、母子保健サービスの説明と情報提供を併せて行う。 ・妊娠届出時の保健指導 ・母子健康手帳交付 ・妊産婦健康診査及び新生児聴覚検査受検票等の交付	継続
2	妊産婦健康診査	再掲(P26)	

番号	事業名	事業概要	令和 11 年度目標
3	新生児聴覚検査	先天性の聴覚障害を早期に発見し、早期に適切な措置が講じられるようにする。 ・新生児聴覚検査受検票の交付	受検率 100%
4	1 か月児健康診査 4 か月児健康診査 10 か月児健康診査	こどもの月齢に応じ発育・行動発達を確認し、健康の保持と疾病や発達障害などの早期発見、早期治療に努める。 また、育児不安等の軽減を図る。 ・問診、身体計測 ・診察、保健指導、栄養指導	受診率 100%
5	1 歳6 か月児健康診査	こどもの月齢に応じ発育・行動発達を確認し、健康の保持と疾病や発達障害などの早期発見、早期治療に努める。 また、育児不安等の軽減を図る。 ・問診、身体計測 ・歯科健康診査、歯科保健指導 ・診察、保健指導、栄養指導 ・心理相談	受診率 100%
6	3 歳児健康診査	こどもの月齢に応じ発育・行動発達を確認し、健康の保持と疾病や発達障害などの早期発見、早期治療に努める。 また、育児不安等の軽減を図る。 ・問診、身体計測 ・尿検査、眼科検査 ・歯科健康診査 ・診察、保健指導、栄養指導、心理相談	受診率 100%
7	訪問指導事業	継続して指導が必要な妊産婦、乳幼児、健診未受診児等について、訪問により、状況把握や相談、専門機関への紹介などの支援を行う。	継続
8	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	再掲 (P26)	
9	ウエルカムベビークラス	出産を迎える妊婦とそのパートナーを対象に子育て教室を開催し、安心して子育てできるよう支援するとともに、交流の場とする。 ・小児科医の講話 ・沐浴と着替え等、育児手技の体験 ・歯科指導、栄養指導、個別相談 ・絵本の読み聞かせ体験	継続
10	5 か月児すこやか教室	親子遊びや絵本の読み聞かせ等を通じ、豊かな親子関係を育み、こどもの心の発達と子育てを支援する。 ・ブックスタート、絵本の配布と読み聞かせ ・乳児健診・教室勸奨 ・個別相談	継続
11	7 か月児健康相談	身体発育、発達を確認するとともに、個々の相談に応じる。 ・問診、身体計測、保健指導 ・個別相談 ・歯科保健指導	受相率 100%

番号	事業名	事業概要	令和 11 年度目標
12	離乳食講習会 (5 か月児・7 か月児・ 11・12 か月児)	離乳食の正しい知識の普及を図ると ともに食に関する情報を提供する。 ・栄養講話、試食 ・歯科講話 ・個別相談	受講率増加
13	予防接種	予防接種を受けることで個々が免疫 を獲得し、感染症の予防及び流行を防止 する。 【乳幼児】 ・ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ ・BCG ・インフルエンザ菌b型（ヒブ） ・小児用肺炎球菌 ・B 型肝炎 ・麻疹風しん・水痘 ・日本脳炎 ・ロタウイルス 【児童】 ・二種混合（ジフテリア・破傷風） ・日本脳炎 2 期 ・日本脳炎 【生徒】 ・ヒトパピローマウイルス	接種率増加
14	フッ化物洗口推進事業	フッ化物洗口の継続やフッ化物の利 用の推進により、う歯を予防する。 ・フッ化物洗口 年長児保育施設（5 歳児、希望者） 市立小学校・中学校（希望者） ・フッ化物利用の紹介	継続
15	2歳6か月児はっぴい親子 教室	う歯や栄養に関する正しい知識の普及 と早い時期からかかりつけ歯科医師を もつことを推奨及び豊かな親子関係を 育むことを支援する。 ・栄養講話・歯科講話・育児講話 ・親子遊び・絵本の読み聞かせ ・RD テスト ・個別相談（保健、栄養、歯科）	継続
16	ホームページ・「おおだて子 育てねっと」での情報提供	乳幼児健康診査、予防接種日程、行事 案内等の情報を提供する。	継続
17	たばこ対策	たばこの害及び受動喫煙に関する正 しい知識の普及を図る。 ・母子健康手帳交付時等の指導 ・小・中学生への喫煙予防教育	継続
18	アルコール対策	アルコールの害に関する正しい知識 の普及を図る。 ・母子健康手帳交付時等の指導 ・小・中学生への飲酒予防教育	継続
19	メディアコントロール	電子メディアコントロールの普及を 図る ・妊婦向け教室、乳児検診・相談等での 周知	継続

②相談支援体制の充実

番号	事業名	事業概要	令和 11 年度目標
1	こども家庭センター 母子保健（さんまある）	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない、きめ細やかな支援を提供し、子育て世代の安心感を醸成する。 ・相談支援 妊娠34週、生後2週目の電話訪問 病院（産科病棟）訪問 専用電話による相談等 ・母子保健サービスの情報提供 ・支援計画、サポートプランの策定 ・臨床心理士による心の相談 再掲（P24）	
2	妊娠期からの子育て支援	関係機関との連携を図り、妊娠・出産から子育て期までの子育てを、切れ目なく支援する。	継続
3	訪問指導事業	再掲（P41）	
4	乳児家庭全戸訪問事業 （こんにちは赤ちゃん事業）	再掲（P26）	
5	産後ケア事業	再掲（P35）	

③医療費助成の充実

番号	事業名	事業概要	令和 11 年度目標
1	不妊治療費等助成事業	少子化対策の一環として、希望する妊娠・出産につなげるため、特定不妊治療及び一般不妊治療、不育症治療費用の助成を行う。	継続
2	未熟児養育医療給付	養育のために病院または診療所に入院することを必要とする新生児に対し、その養育に必要な医療の給付を行う。	継続

4 広域連携や県との連携

こどもや保護者のニーズに応じて、保育園や幼稚園等の施設入所の利用調整、地域子ども・子育て支援事業等を適切に供給するため、サービスの広域利用、障害児への対応など、市の区域を超えた広域的な供給体制や基盤整備が必要な場合については、周辺市町村や県との連携・調整を図ります。

5 計画の点検・評価

この計画に基づく施策を推進するため、大館市子ども・子育て会議において、毎年度事業計画に基づく事業の実施状況や、これに係る費用の使途実績等について点検・評価します。事業計画策定後には、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）に基づき計画の推進に努め、事業の進捗状況を管理・評価するにあたっては、利用者の視点に立ち、個別事業の進捗状況に加え、計画全体の成果についても点検・評価し、施策の改善につなげます。



6 その他の取り組み

家庭における子育て力を高めるとともに、地域全体で子育て家庭や子どもの成長を支える環境づくりに取り組み、こども一人ひとりが大切にされ、健やかに育つ社会を実現し、若い世代が安心してこどもを生み育てられる支援の充実に努めます。(担当課名については、令和7年3月現在)

①少子化への取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	結婚新生活スタートアップ支援事業	新たに結婚した世帯の婚姻に伴う住宅取得費用や住宅賃貸費用、引越に係る費用について助成する事業	企画調整課
2	若年者婚姻支援事業	若年者の婚姻を支援するため、結婚支援センター登録料やブライダル資金の利子補給等に関する助成を行う事業	
3	はちくんすくすく子育て支援事業	こどもが生まれた世帯を対象に、地域限定商品券を贈呈する事業	子ども課
4	ウッドスタート誕生祝い品贈呈事業	市内で生まれたこどもを対象に、大館産の木材を使用したオリジナル玩具を贈呈する事業	林政課

②仕事と子育ての両立を支援するための取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	特定事業主行動計画	市役所自体も職員を雇用する事業主として、職員のこども達の育成環境を整えることを目的として、各種休暇の取得推進などに努める事業	職員課
2	働くパパママ応援企業啓発事業	市内の企業及び団体等が行う子育て中の従業員に対する、仕事と子育てを両立することができるような環境整備等の支援について大館市が認定し、事業所が仕事と育児・家庭の両立支援に関して積極的に推進するきっかけを作ることを目的とした事業	子ども課
3	育児休業支援助成事業	保護者が育児休業を取得しやすい環境を整備するため、支給要件に該当する事業所へ給付金を支給する事業	
4	休日保育事業	認可保育園で日曜、祝日に保育を実施する事業	
5	市・労働局 一体的実施事業	労働局と合同で職の窓口「活jobおおだて」を市役所内に設置し、若年者・子育て中の女性、高年齢者、福祉関係支援者を主な対象とした就職支援ナビゲーターによる就労支援を実施	商工課

③保護者に対する経済的支援に関する取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	すこやか子育て支援事業	教育・保育施設等に入所している児童の保育料・給食費の助成を行う事業	子ども課
2	子育てファミリー支援事業	第3子以降が生まれた世帯を対象に、一時預かり・病児保育・ファミリー・サポート・センター等の利用料を助成する事業	
3	すこやか療育支援事業	障害児通所支援事業の利用にともなう子育て家庭の経済的負担を軽減するため、児童発達支援などを利用する際のサービスにかかる利用者負担額及び食費の半額を助成	
4	在宅子育て支援給付事業	支給要件に該当するお子さんを在宅で子育てした場合に給付金を支給する事業	
5	児童手当	児童を養育している保護者等に手当を支給する事業	
6	ほっとワンツースループ事業	満1歳、2歳の誕生日を迎えたこどもがいる家庭に地域限定商品券を贈り、経済的な支援を行うと同時に子育て支援の情報提供や低年齢児の相談支援体制の強化を図る	
7	乳幼児及び小学生・中学生・高校生の医療費助成	乳幼児及び小学生・中学生・高校生の医療費を助成する制度	保険課
8	住宅リフォーム支援事業	市内事業者を活用し、30万円以上の住宅リフォーム工事を行う場合、工事費用の一部を助成する制度	都市計画課
9	奨学資金制度	経済的理由により、高校・専門学校・短大・大学への修学が困難な者に対し、奨学金を貸与し、もって有用な人材を育成する事業	学校教育課
10	国保税の未就学児への軽減	未就学児の均等割課税の軽減	保険課
11	エコプラザ	チャイルドシート、スキー用品、自転車、おもちゃ、制服など再利用可能な不用品の受入と販売、おさがり交換会の開催などにより、リユースの輪を広げ、環境意識の醸成を図る	環境課

④遊び場についての取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	木育ひろばの設置	市民交流センターに、約80種類の「木のおもちゃ」を設置	生涯学習課
2	子どもの遊び場の設置	パークセンターに、ボールプールなど木の香りとぬくもりを感じられるおもちゃ及び東京2020オリンピックの選手村で使用した大館産の秋田杉を再利用した木製遊具を設置、毎月、多彩なイベントを開催	子ども課
3	子育て世代向けのイベントや市内の遊び場の情報提供	市の子育て応援ポータルサイト「おおだて子育てねっと」を活用し、子育て世代向けのイベントや既存の公園や屋内の遊び場を紹介	
4	公園等の遊具の適正な管理	公園等の遊具の点検・修理・安全管理	都市計画課

⑤子育て支援のネットワークづくりへの取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	子育て支援団体との共有	市内の子育て支援団体と情報を共有し、子育て支援団体が作成した「おおだて子育てカレンダー」の配布、イベントの紹介、「おおだて子育てハンドブック」の作成を通して、子育て家庭への情報発信の実施	子ども課 ほか
2	子育て支援のネットワークの把握	子育て支援に関わる団体の把握と情報の発信	
3	子育て情報の提供	「おおだて子育てねっと」による子育て情報の提供	
4	家庭教育推進事業	家庭教育支援の充実を図るため、子育て世代や地域住民に対して、家庭教育に関する学習の機会を提供する事業 ※おしゃべりひろば「ひだまり」などの開催	生涯学習課
5	移住・定住・交流推進支援事業	市内の小学生を対象として、農家民宿でのふれあい体験を通じて、食の礎である農業の大切さ、本場のきりたんぽなどの郷土料理、文化、風土を体験していただき、郷土愛の醸成を図ることで、定住促進に繋げる事業	交流推進課
6	児童虐待防止対策	子ども・家族支援ネットワーク会議の実施	子ども課

⑥要保護児童に対するきめ細かな支援への取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	児童の医療費助成	児童の医療費を助成する制度	保険課
2	児童扶養手当	ひとり親家庭等へ児童扶養手当を支給する制度	子ども課
3	障害児通所給付事業	児童福祉法に基づく、通所型支援や相談支援の給付を行う（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援など）	福祉課
4	自立支援給付事業	障害者総合支援法に基づく、障害児が利用可能なサービスを提供する（居宅介護、短期入所など）	
5	重度心身障害児移送事業	身体障害者手帳（1～3級）、療育手帳（A）が交付されている障害児へ、社会参加や通院等の利便性を図るため、タクシー利用助成券か自動車燃料費助成券（未就学児）を交付する	
6	障害児福祉手当	在宅の重度の障害児のいる家庭において、経済的負担の軽減を図るため、障害児福祉手当を支給する	
7	自立支援医療（育成医療）	身体に障害のある18歳未満の児童または、そのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童が、その障害を除去・軽減に必要な医療に係る自立支援医療費の支給を行う。	
8	地域生活支援事業	障害のある18歳未満の児童に対し、日常生活用具の給付、日中一時支援（休日等の一時預かり）、訪問入浴サービスの給付を行う	
9	補装具費給付事業	身体障害者手帳所持者に対し、からだの失われた部分や思うように動かすことができない障害のある部分を補う補装具を購入・修理する費用を支給する	
10	難聴児補聴器購入費等助成事業	身体障害者手帳の交付対象とならない程度の18歳未満の難聴児に対し、補聴器の購入費用又は修理費用の一部を助成する	
11	障害児に関する相談	障害児の通所給付に関する相談、医療的ケア児の生活に関する相談等の総合相談を行う 障害者自立・差別解消支援協議会（療育部会）の開催	福祉課 大館市基幹 相談支援セ ンター
12	生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援事業	生活に困窮し養育環境に課題を抱えた世帯の子どもを対象に学習機会を提供し、無料で学習習慣の定着支援・相談を行う。必要に応じて保護者の自立相談支援も行う	福祉課
13	就学援助制度	要保護・準要保護世帯への義務教育段階の就学支援（学用品費等を支給する制度）	学校教育課
14	子どもの発達に関する支援	育ちの教室「ぐんぐん」による指導援助、巡回支援専門員による園巡回、「満5歳すてっぷ相談」、「子ども発達相談室ふわっと サポート」「児童発達支援センターひまわり」「子ども発達支援にこここ」による支援	学校教育課 子ども課

番号	事業名	事業概要	担当課
15	各種相談事業	スクールカウンセラーの配置、適応指導教室の運営、子育て相談会・就学教育相談会、スクールソーシャルワーカー配置事業、すこやか電話等の実施、家庭教育相談	学校教育課
16	ひとり親家庭への就業支援	母子・父子自立支援員の配置、活JOBおおだてをはじめとするハローワークとの提携	子ども課 商工課
17	児童の送迎支援	子育てタクシー、ファミリー・サポート・センターの送迎支援	子ども課 民間事業者
18	住宅整備資金助成事業	ひとり親家庭等住宅整備資金貸付	子ども課
19	公営住宅等の利用	子育て世帯の市営住宅への優先的入居措置、母子生活支援施設等入所	都市計画課
20	制服・学用品リユース事業	不要になった中学校や高校の制服・学用品・部活用品を、必要としている家庭に提供する事業	NPO エコプラザ
21	こども食堂	食の大切さ、食材本来の美味しさを子どもたちに伝えることで、こどもの成長を支援する事業	NPOほか
22	地域見守り活動事業	日常的に各家庭を訪れ、市民の生活に密着した仕事に従事している事業所に協力を依頼し、高齢者に限らず児童虐待や家庭内暴力等の非日常的なことがらを情報提供の範囲とした事業	長寿課

⑦教育支援に対する取り組み

番号	事業名	事業概要	担当課
1	学習機会の拡大	幼少期からの一貫した英語教育・幼保小中高大連携・ふるさとキャリア教育・子どもハローワークの推進	学校教育課
2	学校施設整備事業	安全で快適な学校教育環境を整えるため、経年劣化や児童・生徒数の変化等に対応し、計画的に施設や設備の改善・整備を進める事業	教育総務課
3	スポーツ少年団育成活動の支援	スポーツ少年団の活動を通じ、心身の健全な青少年リーダーや指導者の養成を支援し、スポーツ少年団の加入促進に向けて、指導者・団員の登録料、本部事業運営費への支援とともに情報提供をする事業	スポーツ振興課
4	こども科学教室	学校の理科教育で直接は取り扱わない分野の観察や実験を通じて、こども達の科学的思考を養う機会を提供することを目的とした事業	歴史文化課
5	少年少女発明クラブ	製作や加工などの活動を通じて発明工夫の楽しさと、創作する喜びを知り、創造性豊かな人間形成を図る事業	

番号	事業名	事業概要	担当課
6	こどもエコクラブ	こどもエコクラブの地域事務局として、クラブの活動を支援する事業	環境課
7	環境学習事業	出前講座の実施や施設見学の受け入れを行う。またエコプラザを活用し環境学習の機会を提供する事業	
8	木育推進事業	未就学児童等に対する木育活動や自然活動をしていくリーダーとして「おおだて木育インタープリター」を養成するとともに、未就学児童等やインタープリターを対象とした環境教育・木育プログラムを実施する事業	林政課
9	防災講座	各小中学校・高校に出向し、防災基礎講座、参加型の研修会を行い、防災意識の高揚を図るとともに、自助・共助の精神を習得してもらう事業	危機管理課
10	子どもの交通安全対策	市が委嘱する交通指導員による通学路の交通安全指導及び保育園等での交通安全教室の実施 市内保育園等への交通安全共済加入の促進	市民課
11	子どもの消費生活教育	小・中・高校生に対する消費生活教育（インターネットによるトラブルや消費者トラブルに関する出前講座の実施）	
12	介護のお仕事PR隊	介護人材の確保と定着を図ることを目的に、市内の社会福祉法人や医療法人の介護職員で構成。小・中・高校生に介護業務の体験や介護の仕事の魅力及びやりがいを伝える事業	長寿課
13	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援するサポーターを養成する事業	
14	資格取得支援事業	就職を目指す市民及び市内就業者の資質向上を促進し、雇用機会の拡大や市民の所得向上、市内企業の負担軽減や人材育成に資するため、仕事に役立つ資格の取得に要する経費の一部を補助する事業	商工課
15	インターンシップ支援事業	若者の市内就職を促進し、市内事業者の人材確保に資するため大館市内の事業者等がインターンシップの実施に要する費用に対し、予算の範囲内において補助する事業	
16	奨学金等返還助成金事業	若手人材の確保と定住促進を図るため、大館市に居住する就労者のうち、奨学金等を返還する者に対し返還金の一部を助成する事業	
17	障がい者サポーター養成講座	障害について知る機会を作り、声掛けや手助けのできるサポーターを養成する事業。各学校・クラスごとでの実施も可能	福祉課

資料編

1. 大館市子ども・子育て会議

(1) 大館市子ども・子育て会議に関する条例

平成25年9月27日条例第39号

改正:令和5年3月30日条例第3号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第72条第1項の規定に基づき、大館市子ども・子育て会議（以下「会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 会議は、法第72条第1項各号に掲げる事務を行うものとする。

(組織)

第3条 会議は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、子どもの保護者（法第6条第1項に規定する子どもの保護者（同条第2項に規定する保護者をいう。）をいう。）、事業主を代表する者、労働者を代表する者、子ども・子育て支援（法第7条第1項に規定する子ども・子育て支援をいう。以下この項において同じ。）に関する事業に従事する者、子ども・子育て支援に関し学識経験のある者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 会議に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(臨時委員)

第6条 会議に特別の事項を調査審議させるため必要があると認めるときは、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。

- 3 臨時委員は、その者の委嘱に係る当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(議事)

第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の総数の半数以上が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員及び臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第8条 会議には、部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長が指名する委員又は臨時委員をもって組織する。
- 3 部会に、部会長を置き、当該部会に属する委員のうちから会長が指名する。
- 4 部会長は、当該部会の事務を掌理する。
- 5 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、会長の指名する当該部会の委員又は臨時委員が、その職務を代理する。
- 6 会議は、その定めるところにより、部会の議決をもって会議の議決とすることができる。

(関係者の出席等)

第9条 会長又は部会長は、必要があると認めるときは、会議又は部会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第10条 会議の庶務は、福祉部子ども課において処理する。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この条例は、平成25年10月1日から施行する。

附 則(令和5年3月30日条例第3号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(2) 大館市子ども・子育て会議委員名簿

令和7年3月31日現在

NO.	区分	所 属 ・ 役 職 等		氏 名	幼児教育・保育部会	要保護児童対策・虐待防止部会	子どもを共に育む社会環境づくり部会
					量や基準の検討	ひとり親家庭を含む支援対策の検討	放課後児童クラブを含む子育て環境の検討
1	医療関係者	大館北秋田医師会	理事	◎梅内 孝倫			
2		大館北秋田歯科医師会	副会長	根田 朋武			
3	学識経験者	大館市社会福祉協議会	副会長	○兜森 和夫		●	
4	事業主	大館商工会議所	副会頭	仲澤 和子			○
5	福祉関係者	秋田県北福祉事務所	所長	寺内 淳一		○	
6		大館市民生委員児童委員協議会	部長	一関 清子		○	
7		母子生活支援施設	施設長	小林 儀貴		○	
8	教育関係者	大館市私立学校協議会	会長	月居 裕二	●		
9		大館市校長会	会長	伊多波 卓美			●
10	保育関係者	大館市認定こども園連絡協議会	会長	布袋屋 学	○		
11		私立保育所	保育従事者	本多 美代	○		
12	子育て支援関係者	子育て支援サークル	支援従事者	島田 真紀子			○
13		地域子育て支援事業者	支援従事者	高坂 翔			○
14	保護者	公立保育所利用者	利用保護者	小松 優花	○		
15		認定こども園利用者	利用保護者	戸田 志織		○	
16		大館市小・中学校PTA連絡協議会	会長	田村 健			○

◎:会長、○副会長

●:部会長、○:部会委員

※ 任期（2年）は、令和5年10月1日～令和7年9月30日

2. 大館市子ども・子育て支援事業ニーズ調査結果

調査名	大館市子ども・子育て支援事業ニーズ調査			
実施主体	大館市子ども・子育て会議			
目的	子ども・子育て支援法第61条の規定により、市町村は、国の示す基本指針に即して5年を一期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされている。この事業計画策定にあたり、基礎となる、「幼児教育・保育・子育て支援」の「量の見込み」設定に必要な「今後の利用希望」を把握するため、また、子ども及び子育て家庭の実情を把握するため、保護者を対象とした「ニーズ調査」を実施する。			
調査期間	令和6年6月17日～7月12日			
対象者	無作為に抽出した小学6年生以下の子どもの保護者（R6.4.1 基準）			
配付数	在宅乳幼児 245 部	保育施設等入所者 540 部	小学1～6年生 650 部	合計 1,435 部
配付方法	郵送	保育施設を通じて	小学校を通じて	
回収方法	返送用封筒による 郵送	施設へ提出された ものを市で回収	小学校へ提出され たものを市で回収	
回収数	150 部	518 部	609 部	1,277 部
回収率	61.2%	95.9%	93.7%	89.0%
調査事項	○家庭の状況 ○子どもの環境 ○保護者の就労状況 ○教育・保育事業（施設）の利用状況と利用希望 ○子育て支援事業等の利用状況と利用希望 ○一時的な預かりの利用希望 ○就学後の放課後の過ごし方 ○育児と仕事の両立 ○こども誰でも通園制度 ○市の子育て支援について			

(1) 在宅乳幼児

対象者 在宅乳幼児

調査期間 令和6年6月17日～7月12日

実施方法 郵送

配布数 245 回収数 150 回収率 61.22%

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住いの地区名に○をつけてください。

1. 大館	2. 釈迦内	3. 長木	4. 上川沿	5. 下川沿	6. 真中	7. 二井田	8. 十二所	
105	4	7	7	2	0	3	2	
70.0%	2.7%	4.7%	4.7%	1.3%	0.0%	2.0%	1.3%	
9. 花岡	10. 矢立	11. 田代	12. 扇田	13. 東館	14. 西館	15. 大葛	無回答	計
0	1	10	3	1	3	0	2	150
0.0%	0.7%	6.7%	2.0%	0.7%	2.0%	0.0%	1.3%	100.0%

問2 お住いの地区の小学校に○をつけてください。

1. 桂城小	2. 城南小	3. 城西小	4. 有浦小	5. 釈迦内小	6. 長木小	7. 川口小	8. 上川沿	9. 南小	
17	17	18	40	4	7	2	10	4	
11.3%	11.3%	12.0%	26.7%	2.7%	4.7%	1.3%	6.7%	2.7%	
10. 成章小	11. 花岡小	12. 矢立小	13. 扇田小	14. 東館小	15. 西館小	16. 早口小	17. 山瀬小	無回答	計
2	0	1	4	1	3	5	5	10	150
1.3%	0.0%	0.7%	2.7%	0.7%	2.0%	3.3%	3.3%	6.7%	100.0%

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上いらっしゃる場合は、「在宅・未就学児・小学生・中学生以上」の人数もご記入ください。

子どもの人数	1人	2人	3人	4人以上	無回答	計
	62	61	20	6	1	150
	41.3%	40.7%	13.3%	4.0%	0.7%	100.0%

2人以上の場合 きょうだいの構成は	在宅＋在宅のみ	在宅＋未就学のみ	在宅＋小学生	在宅＋中学生以上	無回答	計
	88	60	33	5	0	186
	47.3%	32.3%	17.7%	2.7%	0.0%	100.0%

問4 調査対象のお子さん(この調査票の表紙右上にある区分のお子さん)の誕生年月を数字でご記入し、性別に○をつけてください。

平成31年・令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	無回答	計
0	0	12	28	62	46	2	150
0.0%	0.0%	8.0%	18.7%	41.3%	30.7%	1.3%	100.0%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
7	9	7	13	8	8	14	9	13	
4.7%	6.0%	4.7%	8.7%	5.3%	5.3%	9.3%	6.0%	8.7%	
1月	2月	3月	無回答	計					
20	17	23	2	150					
13.3%	11.3%	15.3%	1.3%	100.0%					

男	女	無回答	計
81	66	3	150
54.0%	44.0%	2.0%	100.0%

問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父	5. その他	無回答	計
73	74	0	1	2	1	151
48.3%	49.0%	0.0%	0.7%	1.3%	0.7%	100.0%

問6 お子さんと同居のかたに○を当てはまる番号すべてにつけてください。

1. 父	2. 母	3. 父方の祖父	4. 父方の祖母	5. 母方の祖父	6. 母方の祖母	7. その他	無回答	計
139	143	10	12	11	14	31	1	361
38.5%	39.6%	2.8%	3.3%	3.0%	3.9%	8.6%	0.3%	100.0%

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 お子さんとの触れ合いについてうかがいます。家族で過ごす日として、最も多い曜日・時間帯はいつですか。また、どこでどのように過ごすことが多いですか。
※時間は、24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

【最も多い曜日】	日	月	火	水	木	金	土	無回答	計
	94	15	12	14	10	13	39	14	211
	44.5%	7.1%	5.7%	6.6%	4.7%	6.2%	18.5%	6.6%	100.0%

【時間帯】	時間	何時から	何時まで
	0時	10	6.7%
	1時	0	0.0%
	2時	0	0.0%
	3時	0	0.0%
	4時	0	0.0%
	5時	0	0.0%
	6時	13	8.7%
	7時	28	18.7%
	8時	39	26.0%
	9時	19	12.7%
	10時	13	8.7%
	11時	1	0.7%
	12時	3	2.0%
	13時	0	0.0%
	14時	3	2.0%
	15時	0	0.0%
	16時	1	0.7%
	17時	3	2.0%
	18時	3	2.0%
	19時	0	0.0%
	20時	2	1.3%
	21時	0	0.0%
	22時	0	0.0%
	23時	0	0.0%
	24時	0	0.0%
	無回答	12	8.0%
	計	150	100.0%

【場所】		
1. 自宅	122	64.2%
2. 近くの公園	30	15.8%
3. 施設	21	11.1%
4. その他	12	6.3%
無回答	5	2.6%
計	190	100.0%

主な施設名
・ショッピングモール・いとく・イオン・シルバーエリア(やまびこ)・ドーム・パークセンター(子どもの遊び場・つどいの広場ひよこ)・つくしんぼ広場・木育ひろば・あそびパーク 他

内容
・ふれあい遊び・おもちゃ遊び・室内遊び・公園遊び・外遊び・散歩・運動・室内で運動・TV鑑賞・絵本・読み聞かせ・お話・TVゲーム・ドライブ・バーベキュー、キャンプ・プール・買い物(ショッピング)・外食・日常生活(朝起きてから夜寝るまで一緒に過ごす・寝るまでの時間・お世話・授乳・食事・入浴(風呂))・ほぼ毎日一緒に会社に行く 他

問8 日常的または緊急時にお子さんをみてもらえる人はいますか。

1. いる	2. いない	無回答	計
123	26	1	150
82.0%	17.3%	0.7%	100.0%

問8-1 問8で「1. いる」に○をつけたかたへ みてもらえるかたすべてに○をつけてください。

1. 同居の祖父母	31	20.9%
2. 近居の祖父母	86	58.1%
3. 同居の親族(祖父母以外)	5	3.4%
4. 近居の親族(祖父母以外)	12	8.1%
5. 友人、知人	5	3.4%
6. その他	9	6.1%
無回答	0	0.0%
計	148	100.0%

問8-2 問8で「1. いる」に○をつけたかたへ みてもらっている状況に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. みてもらえるかたの身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	72	47.1%
2. みてもらえるかたの身体的・精神的な負担や時間的制約が心配である	45	29.4%
3. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	30	19.6%
4. 子どもの教育や発達にとって、ふさわしい環境であるか不安がある	4	2.6%
5. その他	0	0.0%
無回答	2	1.3%
計	153	100.0%

問9 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

1. いる	2. いない	無回答	計
139	7	4	150
92.7%	4.7%	2.7%	100.0%

問9-1 問9で「1. いる」に○をつけたかたへ 相談できる人は誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	118	34.9%
2. 友人と知人	87	25.7%
3. 近所の人	9	2.7%
4. 保育園等の先生	16	4.7%
5. 子育て支援施設(子育て相談室、つどいの広場ひよこ)	40	11.8%
6. 幼稚園・こども園の先生	9	2.7%
7. 小学校の先生	6	1.8%
8. 民生委員、児童委員	0	0.0%
9. かかりつけの医師	15	4.4%
10. さんまある(保健センター)	24	7.1%
11. 子ども家庭総合支援拠点ほっと(子ども課)	1	0.3%
12. その他	12	3.6%
無回答	1	0.3%
計	338	100.0%

保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、父親・母親それぞれ当てはまる番号を【就労状況】から1つ選び、番号に○をつけてください。

【就労状況】	母親		父親	
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8	5.4%	136	94.4%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	74	49.7%	4	2.8%
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4	2.7%	0	0.0%
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	4.7%	0	0.0%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	53	35.6%	1	0.7%
6. これまで就労したことがない	2	1.3%	0	0.0%
無回答	1	0.7%	3	2.1%
計	149	100.0%	144	100.0%

問10-1 問10で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけたかたへ

週当たりの「就労日数」と1日当たりの「就労時間」を、父親・母親それぞれお答えください。

※日数や時間が一定でない場合は、一番多い勤務体制でお答えください。

※就労時間には残業時間も含まれます。

※産休・育休・介護休業中のかたは、休業の前の状況についてお答えください。

【週当たりの就労日数】

	母親		父親	
1日	0	0.0%	0	0.0%
2日	0	0.0%	0	0.0%
3日	5	5.4%	1	0.7%
4日	4	4.3%	5	3.6%
5日	77	82.8%	91	65.9%
6日	7	7.5%	36	26.1%
7日	0	0.0%	3	2.2%
無回答	0	0.0%	2	1.4%
計	93	100.0%	138	100.0%

【1日当たりの就労時間】

	母親		父親	
～4時間	4	4.3%	0	0.0%
～5時間	3	3.2%	0	0.0%
～6時間	5	5.4%	0	0.0%
～7時間	4	4.3%	3	2.2%
～8時間	55	59.1%	69	50.4%
～9時間	12	12.9%	17	12.4%
～10時間	4	4.3%	22	16.1%
～11時間	4	4.3%	7	5.1%
～12時間	2	2.2%	13	9.5%
13時間以上	0	0.0%	5	3.6%
無回答	0	0.0%	1	0.7%
計	93	100.0%	137	100.0%

問10-2 問10で「1. ～4. 」（就労している）に○をつけたかたへ
 家を出る時刻と帰宅時刻を、父親・母親それぞれお答えください。
 ※時間が一定でない場合は、一番多いケースでお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中のかたは、休業の前の状況についてお答えください。
 ※時間は、24時間制（例：08時～18時）でお答えください。

時間帯	母親				父親			
	家を出る時刻		帰宅時刻		家を出る時刻		帰宅時刻	
0時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
2時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
3時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5時	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%
6時	2	2.0%	0	0.0%	11	8.0%	0	0.0%
7時	45	45.0%	0	0.0%	63	45.7%	0	0.0%
8時	42	42.0%	0	0.0%	44	31.9%	1	0.7%
9時	5	5.0%	0	0.0%	6	4.3%	1	0.7%
10時	1	1.0%	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%
11時	1	1.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
12時	1	1.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
13時	1	1.0%	2	2.1%	1	0.7%	1	0.7%
14時	0	0.0%	2	2.1%	0	0.0%	1	0.7%
15時	0	0.0%	2	2.1%	2	1.4%	1	0.7%
16時	0	0.0%	4	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
17時	0	0.0%	12	12.8%	0	0.0%	14	10.3%
18時	1	1.0%	39	41.5%	0	0.0%	44	32.4%
19時	0	0.0%	24	25.5%	0	0.0%	35	25.7%
20時	0	0.0%	5	5.3%	0	0.0%	21	15.4%
21時	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	6	4.4%
22時	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	3	2.2%
23時	0	0.0%	1	1.1%	1	0.7%	2	1.5%
24時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	1.0%	1	1.1%	4	2.9%	4	2.9%
計	100	100.0%	94	100.0%	138	100.0%	136	100.0%

問11 問10で「3. 4. 」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけたかたへ
 フルタイム勤務への転換希望はありますか。父親・母親それぞれ当てはまる番号を【勤務体制】から選び、
 番号に○をつけてください。

【勤務体制】	母親		父親	
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	9.1%	0	0.0%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	9.1%	0	0.0%
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	8	72.7%	1	100.0%
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい	1	9.1%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	11	100.0%	1	100.0%

問12 問10で「5. 6. 」（現在は就労していない、これまで就労したことがない）に○をつけたかたへ
 就労したいという希望はありますか。父親・母親それぞれ当てはまる番号を【就労希望】から1つ選び、番号
 に○をつけてください。また、就労希望の「2. 3. 」を選んだかたは、希望する就労形態もお答えください。

【就労希望】	母親		父親	
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	16	29.1%	0	0.0%
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい	25	45.5%	1	100.0%
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	14	25.5%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	55	100.0%	1	100.0%

「2」を選んだ場合の年齢 ⇒

1歳未満	0	0.0%	0	0.0%
1歳	2	8.3%	0	0.0%
2歳	3	12.5%	0	0.0%
3歳	12	50.0%	0	0.0%
4歳	3	12.5%	1	100.0%
5歳	0	0.0%	0	0.0%
6歳	1	4.2%	0	0.0%
7歳以上	2	8.3%	0	0.0%
無回答	1	4.2%	0	0.0%
計	24	100.0%	1	100.0%

「2. 3.」を選んだ場合の希望する就労形態				
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	3	7.9%	0	0.0%
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	33	86.8%	1	100.0%
無回答	2	5.3%	0	0.0%
計	38	100.0%	1	100.0%

「イ」を選んだ場合⇒ 【週当たり】	1日	0	0.0%	0	0.0%
	2日	0	0.0%	0	0.0%
	3日	10	29.4%	0	0.0%
	4日	9	26.5%	1	100.0%
	5日	15	44.1%	0	0.0%
	6日	0	0.0%	0	0.0%
	7日	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%
	計	34	100.0%	1	100.0%

【1日当たり】	～4時間	15	44.1%	0	0.0%
	～5時間	10	29.4%	0	0.0%
	～6時間	7	20.6%	1	100.0%
	～7時間	1	2.9%	0	0.0%
	～8時間	1	2.9%	0	0.0%
	～9時間	0	0.0%	0	0.0%
	～10時間	0	0.0%	0	0.0%
	～11時間	0	0.0%	0	0.0%
	～12時間	0	0.0%	0	0.0%
	13時間以上	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%
	計	34	100.0%	1	100.0%

お子さんが平日に定期的に利用している預かり事業などの利用状況及び教育・保育施設等の利用意向についてうかがいます。

問13 現在、一時預かり事業、ファミリー・サポート・センターなどの子どもを預かる施設やサービスを毎月利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	20	13.3%
2. 利用していない	129	86.0%
無回答	1	0.7%
計	150	100.0%

問13-1 問13で「1. 利用している」に○をつけたかたへ
お子さんが利用している事業に該当する番号に○をつけてください。

1. 一時預かり(白百合ホーム・たしろ保育園)	13	56.5%
2. ファミリー・サポート・センター	8	34.8%
3. 民間の託児(ベビーシッターなど)	0	0.0%
4. その他	2	8.7%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

問13-2 利用する主な理由として、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 自宅に近い	7	17.9%
2. 気分転換・リフレッシュのため	14	35.9%
3. 保育施設に申し込んだが入れなかった	2	5.1%
4. 保護者が就労しているため	1	2.6%
5. 利用時間が希望にあっているから	6	15.4%
6. 保護者に病気、障害があるため	0	0.0%
7. 保護者が就労予定／求職中のため	0	0.0%
8. 妊娠中のため／下の子の育児のため	2	5.1%
9. その他	7	17.9%
無回答	0	0.0%
計	39	100.0%

問13-3 どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを数字でご記入ください。
※時間は24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

週当たり	現在		希望	
1日	12	60.0%	7	38.9%
2日	2	10.0%	2	11.1%
3日	1	5.0%	4	22.2%
4日	0	0.0%	0	0.0%
5日	4	20.0%	2	11.1%
6日	0	0.0%	0	0.0%
7日	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	5.0%	3	16.7%
計	20	100.0%	18	100.0%

1日当たり	現在		希望	
～1時間	4	20.0%	1	5.3%
～2時間	0	0.0%	2	10.5%
～3時間	2	10.0%	2	10.5%
～4時間	5	25.0%	0	0.0%
～5時間	0	0.0%	0	0.0%
～6時間	1	5.0%	1	5.3%
～7時間	6	30.0%	6	31.6%
～8時間	1	5.0%	0	0.0%
～9時間	0	0.0%	1	5.3%
～10時間	0	0.0%	1	5.3%
～11時間	0	0.0%	0	0.0%
～12時間	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	5.0%	5	26.3%
計	20	100.0%	19	100.0%

利用時間帯	何時から				何時まで			
	現在		希望		現在		希望	
5時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8時	2	9.5%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
9時	9	42.9%	7	38.9%	0	0.0%	0	0.0%
10時	6	28.6%	4	22.2%	1	5.0%	0	0.0%
11時	1	4.8%	0	0.0%	3	15.0%	1	5.6%
12時	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	1	5.6%
13時	1	4.8%	2	11.1%	3	15.0%	1	5.6%
14時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%
16時	0	0.0%	0	0.0%	8	40.0%	8	44.4%
17時	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.6%
18時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
19時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
22時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
23時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
24時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	9.5%	4	22.2%	2	10.0%	4	22.2%
計	21	100.0%	18	100.0%	20	100.0%	18	100.0%

問13-4 問13で「2. 利用していない」に○をつけたかたへ
利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない(父親または母親が就労していないなどにより)	68	36.8%
2. 父親または母親が、育児休暇中のため	61	33.0%
3. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	28	15.1%
4. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
5. 利用したいが、空きがなかった	2	1.1%
6. 利用したいが、経済的な理由で利用できない	3	1.6%
7. 利用したいが、時間帯の条件が合わない	3	1.6%
8. 利用したいが、内容や場所など、納得できる事業(施設)がない	10	5.4%
9. その他	10	5.4%
無回答	0	0.0%
計	185	100.0%

問13-5 問13-4で「6. 利用したいが、経済的な理由で利用できない」を選択したかたへ
1日(8H)の利用料金について、いくらまでであれば利用しようと思いますか。
具体的な金額の上限をお知らせください。
(参考:既存の一時預かり事業【500円～2,000円/日】)

～500円未満	0	0.0%
500～1,000円未満	2	66.7%
1,000～1,500円未満	0	0.0%
1,500～2,000円未満	1	33.3%
無回答	0	0.0%
計	3	100.0%

問14 すべてのかたへ

お子さんの教育・保育の施設として、「毎月」利用したいと考える施設をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。

※幼稚園(教育が基本)、保育園(所)(保育が主体)、認定こども園(幼稚園・保育園を一体とした施設)

1. 幼稚園	50	17.4%
2. 認定こども園(教育認定1号)	64	22.2%
3. 認定こども園(保育認定2, 3号)	75	26.0%
4. 保育園	65	22.6%
5. へき地保育所	7	2.4%
6. 地域型保育施設	7	2.4%
7. 企業主導型保育施設	11	3.8%
8. 事業所内保育施設(院内託児所を含む)	5	1.7%
9. その他	1	0.3%
無回答	3	1.0%
計	288	100.0%

※【教育認定1号】お子さんが満3歳以上で、教育を希望される場合

【保育認定2, 3号】就労などの「保育を必要とする事由」に該当し、保育を希望される場合

問14-1 利用したい場所はどこですか。「1.」「2.」のいずれか1つに○をつけてください。また、2をお選びの場合は、具体的にどの地区がよいか、学区や町内名などわかる範囲でご記入願います。

1. 居住している小学校区内	119	79.3%
2. 居住とは別の地区	27	18.0%
無回答	4	2.7%
計	150	100.0%

問14-2 問14で選択した施設を利用したいと考えた理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用時間が希望にあっている	44	10.9%
2. 実家の援助が得られる(実家に近いなど)	12	3.0%
3. 自宅からの距離	101	25.1%
4. 給食の提供の有無	48	11.9%
5. 通勤に便利だから(勤務先に近い・通勤途上)	43	10.7%
6. 教育・保育の方針や内容	37	9.2%
7. 集団の中で協調性や社会性を学ばせたいから	71	17.6%
8. 施設環境(設備・園庭など)	35	8.7%
9. 特別な支援が必要な子どもの受け入れ有無	2	0.5%
10. その他	8	2.0%
無回答	2	0.5%
計	403	100.0%

問14-3 問14で選択した施設は、何歳から利用したいですか。

1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答	計
10	64	19	52	1	1	3	150
6.7%	42.7%	12.7%	34.7%	0.7%	0.7%	2.0%	100.0%

問14-4 保育園などの未就学施設を利用する場合、施設までの移動にかけられる時間の上限はどのくらいですか。

※時間は、車で30分や徒歩15分などとお答えください。

移動時間	～10分	～20分	～30分	無回答	計
車の場合	57	74	9	2	142
	40.1%	52.1%	6.3%	1.4%	100.0%
徒歩の場合	8	1	1	2	12
	66.7%	8.3%	8.3%	16.7%	100.0%

問14-5 お子さんが3歳以上になったときに利用する教育・保育施設等の1クラスの人数は何人が理想的だと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 5人～10人未満	37
2. 10人～15人	83
3. 15人以上	24
4. その他	3
無回答	3
計	150

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 次の①～⑬の事業について、A～Cのそれぞれ、「はい」「いいえ」のいずれか1つに○をつけてください。【 】は利用料

	A知っている			Bこれまでに利用したことがある			C今後利用したい		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
①大館市ファミリー・サポート・センター事業【300円/h】	130	18	2	17	126	7	67	74	9
	86.7%	12.0%	1.3%	11.3%	84.0%	4.7%	44.7%	49.3%	6.0%
②病児・病後児保育事業【500～1,000円/日】	117	30	3				85	58	7
	78.0%	20.0%	2.0%				56.7%	38.7%	4.7%
③夜間養護(トワイライトステイ)事業【500～2,000円/日】	65	82	3	0	142	8	31	110	9
	43.3%	54.7%	2.0%	0.0%	94.7%	5.3%	20.7%	73.3%	6.0%
④一時預かり事業【500～2,000円/日】	112	36	2	22	121	7	88	54	8
	74.7%	24.0%	1.3%	14.7%	80.7%	4.7%	58.7%	36.0%	5.3%
⑤休日保育事業	55	93	2	2	140	8	62	79	9
	36.7%	62.0%	1.3%	1.3%	93.3%	5.3%	41.3%	52.7%	6.0%
⑥子ども家庭総合支援拠点 ほっと	46	101	3	1	142	7	64	78	8
	30.7%	67.3%	2.0%	0.7%	94.7%	4.7%	42.7%	52.0%	5.3%
⑦子ども発達相談室「ふわっとさぽーと」	19	126	5	2	141	7	58	83	9
	12.7%	84.0%	3.3%	1.3%	94.0%	4.7%	38.7%	55.3%	6.0%
⑧地域子育て支援拠点事業	122	26	2	84	59	7	117	26	7
	81.3%	17.3%	1.3%	56.0%	39.3%	4.7%	78.0%	17.3%	4.7%
⑨子育て応援ポータルサイト「おおだて子育てねっと」	131	16	3	75	68	7	113	28	9
	87.3%	10.7%	2.0%	50.0%	45.3%	4.7%	75.3%	18.7%	6.0%
⑩はちくんすくすく子育て支援事業	135	13	2						
	90.0%	8.7%	1.3%						
⑪在宅子育て支援事業	102	46	2						
	68.0%	30.7%	1.3%						
⑫ファミリー支援事業	61	86	3						
	40.7%	57.3%	2.0%						
⑬ほっとワンツー応援事業	73	75	2						
	48.7%	50.0%	1.3%						

※パーセントは回収数150件に対する割合。

お子さんの土・日・祝日や長期休暇中の、教育・保育事業（施設）の利用希望についてうかがいます。

問16 土・日・祝日に、幼稚園・認定こども園や保育園、保育（所）施設などのお子さんの預かりの利用希望はありますか。

※時間は24時間制（例：08時～18時）でお答えください。

	(1)土曜日		(2)日曜・祝日	
1. 利用する必要はない	80	53.3%	114	76.0%
2. ほぼ毎週利用したい	21	14.0%	5	3.3%
3. 月に1～2回は利用したい	47	31.3%	29	19.3%
無回答	2	1.3%	2	1.3%
計	150	100.0%	150	100.0%

利用時間帯	(1)土曜日				(2)日曜・祝日			
	何時から		何時まで		何時から		何時まで	
5時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7時	4	5.6%	0	0.0%	3	8.8%	0	0.0%
8時	42	59.2%	0	0.0%	24	70.6%	0	0.0%
9時	18	25.4%	0	0.0%	5	14.7%	0	0.0%
10時	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13時	0	0.0%	3	4.4%	0	0.0%	2	5.9%
14時	0	0.0%	4	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
15時	0	0.0%	6	8.8%	0	0.0%	3	8.8%
16時	0	0.0%	5	7.4%	0	0.0%	4	11.8%
17時	0	0.0%	23	33.8%	0	0.0%	10	29.4%
18時	0	0.0%	17	25.0%	0	0.0%	9	26.5%
19時	0	0.0%	6	8.8%	0	0.0%	4	11.8%
20時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
22時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
23時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
24時	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	4.2%	4	5.9%	2	5.9%	2	5.9%
計	71	100.0%	68	100.0%	34	100.0%	34	100.0%

問16-1 問16の(1)または(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけたかたへ
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	39	44.8%
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	25	28.7%
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	1	1.1%
4. 息抜きのため	18	20.7%
5. その他	4	4.6%
無回答	0	0.0%
計	87	100.0%

問17 問14で「1. 幼稚園、2. 認定こども園（教育認定1号）に○をつけたかたへ
お子さんが、夏休み・冬休みなど長期の休みの期間に、幼稚園や認定こども園など施設の利用希望はありますか。（※【教育認定1号】お子さんが満3歳以上で、教育を希望される場合）

※時間は24時間制（例：08時～18時）でお答えください。

1. 利用する必要はない	30	38.5%
2. ほぼ毎日利用したい	26	33.3%
3. 週に数日利用したい	21	26.9%
4. 利用したいが、難しい	1	1.3%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%

「2.」「3.」を選んだ場合の利用したい時間帯			
利用時間帯	何時から		何時まで
7時	4	8.5%	0 0.0%
8時	26	55.3%	0 0.0%
9時	16	34.0%	0 0.0%
10時	1	2.1%	0 0.0%
11時	0	0.0%	0 0.0%
12時	0	0.0%	2 4.3%
13時	0	0.0%	4 8.5%
14時	0	0.0%	8 17.0%
15時	0	0.0%	4 8.5%
16時	0	0.0%	4 8.5%
17時	0	0.0%	13 27.7%
18時	0	0.0%	11 23.4%
19時	0	0.0%	1 2.1%
20時	0	0.0%	0 0.0%
21時	0	0.0%	0 0.0%
無回答	0	0.0%	0 0.0%
計	47	100.0%	47 100.0%

問17-1 問17で「3. 週に数日利用したい」に○をつけたかたへ
たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	7	19.4%
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	15	41.7%
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	1	2.8%
4. 息抜きのため	10	27.8%
5. その他	3	8.3%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

一時的な教育・保育事業（施設）の利用や宿泊を伴う預かり等の利用についてうかがいます。

問18 問13で「1. 利用している」と答えたかたへ

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で利用したことがある事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数を記入してください。【 】は利用料。

1. 一時預かり ※幼稚園及び保育園などに入っている子どもを除く (私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業)【500～2,000円/日】	13	56.5%
2. 大館市ファミリー・サポート・センター (地域住民・協会員が子どもを預かる事業)【300円/h】	9	39.1%
3. ベビーシッター	0	0.0%
4. その他の事業	0	0.0%
無回答	1	4.3%
計	23	100.0%

利用日数	1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 一時預かり	6	6	1	2	0	2
2. 大館市ファミリー・サポート・センター	7	0	1	0	0	1
3. ベビーシッター	0	0	0	0	0	0
4. その他の事業	0	0	0	0	0	0

問19 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する、またはしたいと思いますか。
利用目的として当てはまる番号すべてに○をつけ、おおよその日数を記入してください。
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用目的			利用日数					
			1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	17	56.7%	1	4	4	4	3	4
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院	10	33.3%	3	2	2	2	0	1
3. 不特定の就労	2	6.7%	0	1	0	0	0	1
4. その他の目的	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
5. 利用する必要はない	1	3.3%						
無回答	0	0.0%						
計	30	100.0%						

問19-1 問18で「1. ～4.」に○をつけたかたへ

お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育園・認定こども園などで子どもを保育する事業	17	44.7%
2. 地域子育て支援拠点施設(つどいの広場ひよこなど)で子どもを保育する事業	11	28.9%
3. ファミリー・サポート・センターなどの地域住民等が子育て家庭等の近くで保育する事業	10	26.3%
4. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	38	100.0%

問20 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことがありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数を記入してください。※ここでの家族とは、同居の親族を指します。

【対応内容】			【宿泊日数】					
			1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 同居以外の親族・知人にみてもらった	4	18.2%	4	0	0	0	0	0
2. 託児所やベビーシッター等の民間の預け先を利用し	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
3. 仕方なく子どもを同行させた	1	4.5%	1	0	0	0	0	0
4. 仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
5. その他の対応	0	0.0%						
6. なかった	17	77.3%						
無回答	0	0.0%						
計	22	100.0%						

問20-1 問20で「1. 同居以外の親族・知人にみてもらった」に○をつけたかたへ
お願いするにあたって、どの程度難しかったですか。

1. 非常に難しい	0	0.0%
2. どちらかというと難しい	2	50.0%
3. 特に難しくはない	2	50.0%
無回答	0	0.0%
計	4	100.0%

問20-2 問20で「1. 同居以外の親族・知人にみてもらった」「2. 託児所やベビーシッター等の民間の預け先を利用した」に○をつけたかたへ
既存の一時預かり事業と比較して利用料金が高額であっても、月内の利用制限がなく、お子さんの預かりを行える施設があれば利用しますか。

1. 利用したい	0	0.0%
2. どちらかというと利用したい	0	0.0%
3. 利用したくない	4	100.0%
無回答	0	0.0%
計	4	100.0%

育児休業や短時間勤務制度など家庭と職場の両立支援制度についてうかがいます。

問21 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

育児休業取得状況	母親		父親	
1. 働いていなかった	52	34.9%	4	2.8%
2. 取得した(取得中である)	86	57.7%	35	24.6%
3. 取得していない	10	6.7%	101	71.1%
無回答	1	0.7%	2	1.4%
計	149	100.0%	142	100.0%

「3」を選んだ場合(複数回答)

所得していない理由	母親		父親	
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0%	27	14.0%
2. 仕事が忙しかった	1	7.1%	41	21.2%
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	0	0.0%	0	0.0%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0%	3	1.6%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	7	3.6%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	1	7.1%	31	16.1%
7. 保育園などに預けることができた	0	0.0%	0	0.0%
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	1	7.1%	34	17.6%
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	0	0.0%	16	8.3%
10. 子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%	0	0.0%
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	3	21.4%	11	5.7%
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	7.1%	2	1.0%
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%	3	1.6%
14. 出産時に退職した	3	21.4%	1	0.5%
15. その他	4	28.6%	12	6.2%
無回答	0	0.0%	5	2.6%
計	14	100.0%	193	100.0%

問22 問21で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけたかたへ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号をくにご記入ください。

育休取得後の状況	母親		父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	3	3.5%	30	90.9%
2. 現在も育児休業中である	77	90.6%	3	9.1%
3. 育児休業中または育児休業後に退職した	4	4.7%	0	0.0%
無回答	1	1.2%	0	0.0%
計	85	100.0%	33	100.0%

問23 問22で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたへ
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育施設等への入園に合わせてでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号をくにご記入ください。※希望の保育施設かどうか、また保育園、幼稚園等の施設にかかわらず、職場復帰したタイミングでお答えください。

復帰時期	母親		父親	
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	0	0.0%	0	0.0%
2. それ以外だった	4	100.0%	30	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	4	100.0%	30	100.0%

問23-1 育児休業から職場に復職したのは、お子さんが何歳何か月のときですか。また、希望としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。(お勤め先の育児休業の期間内で)数字をご記入ください。

お子さんの年齢	実際の取得期間				希望の取得期間			
	母親		父親		母親		父親	
～0歳2か月	0	0.0%	23	69.7%	0	0.0%	7	22.6%
0歳3か月～0歳6か月	2	28.6%	6	18.2%	0	0.0%	9	29.0%
0歳7か月～1歳0か月	3	42.9%	2	6.1%	5	62.5%	7	22.6%
1歳1か月～1歳6か月	1	14.3%	0	0.0%	2	25.0%	3	9.7%
1歳7か月～2歳0か月	1	14.3%	1	3.0%	0	0.0%	1	3.2%
2歳1か月～2歳6か月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2歳7か月～3歳0か月	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	3.2%
3歳1か月～3歳6か月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3歳7か月～4歳0か月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4歳1か月～	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	3	9.7%
計	7	100.0%	33	100.0%	8	100.0%	31	100.0%

問23-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字でお答えください。

お子さんの年齢	母親	父親
～0歳2か月	0	0.0%
0歳3か月～0歳6か月	0	0.0%
0歳7か月～1歳0か月	5	23.8%
1歳1か月～1歳6か月	1	4.8%
1歳7か月～2歳0か月	5	23.8%
2歳1か月～2歳6か月	0	0.0%
2歳7か月～3歳0か月	10	47.6%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%

問23-3 育児休業から職場に復職したとき、「短時間勤務制度」を利用しましたか。当てはまる番号1つをく)にご記入ください。

利用状況	母親	父親
1. 利用した	1	11.1%
2. 利用する必要がなかった(もともと短時間勤務だった)	3	33.3%
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	4	44.4%
4. 短時間勤務制度の対象外	0	0.0%
5. 制度を知らなかった	1	11.1%
無回答	0	0.0%
計	9	100.0%

問23-4 問23-1で実際の復職と希望が異なるかたへ
希望の時期に職場復帰できなかった理由について、最も当てはまる理由1つを選び、番号をく)にご記入ください。

(1)「希望」より早く復職したかた	母親	父親
1. 希望する保育園に入れたため	0	0.0%
2. 配偶者や家族の希望	0	0.0%
3. 経済的な理由で早く復職する必要があるため	1	50.0%
4. 仕事の都合	1	50.0%
5. 人事など会社の都合	0	0.0%
6. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	2	100.0%

(2)「希望」より遅く復職したかた	母親	父親
1. 希望する保育園に入れなかったため	1	50.0%
2. 配偶者や家族の希望	0	0.0%
3. 自分または子どもの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
4. 会社の都合	1	50.0%
5. 子どもを見てくれる人がいなかったため	0	0.0%
6. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	2	100.0%

問23-5 問23で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答したかたへ
その理由として当てはまる番号をすべてご記入ください。

理由	母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	16.7%
2. 仕事が忙しかった	1	16.7%
3. 短時間勤務にすると給与が減額となる	2	33.3%
4. 短時間勤務にすると、保育園へ提出した就労証明書の内容と異なってしまう	0	0.0%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
6. 配偶者が無職、または祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	0	0.0%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	1	16.7%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	0	0.0%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
10. その他	1	16.7%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

- 問24 問22で「2. 現在も育児休業中である」と回答したかたへ
 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育施設)があれば、1歳まで育児休業を取得しますか。それとも、預けられる事業があっても1歳になる前に復職しますか。当てはまる番号1つをくにご記入

復職時期	母親		父親	
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	60	87.0%	7	63.6%
2. 1歳になる前に復職したい	5	7.2%	3	27.3%
3. その他	2	2.9%	1	9.1%
無回答	2	2.9%	0	0.0%
計	69	100.0%	11	100.0%

- 問25 子どもが原則1歳(定員オーバーにより保育園に入園することができなかった場合など、一定の要件を満たす場合は最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される制度をご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答		計	
94	62.7%	45	30.0%	11	7.3%
				150	100.0%

- 問25-1 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置)期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度をご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答		計	
50	33.3%	90	60.0%	10	6.7%
				150	100.0%

こども誰でも通園制度(仮称)についてうかがいます。

「こども誰でも通園制度(仮称)とは・・・

普段、保育所や幼稚園等を利用していない未就園児を月一定時間までの利用可能枠(試行的事業では、月10時間程度)の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度です。

- 問26 すべてのかたにうかがいます。上記の制度が実施された場合、利用したいですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 毎月、利用したい		2. 時々、利用したい		3. 利用したいとは思わない		無回答		計	
50	33.3%	61	40.7%	39	26.0%	0	0.0%	150	100.0%

- 問26-1 問26で「1. 毎月、利用したい」「2. 時々、利用したい」に○をつけたかたへ
 どのような施設での利用を希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園	42	17.9%
2. 保育園(所)	71	30.2%
3. 認定こども園	83	35.3%
4. 地域型保育	14	6.0%
5. 地域子育て支援拠点施設	25	10.6%
無回答	0	0.0%
計	235	100.0%

- 問26-2 問26-1の施設を選んだ理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅に近いから	64	34.0%
2. 小規模施設で、同年代の子どもとの関わりに慣れさせたいから	53	28.2%
3. 通勤に便利だから(通勤先に近い・通勤途上)	21	11.2%
4. 大規模な施設を利用し、集団の中で協調性や社会性を学ばせたいから	46	24.5%
5. その他	4	2.1%
無回答	0	0.0%
計	188	100.0%

- 問26-3 1か月にどのくらいの時間の利用を希望しますか。

5時間未満	13	12.1%
5～10時間未満	16	15.0%
10～20時間未満	35	32.7%
20～30時間未満	15	14.0%
30～40時間未満	5	4.7%
40～50時間未満	3	2.8%
50時間以上	16	15.0%
無回答	4	3.7%
計	107	100.0%

- 問27 問26で、「3. 利用したいとは思わない」に○をつけたかたへ
 理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現行の「一時預かり事業」の利用のみで不便はないため	5	10.2%
2. 一定時間の利用ではなく、保育園・保育所・こども園などの保育施設へ入所し、恒常的な利用を希望しているから	22	44.9%
3. 利用料がかかるため	9	18.4%
4. その他	11	22.4%
無回答	2	4.1%
計	49	100.0%

大館市における子育て支援についてうかがいます。

問28 大館市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。
満足度が低い ← → 満足度が高い

1	2	3	4	5	無回答	計
12	43	51	33	5	6	150
8.0%	28.7%	34.0%	22.0%	3.3%	4.0%	100.0%

問29 ニプロハチ公ドームに隣接するパークセンター内にある、子どもの遊び場についてお尋ねします。今後、設備面・運営面でどのようなことを期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て支援事業の利用や子どもの発達に関する相談の実施(相談員の派遣など)	51	11.8%
2. 絵本・工作等の学習体験ができる	61	14.1%
3. 身体を使った遊び	93	21.5%
4. 親子での交流やくつろげる空間	83	19.2%
5. 子育て情報の発信	53	12.3%
6. イベント開催の増	66	15.3%
7. その他	11	2.5%
8. 施設の利用を知らなかった	14	3.2%
無回答	0	0.0%
計	432	100.0%

問29-1 子どもの遊び場の休館日と開館時間について希望をお聞かせください。
(現行:休館日:毎週月曜日、開館時間:9時～16時)

1. いまままでよい	110	73.3%
2. 休館日を変更してほしい	3	2.0%
3. 開館時間を延長または短縮してほしい	30	20.0%
4. その他	3	2.0%
無回答	4	2.7%
計	150	100.0%

「3」を選んだ場合⇒開館時間の希望時

開館時間希望	何時から	何時まで
7時	0	0.0%
8時	1	3.2%
9時	29	93.5%
10時	1	3.2%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	31	100.0%

「2」を選んだ場合⇒休館日の希望曜日

月	0	0.0%
火	3	37.5%
水	1	12.5%
木	1	12.5%
金	1	12.5%
土	1	12.5%
日	1	12.5%
無回答	0	0.0%
計	8	100.0%

問30 子育て支援のサービスとして、活用したいと思うものをお選びください。(一番活用したいもの◎、次に活用したいものに○を()内につけてください。)その他の場合は、【 】内に詳細を記入願います。

1. スマートフォン等を活用した市からののお知らせの受取・相談	133	32.5%
2. 保育園等に預けているお子さんが急病の際の保育園や預かり施設へのお迎えサービス	91	22.2%
3. 残業・急用などの際の日祝祭日や夜間等の一時的な預かり	79	19.3%
4. 保育施設でのおむつやふとんのサブスク	93	22.7%
5. その他	8	2.0%
無回答	5	1.2%
計	409	100.0%

問31 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援・子どもの遊び場に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

記入有り	71	47.3%
記入無し	79	52.7%
計	150	100.0%

(2) 保育施設利用児

対象者 保育施設利用児

調査期間 令和6年6月17日～7月12日

実施方法 施設から配布、回収

配布数 540 回収数 518 回収率 95.93%

お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住いの地区名に○をつけてください。

1. 大館	2. 釈迦内	3. 長木	4. 上川沿	5. 下川沿	6. 真中	7. 二井田	8. 十二所	
324	26	19	15	16	3	10	11	
62.5%	5.0%	3.7%	2.9%	3.1%	0.6%	1.9%	2.1%	
9. 花岡	10. 矢立	11. 田代	12. 扇田	13. 東館	14. 西館	15. 大葛	無回答	計
6	8	25	30	7	13	0	5	518
1.2%	1.5%	4.8%	5.8%	1.4%	2.5%	0.0%	1.0%	100.0%

問2 お住いの地区の小学校に○をつけてください。

1. 桂城小	2. 城南小	3. 城西小	4. 有浦小	5. 釈迦内小	6. 長木小	7. 川口小	8. 上川沿	9. 南小	
54	68	72	102	27	25	20	21	13	
10.4%	13.1%	13.8%	19.6%	5.2%	4.8%	3.8%	4.0%	2.5%	
10. 成章小	11. 花岡小	12. 矢立小	13. 扇田小	14. 東館小	15. 西館小	16. 早口小	17. 山瀬小	無回答	計
13	8	10	28	9	13	8	19	11	521
2.5%	1.5%	1.9%	5.4%	1.7%	2.5%	1.5%	3.6%	2.1%	100.0%

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上いらっしゃる場合は、「在宅・未就学児・小学生・中学生以上」の人数もご記入ください。

子どもの人数

1人	2人	3人	4人以上	無回答	計
139	236	100	36	7	518
26.8%	45.6%	19.3%	6.9%	1.4%	100.0%

2人以上の場合
きょうだいの構成は

未就学+在宅のみ	未就学+未就学のみ	未就学+小学生	未就学+中学生以上	無回答	計
41	513	203	53	7	817
5.0%	62.8%	24.8%	6.5%	0.9%	100.0%

問4 調査対象のお子さん(この調査票の表紙右上にある区分のお子さん)の誕生年月を数字でご記入し、性別に○をつけてください。

平成30年	平成31年令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	無回答	計
86	105	96	97	83	43	3	5	518
16.6%	20.3%	18.5%	18.7%	16.0%	8.3%	0.6%	1.0%	100.0%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
58	49	50	52	48	45	40	32	44	
11.2%	9.5%	9.7%	10.0%	9.3%	8.7%	7.7%	6.2%	8.5%	
1月	2月	3月	無回答	計					
31	29	33	7	518					
6.0%	5.6%	6.4%	1.4%	100.0%					

男	女	無回答	計
270	240	8	518
52.1%	46.3%	1.5%	100.0%

問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他	無回答	計
354	157	4	1	3	5	524
67.6%	30.0%	0.8%	0.2%	0.6%	1.0%	100.0%

問6 お子さんと同居のかたに○を当てはまる番号すべてにつけてください。

1. 父	2. 母	3. 父方の祖父	4. 父方の祖母	5. 母方の祖父	6. 母方の祖母	7. その他	無回答	計
467	492	53	55	35	39	137	8	1286
36.3%	38.3%	4.1%	4.3%	2.7%	3.0%	10.7%	0.6%	100.0%

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 お子さんとの触れ合いについてうかがいます。家族で過ごす日として、最も多い曜日・時間帯はいつですか。
また、どこでどのように過ごすことが多いですか。
※時間は、24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

【最も多い曜日】	日	月	火	水	木	金	土	無回答	計
	441	6	7	7	2	3	52	15	533
	82.7%	1.1%	1.3%	1.3%	0.4%	0.6%	9.8%	2.8%	100.0%

【時間帯】	時間	何時から		何時まで	
	0時	26	5.0%	1	0.2%
	1時	2	0.4%	0	0.0%
	2時	0	0.0%	0	0.0%
	3時	0	0.0%	1	0.2%
	4時	0	0.0%	0	0.0%
	5時	3	0.6%	0	0.0%
	6時	59	11.4%	1	0.2%
	7時	127	24.5%	1	0.2%
	8時	165	31.9%	2	0.4%
	9時	46	8.9%	0	0.0%
	10時	19	3.7%	2	0.4%
	11時	3	0.6%	2	0.4%
	12時	6	1.2%	4	0.8%
	13時	3	0.6%	5	1.0%
	14時	3	0.6%	6	1.2%
	15時	1	0.2%	6	1.2%
	16時	4	0.8%	12	2.3%
	17時	6	1.2%	14	2.7%
	18時	17	3.3%	42	8.1%
	19時	4	0.8%	16	3.1%
	20時	1	0.2%	82	15.8%
	21時	0	0.0%	198	38.2%
	22時	0	0.0%	64	12.4%
	23時	0	0.0%	7	1.4%
	24時	0	0.0%	27	5.2%
	無回答	23	4.4%	25	4.8%
	計	518	100.0%	518	100.0%

【場所】		
1. 自宅	410	55.9%
2. 近くの公園	158	21.6%
3. 施設	82	11.2%
4. その他	63	8.6%
無回答	20	2.7%
計	733	100.0%

主な施設名

・イオン・ショッピングセンター・いとく・日
帰り温泉・水族館・福祉エリア・こどもの
遊び場・ひよこ・木育ひろば・ジム・河原・
弘前・図書館・動物園・市外の公園・ひ
まわり・二ツ山公園・鷹巣の公園・イオン
タウン能代・鳥海山のおもちゃ館・友達
の家・ソユスタ

内容

・ショッピング、買い物・ブランコ、砂、夏
は水遊び・外食・おもちゃ、えほん、散
歩・食事、運動・読書・公園・室内遊び、
庭遊び・ピクニック・ドライブ・アニメ・ま
まごと・サイクリング・家族でのんびり過
す・お絵かき、ぬりえ、折り紙・テレビ・ア
ウトドア・ショー鑑賞・砂あそび・お菓子、
料理作り・タブレット・釣り・トンボリン、
ジャングルジム、ブロック・いろいろなイ
ベント・カードゲーム・虫取り・ペットの
犬・プラレール、野球

問8 日常的または緊急時にお子さんをみてもらえる人はいますか。

1. いる	2. いない	無回答	計
398	103	7	508
78.3%	20.3%	1.4%	100.0%

問8-1 問8で「1. いる」に○をつけたかたへ みてもらえるかたすべてに○をつけてください。

1. 同居の祖父母	94	20.1%
2. 近居の祖父母	306	65.5%
3. 同居の親族(祖父母以外)	10	2.1%
4. 近居の親族(祖父母以外)	27	5.8%
5. 友人、知人	9	1.9%
6. その他	17	3.6%
無回答	4	0.9%
計	467	100.0%

問8-2 問8で「1. いる」に○をつけたかたへ みてもらっている状況に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. みてもらえるかたの身体的・精神的な負担や時間的制約を心配すること なく、安心して子どもをみてもらえる	213	42.2%
2. みてもらえるかたの身体的・精神的な負担や時間的制約が心配である	170	33.7%
3. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	93	18.4%
4. 子どもの教育や発達にとって、ふさわしい環境であるか不安がある	17	3.4%
5. その他	7	1.4%
無回答	5	1.0%
計	505	100.0%

問9 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

1. いる	2. いない	無回答	計
476	36	6	518
91.9%	6.9%	1.2%	100.0%

問9-1 問9で「1. いる」に○をつけたかたへ 相談できる人は誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	385	33.2%
2. 友人と知人	313	27.0%
3. 近所の人	24	2.1%
4. 保育園等の先生	198	17.1%
5. 子育て支援施設(子育て相談室、つどいの広場ひよこ)	39	3.4%
6. 幼稚園・こども園の先生	104	9.0%
7. 小学校の先生	17	1.5%
8. 民生委員、児童委員	3	0.3%
9. かかりつけの医師	29	2.5%
10. さんまある(保健センター)	18	1.6%
11. 子ども家庭総合支援拠点ほっと(子ども課)	1	0.1%
12. その他	25	2.2%
無回答	4	0.3%
計	1160	100.0%

保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、父親・母親それぞれ当てはまる番号を【就労状況】から1つ選び、番号に○をつけてください。

【就労状況】	母親		父親	
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	321	62.3%	466	96.9%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	33	6.4%	1	0.2%
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	116	22.5%	2	0.4%
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	0.8%	0	0.0%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	35	6.8%	6	1.2%
6. これまで就労したことがない	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	1.2%	6	1.2%
計	515	100.0%	481	100.0%

問10-1 問10で「1. ～4.」(就労している)に○をつけたかたへ

週当たりの「就労日数」と1日当たりの「就労時間」を、父親・母親それぞれお答えください。

※日数や時間が一定でない場合は、一番多い勤務体制でお答えください。

※就労時間には残業時間も含まれます。

※産休・育休・介護休業中のかたは、休業の前の状況についてお答えください。

【週当たりの就労日数】

	母親		父親	
1日	4	0.8%	3	0.6%
2日	2	0.4%	0	0.0%
3日	10	2.1%	15	3.2%
4日	38	7.9%	32	6.8%
5日	379	79.1%	289	61.0%
6日	40	8.4%	124	26.2%
7日	2	0.4%	7	1.5%
無回答	4	0.8%	4	0.8%
計	479	100.0%	474	100.0%

【1日当たりの就労時間】

	母親		父親	
～4時間	24	5.0%	0	0.0%
～5時間	27	5.7%	1	0.2%
～6時間	42	8.8%	2	0.4%
～7時間	58	12.2%	13	2.7%
～8時間	269	56.4%	258	54.4%
～9時間	35	7.3%	56	11.8%
～10時間	12	2.5%	59	12.4%
～11時間	4	0.8%	14	3.0%
～12時間	1	0.2%	43	9.1%
13時間以上	2	0.4%	25	5.3%
無回答	3	0.6%	3	0.6%
計	477	100.0%	474	100.0%

問10-2 問10で「1. ～4.」(就労している)に○をつけたかたへ
家を出る時刻と帰宅時刻を、父親・母親それぞれお答えください。
※時間が一定でない場合は、一番多いケースでお答えください。
※産休・育休・介護休業中のかたは、休業の前の状況についてお答えください。
※時間は、24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

時間帯	母親				父親			
	家を出る時刻		帰宅時刻		家を出る時刻		帰宅時刻	
0時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1時	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%
2時	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.6%
3時	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.2%
4時	1	0.2%	1	0.2%	2	0.4%	0	0.0%
5時	2	0.4%	2	0.4%	15	3.2%	0	0.0%
6時	4	0.9%	2	0.4%	43	9.1%	3	0.6%
7時	147	31.3%	0	0.0%	224	47.6%	0	0.0%
8時	250	53.2%	2	0.4%	141	29.9%	3	0.6%
9時	52	11.1%	2	0.4%	22	4.7%	9	1.9%
10時	4	0.9%	0	0.0%	2	0.4%	5	1.1%
11時	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%
12時	2	0.4%	2	0.4%	3	0.6%	1	0.2%
13時	1	0.2%	5	1.1%	2	0.4%	0	0.0%
14時	0	0.0%	11	2.3%	3	0.6%	2	0.4%
15時	0	0.0%	14	3.0%	5	1.1%	3	0.6%
16時	1	0.2%	29	6.2%	0	0.0%	4	0.9%
17時	0	0.0%	93	19.8%	0	0.0%	62	13.3%
18時	1	0.2%	247	52.6%	4	0.8%	159	34.1%
19時	1	0.2%	45	9.6%	2	0.4%	89	19.1%
20時	1	0.2%	6	1.3%	0	0.0%	66	14.2%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	26	5.6%
22時	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	13	2.8%
23時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	1.5%
24時	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	6	1.3%
無回答	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%	3	0.6%
計	470	100.0%	470	100.0%	471	100.0%	466	100.0%

問11 問10で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけたかたへ
フルタイム勤務への転換希望はありますか。父親・母親それぞれ当てはまる番号を【勤務体制】から選び、番号に○をつけてください。

【勤務体制】	母親		父親	
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	19	16.0%	1	14.3%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	29	24.4%	2	28.6%
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	64	53.8%	4	57.1%
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい	6	5.0%	0	0.0%
無回答	1	0.8%	0	0.0%
計	119	100.0%	7	100.0%

問12 問10で「5. 6.」(現在は就労していない、これまで就労したことがない)に○をつけたかたへ
就労したいという希望はありますか。父親・母親それぞれ当てはまる番号を【就労希望】から1つ選び、番号に○をつけてください。また、就労希望の「2. 3.」を選んだかたは、希望する就労形態もお答えください。

【就労希望】	母親		父親	
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	8	23.5%	2	50.0%
2. 1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい	13	38.2%	0	0.0%
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	12	35.3%	2	50.0%
無回答	1	2.9%	0	0.0%
計	34	100.0%	4	100.0%

「2」を選んだ場合の年齢 ⇒

1歳未満	0	0.0%	0	0.0%
1歳	0	0.0%	0	0.0%
2歳	3	37.5%	0	0.0%
3歳	1	12.5%	0	0.0%
4歳	1	12.5%	0	0.0%
5歳	0	0.0%	0	0.0%
6歳	2	25.0%	0	0.0%
7歳以上	1	12.5%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	8	100.0%	0	0.0%

「2. 3.」を選んだ場合の希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	7	28.0%	1	50.0%
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	18	72.0%	1	50.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	25	100.0%	2	100.0%

「イ」を選んだ場合→
【週当たり】

1日	0	0.0%	0	0.0%
2日	0	0.0%	0	0.0%
3日	8	36.4%	0	0.0%
4日	4	18.2%	1	50.0%
5日	10	45.5%	1	50.0%
6日	0	0.0%	0	0.0%
7日	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	22	100.0%	2	100.0%

【1日当たり】

～4時間	6	27.3%	0	0.0%
～5時間	7	31.8%	0	0.0%
～6時間	5	22.7%	0	0.0%
～7時間	0	0.0%	0	0.0%
～8時間	4	18.2%	1	100.0%
～9時間	0	0.0%	0	0.0%
～10時間	0	0.0%	0	0.0%
～11時間	0	0.0%	0	0.0%
～12時間	0	0.0%	0	0.0%
13時間以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	22	100.0%	1	100.0%

お子さんが平日に定期的に利用している教育・保育施設等の利用状況等についてうかがいます。

問13 お子さんが通っている施設に該当する番号に○をつけてください。

1. 幼稚園	12	2.3%
2. 認定こども園(教育認定1号)	40	7.7%
3. 認定こども園(保育認定2, 3号)	189	36.5%
4. 保育園	230	44.4%
5. へき地保育所	17	3.3%
6. 地域型保育施設	4	0.8%
7. 企業主導型保育施設	16	3.1%
8. 事業所内保育施設(院内託児所を含む)	4	0.8%
9. その他	0	0.0%
無回答	6	1.2%
計	518	100.0%

問13-1 その施設を選んだ主な理由として、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 自宅に近い	341	30.1%
2. 通勤に便利(通勤先に近い・通勤途中にある)	197	17.4%
3. 教育または保育の内容がよい	134	11.8%
4. 施設がよい、設備が整っている	114	10.1%
5. 知人・友人からの紹介、勧め	37	3.3%
6. 他の施設に申し込んだが入れなかった	60	5.3%
7. 給食がある	91	8.0%
8. 利用時間が希望にあっているから	55	4.9%
9. 実家の近くにあり、援助が得られるから	40	3.5%
10. その他	58	5.1%
無回答	5	0.4%
計	1132	100.0%

問13-2 どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを数字でご記入ください。
※時間は24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

週当たり	現在	希望
1日	1 0.2%	1 0.2%
2日	0 0.0%	0 0.0%
3日	1 0.2%	1 0.2%
4日	3 0.6%	6 1.3%
5日	414 79.9%	341 74.5%
6日	94 18.1%	103 22.5%
7日	0 0.0%	1 0.2%
無回答	5 1.0%	5 1.1%
計	518 100.0%	458 100.0%

1日当たり	現在	希望
～1時間	1 0.2%	0 0.0%
～2時間	0 0.0%	0 0.0%
～3時間	0 0.0%	0 0.0%
～4時間	6 1.2%	1 0.2%
～5時間	15 2.9%	8 1.7%
～6時間	9 1.7%	13 2.8%
～7時間	48 9.3%	51 11.1%
～8時間	118 22.8%	98 21.4%
～9時間	129 24.9%	120 26.2%
～10時間	154 29.7%	124 27.1%
～11時間	28 5.4%	27 5.9%
～12時間	2 0.4%	5 1.1%
無回答	8 1.5%	11 2.4%
計	518 100.0%	458 100.0%

利用時間帯	何時から				何時まで			
	現在		希望		現在		希望	
5時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6時	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
7時	53	10.2%	44	9.6%	0	0.0%	0	0.0%
8時	325	62.7%	277	60.6%	0	0.0%	0	0.0%
9時	132	25.5%	121	26.5%	0	0.0%	0	0.0%
10時	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
11時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12時	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
13時	0	0.0%	1	0.2%	10	1.9%	4	0.9%
14時	0	0.0%	0	0.0%	15	2.9%	8	1.8%
15時	0	0.0%	0	0.0%	9	1.7%	12	2.6%
16時	0	0.0%	1	0.2%	84	16.2%	86	18.9%
17時	2	0.4%	0	0.0%	183	35.3%	153	33.6%
18時	1	0.2%	1	0.2%	206	39.8%	164	36.0%
19時	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	16	3.5%
20時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
22時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
23時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
24時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	1.0%	9	2.0%	8	1.5%	10	2.2%
計	518	100.0%	457	100.0%	518	100.0%	456	100.0%

問13-3 お子さんが通っている施設の場所は、お住まいの地区の小学校区内ですか。また、移動時間はどれくらいですか。「1.」「2.」のいずれか1つに○をつけ、時間を記入してください。
※時間は、車30分や徒歩15分などとお答えください。

居住学区の区分	1. 居住している小学校区内		2. 居住とは別の小学校区		無回答		計	
	301	58.1%	212	40.9%	5	1.0%	518	100.0%
片道の移動時間								
車の場合	～10分	233	70.2%	135	61.4%			
	～20分	4	1.2%	62	28.2%			
	～30分	2	0.6%	4	1.8%			
	～1時間	1	0.3%	0	0.0%			
	無回答	21	6.3%	11	5.0%			
	小計	261	78.6%	212	96.4%			
徒歩の場合	～10分	29	8.7%	0	0.0%			
	～20分	15	4.5%	0	0.0%			
	～30分	6	1.8%	0	0.0%			
	～1時間	2	0.6%	0	0.0%			
	無回答	19	5.7%	8	3.6%			
	小計	71	21.4%	8	3.6%			
	計	332	100.0%	220	100.0%			

問13-4 毎月利用されている主な理由として、当てはまる番号に○をつけてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため	76	14.0%
2. 保護者が就労しているため	435	80.4%
3. 保護者が就労予定／求職中のため	9	1.7%
4. 保護者の病気、障害があるため	4	0.7%
5. 保護者が学生のため	0	0.0%
6. 保護者が家族・親族を介護しているため	0	0.0%
7. 妊娠中のため／下の子の育児のため	12	2.2%
8. その他	1	0.2%
無回答	4	0.7%
計	541	100.0%

問14 お子さんの教育・保育の施設として、「毎月」利用したいと考える施設をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。
※現在利用している施設とは限らず、理想とする施設をお答えください。

1. 幼稚園	59	7.4%
2. 認定こども園(教育認定1号)	106	13.3%
3. 認定こども園(保育認定2, 3号)	262	32.8%
4. 保育園	270	33.8%
5. へき地保育所	25	3.1%
6. 地域型保育施設	8	1.0%
7. 企業主導型保育施設	26	3.3%
8. 事業所内保育施設(院内託児所を含む)	30	3.8%
9. その他	8	1.0%
無回答	5	0.6%
計	799	100.0%

※【教育認定1号】お子さんが満3歳以上で、教育を希望される場合

【保育認定2, 3号】就労などの「保育を必要とする事由」に該当し、保育を希望される場合

問14-1 利用したい場所はどこですか。「1.」「2.」のいずれか1つに○をつけてください。また、2をお選びの場合は、具体的にどの地区がよいか、学区や町内名などわかる範囲でご記入願います。

1. 居住している小学校区内	415	80.1%
2. 居住とは別の地区	70	13.5%
無回答	33	6.4%
計	518	100.0%

問14-2 問14で選択した施設を利用したいと考えた理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用時間が希望にあっている	199	14.2%
2. 実家の援助が得られる(実家に近いなど)	61	4.4%
3. 自宅からの距離	309	22.1%
4. 給食の提供の有無	182	13.0%
5. 通勤に便利だから(勤務先に近い・通勤途上)	175	12.5%
6. 教育・保育の方針や内容	240	17.2%
7. 集団の中で協調性や社会性を学ばせたいから	91	6.5%
8. 施設環境(設備・園庭など)	68	4.9%
9. 特別な支援が必要な子どもの受け入れ有無	46	3.3%
10. その他	20	1.4%
無回答	6	0.4%
計	1397	100.0%

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 次の①～⑪の事業について、A～Cのそれぞれ、「はい」「いいえ」のいずれか1つに○をつけてください。
【 】は利用料

	A知っている			Bこれまでに利用したことがある			C今後利用したい		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
①病児・病後児保育事業【500～1,000円／日】	455	44	19	134	350	34	297	181	40
	87.8%	8.5%	3.7%	25.9%	67.6%	6.6%	57.3%	34.9%	7.7%
②夜間養護(トワイライトステイ)事業【500～2,000円／日】	233	274	11	6	470	42	86	391	40
	45.0%	52.9%	2.1%	1.2%	90.7%	8.1%	16.6%	75.5%	7.7%
③休日保育事業	206	300	12	25	449	44	187	290	41
	39.8%	57.9%	2.3%	4.8%	86.7%	8.5%	36.1%	56.0%	7.9%
④子ども家庭総合支援拠点 ほっと	188	319	11	12	463	43	161	313	43
	36.3%	61.6%	2.1%	2.3%	89.4%	8.3%	31.1%	60.4%	8.3%
⑤子ども発達相談室「ふわっとさぽーと」	134	368	16	31	443	44	154	317	47
	25.9%	71.0%	3.1%	6.0%	85.5%	8.5%	29.7%	61.2%	9.1%
⑥地域子育て支援拠点事業	422	77	19	267	213	38	275	196	47
	81.5%	14.9%	3.7%	51.5%	41.1%	7.3%	53.1%	37.8%	9.1%
⑦子育て応援ポータルサイト	429	76	13	220	252	46	320	145	54
	82.8%	14.7%	2.5%						
⑧はちくんすくすく子育て支援事業	416	95	7						
	80.3%	18.3%	1.4%						
⑨在宅子育て支援事業	367	145	6						
	70.8%	28.0%	1.2%						
⑩ファミリー支援事業	225	286	7						
	43.4%	55.2%	1.4%						
⑪ほっとワンツースタイル子育て支援事業	253	256	7						
	48.8%	49.4%	1.4%						

※パーセントは回収数518件に対する割合。

土・日・祝日や長期休暇中の、教育・保育事業（施設）の利用希望についてうかがいます。

問16 土・日・祝日に、幼稚園・認定こども園や保育園、保育（所）施設などのお子さんの預かりの利用希望はありますか。
※時間は24時間制（例：08時～18時）でお答えください。

	(1)土曜日		(2)日曜・祝日	
1. 利用する必要はない	161	31.1%	357	68.9%
2. ほぼ毎週利用したい	126	24.3%	18	3.5%
3. 月に1～2回は利用したい	223	43.1%	134	25.9%
無回答	8	1.5%	9	1.7%
計	518	100.0%	518	100.0%

利用時間帯	(1)土曜日				(2)日曜・祝日			
	何時から		何時まで		何時から		何時まで	
5時	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7時	38	10.8%	0	0.0%	24	15.7%	0	0.0%
8時	230	65.2%	0	0.0%	96	62.7%	0	0.0%
9時	77	21.8%	0	0.0%	28	18.3%	0	0.0%
10時	1	0.3%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
11時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12時	0	0.0%	8	2.3%	0	0.0%	2	1.3%
13時	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
14時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15時	0	0.0%	15	4.3%	0	0.0%	8	5.2%
16時	0	0.0%	63	18.1%	0	0.0%	12	7.8%
17時	0	0.0%	131	37.5%	0	0.0%	43	28.1%
18時	0	0.0%	121	34.7%	0	0.0%	75	49.0%
19時	0	0.0%	6	1.7%	0	0.0%	5	3.3%
20時	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	2	1.3%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
22時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
23時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
24時	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	0.8%	3	0.9%	4	2.6%	4	2.6%
計	353	100.0%	349	100.0%	153	100.0%	153	100.0%

問16-1 問16の(1)または(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけたかたへ
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	214	49.7%
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	87	20.2%
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	5	1.2%
4. 息抜きのため	91	21.1%
5. その他	31	7.2%
無回答	3	0.7%
計	431	100.0%

- 問17 「幼稚園・認定こども園(教育認定1号)を利用されているかたへ
お子さんが、夏休み・冬休みなど長期の休みの期間に、幼稚園や認定こども園など施設の利用希望はありますか。
※時間は24時間制(例:08時～18時)でお答えください。
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用する必要はない	21	29.6%	「2.」「3.」を選んだ場合の利用したい時間帯		
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	26	36.6%	利用時間帯	何時から	何時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	22	31.0%	7時	3	6.3%
4. 利用したいが、難しい	1	1.4%	8時	27	56.3%
無回答	1	1.4%	9時	17	35.4%
計	71	100.0%	10時	1	2.1%
			11時	0	0.0%
			12時	0	0.0%
			13時	0	0.0%
			14時	0	0.0%
			15時	0	0.0%
			16時	0	0.0%
			17時	0	0.0%
			18時	0	0.0%
			19時	0	0.0%
			20時	0	0.0%
			21時	0	0.0%
			無回答	0	0.0%
			計	48	100.0%

- 問17-1 問17で「3. 週に数日利用したい」に○をつけたかたへ
たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	23	50.0%
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	12	26.1%
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	2	4.3%
4. 息抜きのため	7	15.2%
5. その他	2	4.3%
無回答	0	0.0%
計	46	100.0%

一時的な教育・保育事業(施設)の利用や宿泊を伴う預かり等の利用についてうかがいます。

- 問18 幼稚園、認定こども園、保育園、保育(所)施設などの毎月の利用の預かり以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用したことがある事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数を記入してください。

1. 幼稚園・認定こども園の預かり保育 ※幼稚園・認定こども園に入っている子どもを対象 (在園児を対象とした預かり保育とする)【1,200円/日程度】	19	3.9%
2. 大館市ファミリー・サポート・センター (地域住民・協力会員が子どもを預かる事業)【300円/h】	11	2.2%
3. 夜間養護(トワイライトステイ)事業【500～2,000円/日】 (児童養護施設等で休日や夜間、子どもを預かる事業)	3	0.6%
4. ベビーシッター	2	0.4%
5. その他の事業	3	0.6%
6. 利用していない	463	94.1%
無回答	10	2.0%
計	492	100.0%

利用日数	1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 一時預かり	7	3	3	2	6	0
2. 大館市ファミリー・サポート・センター	9	1	0	0	0	0
3. 夜間養護(トワイライトステイ)事業	0	2	0	1	1	0
4. ベビーシッター	0	1	0	0	0	0
5. その他の事業	2	1	0	0	0	0

問18で「6. 利用していない」に○をつけたかたへ
 問18-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	293	40.6%	「6.」を選んだ場合 いくらでしたら利用しますか。		
2. 必要な場合、親族や知人にお願いできる	201	27.8%			
3. 手続きがわずらわしい	77	10.7%			
4. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	77	10.7%	1～100	3	20.0%
5. 利便性が悪い(立地や利用可能時間など)	21	2.9%	101～500	7	46.7%
6. 利用料がかかる・高い	21	2.9%	501～1,000	5	33.3%
7. その他	26	3.6%	2,001～3,000	0	0.0%
無回答	6	0.8%	無回答	0	0.0%
計	722	100.0%	計	15	100.0%

問19 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する、またはしたいと思いますか。利用目的として当てはまる番号すべてに○をつけ、おおよその日数を記入してください。
 ※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用目的			利用日数					
			1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	130	23.1%	48	55	15	1	0	1
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだい含む)や親の通院等	84	14.9%	46	30	3	1	0	1
3. 不定期の就労	54	9.6%	19	24	6	2	1	0
4. その他の目的	2	0.4%	0	2	0	0	0	0
5. 利用する必要はない	290	51.5%						
無回答	3	0.5%						
計	563	100.0%						

問19-1 問18で「1. ～4.」に○をつけたかたへ
 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育園・認定こども園などで子どもを保育する事業	182	62.3%
2. 地域子育て支援拠点施設(つどいの広場ひよこなど)で子どもを保育する事業	65	22.3%
3. ファミリー・サポート・センターなどの地域住民等が子育て家庭等の近くで保育する事業	40	13.7%
4. その他	2	0.7%
無回答	3	1.0%
計	292	100.0%

問20 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことがありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数を記入してください。※ここでの家族とは、同居の親族を指します。

【対応内容】			【宿泊日数】					
			1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 同居以外の親族・知人にみてもらった	62	11.9%	52	5	0	1	0	1
2. 託児所やベビーシッター等の民間の預け先を利用し	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
3. 仕方なく子どもを同行させた	10	1.9%	8	0	0	0	0	0
4. 仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
5. その他の対応	2	0.4%						
6. なかった	416	79.5%						
無回答	33	6.3%						
計	523	100.0%						

問20-1 問20で「1. 同居以外の親族・知人にみてもらった」に○をつけたかたへ
 お願いするにあたって、どの程度難しかったですか。

1. 非常に難しい	3	4.8%
2. どちらかというと難しい	20	32.3%
3. 特に難しくはない	37	59.7%
無回答	2	3.2%
計	62	100.0%

問20-2 問20で「1. 同居以外の親族・知人にみてもらった」「2. 託児所やベビーシッター等の民間の預け先を利用した」に○をつけたかたへ
 既存の一時預かり事業と比較して利用料金が高額であっても、月内の利用制限がなく、お子さんの預かりを行える施設があれば利用しますか。

1. 利用したい	4	6.5%
2. どちらかというと利用したい	13	21.0%
3. 利用したくない	36	58.1%
無回答	9	14.5%
計	62	100.0%

お子さんが4歳以上(令和6年4月1日現在)であるかたに小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問21 お子さんには、どのような放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたいと思いますか。小学校低学年(1～3年生)のときと高学年(4～6年生)のとき、それぞれお答えください。

- (1)小学校低学年(1～3年生)のとき
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。
- (2)小学校低学年(4～6年生)のとき
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

(1)低学年のとき

放課後の過ごし方		1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
1. 自宅	57	14	9	13	2	18	1
	11.0%	12	6	2	0	6	1
2. 同居していない祖父母宅や友人・知人宅	27	30	16	4	1	2	0
	5.2%	0	4	1	3	33	2
3. 習い事、スポーツ少年団活動等	53	1	1	3	3	5	0
	10.2%	2	3	11	14	120	2
4. 児童館	44	0	0	0	0	0	0
	8.5%	1	0	0	0	0	0
5. 放課後子ども教室	13	0	1	0	0	1	0
	2.5%						
6. 放課後児童クラブ	150						
	29.0%						
7. 大館市ファミリー・サポート・センター	0						
	0.0%						
8. 公民館や図書館などの公共施設	1						
	0.2%						
9. その他	2						
	0.4%						
無回答	1						
	0.2%						

※パーセントは、回収数518件に対する割合。

「6.」を選んだ場合 下校～何時まで

～13時	0
～14時	0
～15時	0
～16時	10
～17時	40
～18時	91
～19時	8
～20時	0
無回答	1
計	150

(2)高学年のとき

放課後の過ごし方		1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
1. 自宅	129	14	25	20	7	62	1
	24.9%	9	7	2	1	9	1
2. 同居していない祖父母宅や友人・知人宅	29	18	36	30	10	18	0
	5.6%	2	3	0	2	11	0
3. 習い事、スポーツ少年団活動等	109	1	1	0	0	3	0
	21.0%	3	7	8	4	43	0
4. 児童館	18	0	0	0	0	0	0
	3.5%	2	2	1	0	0	0
5. 放課後子ども教室	5	0	1	0	0	2	0
	1.0%						
6. 放課後児童クラブ	65						
	12.5%						
7. 大館市ファミリー・サポート・センター	0						
	0.0%						
8. 公民館や図書館などの公共施設	5						
	1.0%						
9. その他	4						
	0.8%						
無回答	0						
	0.0%						

※パーセントは、回収数518件に対する割合。

「6.」を選んだ場合 下校～何時まで

～13時	0
～14時	0
～15時	0
～16時	2
～17時	14
～18時	45
～19時	3
～20時	0
無回答	1
計	65

問22 土曜日、日曜・祝日、長期休暇に、「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望はありますか。

	(1)土曜日		(2)日曜日・祝日		(3)長期休暇(夏休み、冬休み)	
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	87	33.2%	23	9.7%	140	49.6%
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	49	18.7%	15	6.3%	90	31.9%
3. 利用する予定はない	96	36.6%	176	73.9%	31	11.0%
無回答	30	11.5%	24	10.1%	21	7.4%
計	262	100.0%	238	100.0%	282	100.0%

「1.」「2.」を選んだ場合

利用したい時間帯	(1)土曜日				(2)日曜日・祝日				(3)長期休暇(夏休み、冬休み)			
	何時から		何時まで		何時から		何時まで		何時から		何時まで	
7時	9	6.5%	0	0.0%	5	11.9%	0	0.0%	14	6.5%	0	0.0%
8時	108	78.3%	0	0.0%	30	71.4%	0	0.0%	158	72.8%	0	0.0%
9時	21	15.2%	0	0.0%	7	16.7%	0	0.0%	44	20.3%	0	0.0%
10時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
11時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12時	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
14時	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	5	2.3%
15時	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	6	2.8%
16時	0	0.0%	9	6.5%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	21	9.7%
17時	0	0.0%	44	31.9%	0	0.0%	15	35.7%	0	0.0%	72	33.3%
18時	0	0.0%	74	53.6%	0	0.0%	20	47.6%	0	0.0%	101	46.8%
19時	0	0.0%	6	4.3%	0	0.0%	3	7.1%	0	0.0%	10	4.6%
20時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
計	138	100.0%	138	100.0%	42	100.0%	42	100.0%	217	100.0%	216	100.0%

育児休業や短時間勤務制度など家庭と職場の両立支援制度についてうかがいます。

問23 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

育児休業取得状況	母親		父親	
1. 働いていなかった	81	15.7%	7	1.4%
2. 取得した(取得中である)	365	70.9%	58	12.0%
3. 取得していない	62	12.0%	410	84.9%
無回答	7	1.4%	8	1.7%
計	515	100.0%	483	100.0%

「3」を選んだ場合(複数回答)

所得していない理由	母親		父親	
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	12	11.5%	149	17.7%
2. 仕事が忙しかった	10	9.6%	153	18.2%
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	6	5.8%	0	0.0%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	2	1.9%	9	1.1%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	16	1.9%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	5.8%	163	19.4%
7. 保育園などに預けることができた	2	1.9%	17	2.0%
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	1	1.0%	180	21.4%
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	2	1.9%	48	5.7%
10. 子育てや家事に専念するため退職した	11	10.6%	2	0.2%
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	13	12.5%	39	4.6%
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	7	6.7%	4	0.5%
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%	7	0.8%
14. 出産時に退職した	14	13.5%	1	0.1%
15. その他	17	16.3%	38	4.5%
無回答	1	1.0%	15	1.8%
計	104	100.0%	841	100.0%

- 問24 問23で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけたかたへ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号をくゝにご記入ください。

育児取得後の状況	母親		父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	335	91.3%	61	95.3%
2. 現在も育児休業中である	8	2.2%	1	1.6%
3. 育児休業中または育児休業後に退職した	19	5.2%	1	1.6%
無回答	5	1.4%	1	1.6%
計	367	100.0%	64	100.0%

- 問25 問24で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたへ
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育施設等への入園に合わせてでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号をくゝにご記入ください。 ※希望の保育施設かどうか、また保育園、幼稚園等の施設にかかわらず、職場復帰したタイミングでお答えください。

復帰時期	母親		父親	
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	250	73.5%	3	4.9%
2. それ以外だった	86	25.3%	57	93.4%
無回答	4	1.2%	1	1.6%
計	340	100.0%	61	100.0%

- 問25-1 育児休業から職場に復帰したのは、お子さんが何歳何か月のときですか。また、希望としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。(お勤め先の育児休業の期間内で)数字をご記入ください。

お子さんの年齢	実際の取得期間				希望の取得期間			
	母親		父親		母親		父親	
～0歳2か月	4	1.1%	50	69.4%	0	0.0%	13	18.3%
0歳3か月～0歳6か月	44	12.5%	13	18.1%	12	3.5%	18	25.4%
0歳7か月～1歳0か月	164	46.5%	3	4.2%	160	46.1%	31	43.7%
1歳1か月～1歳6か月	110	31.2%	1	1.4%	54	15.6%	5	7.0%
1歳7か月～2歳0か月	20	5.7%	1	1.4%	54	15.6%	1	1.4%
2歳1か月～2歳6か月	3	0.8%	0	0.0%	11	3.2%	0	0.0%
2歳7か月～3歳0か月	2	0.6%	0	0.0%	35	10.1%	1	1.4%
3歳1か月～3歳6か月	0	0.0%	0	0.0%	6	1.7%	0	0.0%
3歳7か月～4歳0か月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4歳1か月～	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	1.7%	4	5.6%	15	4.3%	2	2.8%
計	353	100.0%	72	100.0%	347	100.0%	71	100.0%

- 問25-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字でお答えください。

お子さんの年齢	母親		父親	
～0歳2か月	1	0.3%	13	8.7%
0歳3か月～0歳6か月	8	2.2%	20	13.3%
0歳7か月～1歳0か月	89	24.1%	50	33.3%
1歳1か月～1歳6か月	37	10.0%	13	8.7%
1歳7か月～2歳0か月	58	15.7%	12	8.0%
2歳1か月～2歳6か月	19	5.1%	2	1.3%
2歳7か月～3歳0か月	154	41.6%	37	24.7%
無回答	4	1.1%	3	2.0%
計	370	100.0%	150	100.0%

- 問25-3 育児休業から職場に復帰したとき、「短時間勤務制度」を利用しましたか。当てはまる番号1つをくゝにご記入ください。

利用状況	母親		父親	
1. 利用した	101	27.9%	2	2.0%
2. 利用する必要がなかった(もともと短時間勤務だった)	54	14.9%	18	17.6%
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	132	36.5%	29	28.4%
4. 短時間勤務制度の対象外	23	6.4%	18	17.6%
5. 制度を知らなかった	49	13.5%	33	32.4%
無回答	3	0.8%	2	2.0%
計	362	100.0%	102	100.0%

問25-4 問25-1で実際の復帰と希望が異なるかたへ

希望の時期に職場復帰できなかった理由について、最も当てはまる理由1つを選び、番号をく)にご記入ください。

(1)「希望」より早く復帰したかた	母親		父親	
1. 希望する保育園に入れたため	82	40.0%	2	4.1%
2. 配偶者や家族の希望	4	2.0%	0	0.0%
3. 経済的な理由で早く復職する必要があった	54	26.3%	16	32.7%
4. 仕事の都合	35	17.1%	27	55.1%
5. 人事など会社の都合	12	5.9%	2	4.1%
6. その他	15	7.3%	1	2.0%
無回答	3	1.5%	1	2.0%
計	205	100.0%	49	100.0%

(2)「希望」より遅く復帰したかた	母親		父親	
1. 希望する保育園に入らなかったため	36	65.5%	0	0.0%
2. 配偶者や家族の希望	3	5.5%	0	0.0%
3. 自分または子どもの体調が思わしくなかったため	2	3.6%	1	50.0%
4. 会社の都合	3	5.5%	1	50.0%
5. 子どもを見てくれる人がいなかったため	4	7.3%	0	0.0%
6. その他	6	10.9%	0	0.0%
無回答	1	1.8%	0	0.0%
計	55	100.0%	2	100.0%

問25-5 問25-3で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)と」回答したかたへ

その理由として当てはまる番号をすべてく)にご記入ください。

理由	母親		父親	
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	49	24.3%	10	17.5%
2. 仕事が忙しかった	41	20.3%	20	35.1%
3. 短時間勤務にすると給与が減額となる	75	37.1%	11	19.3%
4. 短時間勤務にすると、保育園へ提出した就労証明書の内容と異なってしまう	5	2.5%	0	0.0%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	1	0.5%	5	8.8%
6. 配偶者が無職、または祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた	7	3.5%	0	0.0%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	1	0.5%	0	0.0%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	10	5.0%	5	8.8%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	6	3.0%	5	8.8%
10. その他	6	3.0%	1	1.8%
無回答	1	0.5%	0	0.0%
計	202	100.0%	57	100.0%

問26 問24で「2. 現在も育児休業中である」と回答したかたへ

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育施設)があれば、1歳まで育児休業を取得しますか。それとも、預けられる事業があっても1歳になる前に復職しますか。当てはまる番号1つをく)にご記入ください。

復職時期	母親		父親	
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	10	83.3%	0	0.0%
2. 1歳になる前に復職したい	0	0.0%	0	0.0%
3. その他	2	16.7%	1	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	12	100.0%	1	100.0%

問27 子どもが原則1歳(定員オーバーにより保育園に入園することができなかった場合など、一定の要件を満たす場合は最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される制度をご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っていた		2. 知らなかった		無回答		計	
337	65.1%	143	27.6%	38	7.3%	518	100.0%

問27-1 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置)期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度をご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っていた		2. 知らなかった		無回答		計	
200	38.6%	282	54.4%	36	6.9%	518	100.0%

大館市における子育て支援についてうかがいます。

問28 大館市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ← → 満足度が高い

1	2	3	4	5	無回答	計
98	149	179	64	8	20	518
18.9%	28.8%	34.6%	12.4%	1.5%	3.9%	100.0%

問29 ニプロハチ公ドームに隣接するパークセンター内にある、子どもの遊び場についてお尋ねします。今後、設備面・運営面でどのようなことを期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て支援事業の利用や子どもの発達に関する相談の実施(相談員の派遣など)	110	8.5%
2. 絵本・工作等の学習体験ができる	246	19.0%
3. 身体を使った遊び	319	24.7%
4. 親子での交流やくつろげる空間	212	16.4%
5. 子育て情報の発信	111	8.6%
6. イベント開催の増	195	15.1%
7. その他	37	2.9%
8. 施設の利用を知らなかった	48	3.7%
無回答	14	1.1%
計	1292	100.0%

問29-1 子どもの遊び場の休館日と開館時間について希望をお聞かせください。

(現行:休館日:毎週月曜日、開館時間:9時～16時)

1. いまのままでよい	405	77.4%
2. 休館日を変更してほしい	11	2.1%
3. 開催時間を延長または短縮してほしい	72	13.8%
4. その他	18	3.4%
無回答	17	3.3%
計	523	100.0%

「2」を選んだ場合⇒休館日の希望曜日

月	0	0.0%
火	7	50.0%
水	2	14.3%
木	1	7.1%
金	1	7.1%
土	1	7.1%
日	2	14.3%
無回答	0	0.0%
計	14	100.0%

「3」を選んだ場合⇒開館時間の希望時間

開館時間希望	何時から	何時まで
7時	0	0.0%
8時	11	15.3%
9時	52	72.2%
10時	3	4.2%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
無回答	6	8.3%
計	72	100.0%

問30 子育て支援のサービスとして、活用したいと思うものをお選びください。(一番活用したいもの◎、次に活用したいものに○を()内につけてください。)その他の場合は、【 】内に詳細を記入願います。

1. スマートフォン等を活用した市からのお知らせの受取・相談	339	26.0%
2. 保育園等に預けているお子さんが急病の際の保育園や預かり施設へのお迎えサービス	342	26.2%
3. 残業・急用などの際の日祝祭日や夜間等の一時的な預かり	259	19.8%
4. 保育施設でのおむつやふとんのサブスク	287	22.0%
5. その他	41	3.1%
無回答	37	2.8%
計	1305	100.0%

問31 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援・子どもの遊び場に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

記入有り	278	53.7%
記入無し	240	46.3%
計	518	100.0%

(3) 小学生用

対象者 小学1～6年生

調査期間 令和6年6月17日～7月12日

実施方法 学校から配付、回収

配布数 650 回収数 609 回収率 93.69%

お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住いの地区名に○をつけてください。

1. 大館	2. 釈迦内	3. 長木	4. 上川沿	5. 下川沿	6. 真中	7. 二井田	8. 十二所		
357	44	23	25	23	7	12	12		
58.6%	7.2%	3.8%	4.1%	3.8%	1.1%	2.0%	2.0%		
9. 花岡	10. 矢立	11. 田代	12. 扇田	13. 東館	14. 西館	15. 大葛	無回答	計	
5	6	36	42	6	10	0	1	609	
0.8%	1.0%	5.9%	6.9%	1.0%	1.6%	0.0%	0.2%	100.0%	

問2 お住いの地区の小学校に○をつけてください。

1. 桂城小	2. 城南小	3. 城西小	4. 有浦小	5. 釈迦内小	6. 長木小	7. 川口小	8. 上川沿	9. 南小		
69	78	78	119	40	27	25	30	19		
11.3%	12.8%	12.8%	19.5%	6.6%	4.4%	4.1%	4.9%	3.1%		
10. 成章小	11. 花岡小	12. 矢立小	13. 扇田小	14. 東館小	15. 西館小	16. 早口小	17. 山瀬小	無回答	計	
13	6	6	43	6	12	13	24	1	609	
2.1%	1.0%	1.0%	7.1%	1.0%	2.0%	2.1%	3.9%	0.2%	100.0%	

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上いらっしゃる場合は、「在宅・未就学児・小学生・中学生以上」の人数もご記入ください。

子どもの人数

1人	2人	3人	4人以上	無回答	計
112	293	160	40	4	609
18.4%	48.1%	26.3%	6.6%	0.7%	100.0%

2人以上の場合

きょうだいの構成は

小学生+在宅のみ	小学生+未就学のみ	小学生+小学生	小学生+中学生以上	無回答	計
26	165	603	223	5	1022
2.5%	16.1%	59.0%	21.8%	0.5%	100.0%

問4 調査対象のお子さん(この調査票の表紙右上にある区分のお子さん)の誕生年月を数字でご記入し、性別に○をつけてください。

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	無回答	計
79	97	98	111	101	97	20	6	609
13.0%	15.9%	16.1%	18.2%	16.6%	15.9%	3.3%	1.0%	100.0%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
46	58	56	56	51	65	50	38	48	
7.6%	9.5%	9.2%	9.2%	8.4%	10.7%	8.2%	6.2%	7.9%	
1月	2月	3月	無回答	計					
39	52	47	3	609					
6.4%	8.5%	7.7%	0.5%	100.0%					

男	女	無回答	計
294	309	6	609
48.3%	50.7%	1.0%	100.0%

問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他	無回答	計
378	215	10	3	3	1	610
62.0%	35.2%	1.6%	0.5%	0.5%	0.2%	100.0%

問6 お子さん同居のかたに○を当てはまる番号すべてにつけてください。

1. 父	2. 母	3. 父方の祖父	4. 父方の祖母	5. 母方の祖父	6. 母方の祖母	7. その他	無回答	計
544	586	70	89	41	68	127	3	1528
35.6%	38.4%	4.6%	5.8%	2.7%	4.5%	8.3%	0.2%	100.0%

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 お子さんとの触れ合いについてうかがいます。家族で過ごす日として、最も多い曜日・時間帯はいつですか。
また、どこでどのように過ごすことが多いですか。
※時間は、24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

【最も多い曜日】	日	月	火	水	木	金	土	無回答	計
	517	8	5	6	2	3	64	14	619
	83.5%	1.3%	0.8%	1.0%	0.3%	0.5%	10.3%	2.3%	100.0%

【時間帯】

時間	何時から		何時まで	
0時	40	6.6%	1	0.2%
1時	1	0.2%	0	0.0%
2時	0	0.0%	0	0.0%
3時	0	0.0%	0	0.0%
4時	0	0.0%	0	0.0%
5時	1	0.2%	0	0.0%
6時	47	7.7%	0	0.0%
7時	126	20.7%	3	0.6%
8時	200	32.8%	1	0.2%
9時	54	8.9%	0	0.0%
10時	31	5.1%	3	0.6%
11時	5	0.8%	2	0.4%
12時	6	1.0%	7	1.4%
13時	12	2.0%	5	1.0%
14時	4	0.7%	3	0.6%
15時	7	1.1%	11	2.1%
16時	17	2.8%	15	2.9%
17時	10	1.6%	23	4.4%
18時	15	2.5%	47	9.1%
19時	3	0.5%	10	1.9%
20時	2	0.3%	64	12.4%
21時	0	0.0%	244	47.2%
22時	0	0.0%	4	0.8%
23時	0	0.0%	4	0.8%
24時	0	0.0%	41	7.9%
無回答	28	4.6%	29	5.6%
計	609	100.0%	517	100.0%

【場所】		
1. 自宅	500	65.2%
2. 近くの公園	83	10.8%
3. 施設	81	10.6%
4. その他	77	10.0%
無回答	26	3.4%
計	767	100.0%

主な施設名
・体育館・スーパー・ニッ山公園・図書
館・博物館・動物園・水族館店・ショッ
ピングセンター・カラオケ・福祉エリア・
商業施設・スポーツ施設・ソユーススタ
ジアム・イオン、いとく

内容
・部活練習試合・遠出・イベント参加・
買い物(ショッピング)・散歩・運動(ス
ポーツ)・ジョギング・なわとび・かけっ
こ・自転車・勉強・宿題・遊具・公園など
外遊び・ボール遊び・食事・家庭学習・
会話・料理(クッキング)・野球・サッ
カー・バスケットボール・バドミントン・畑仕
事・キャンプ・ボードゲーム・TVゲーム・
トランプ・工作・粘土・TV録画鑑賞・ア
ニメ鑑賞・映画鑑賞

問8 日常的または緊急時にお子さんをみてもらえる人はいますか。

1. いる	2. いない	無回答	計
477	128	4	609
78.3%	21.0%	0.7%	100.0%

問8-1 問8で「1. いる」に○をつけたかたへ みてもらえるかたすべてに○をつけてください。

1. 同居の祖父母	155	27.2%
2. 近居の祖父母	328	57.5%
3. 同居の親族(祖父母以外)	4	0.7%
4. 近居の親族(祖父母以外)	44	7.7%
5. 友人、知人	20	3.5%
6. その他	16	2.8%
無回答	3	0.5%
計	570	100.0%

問8-2 問8で「1. いる」に○をつけたかたへ みてもらっている状況に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. みてもらえるかたの身体的・精神的な負担や時間的制約を心配すること なく、安心して子どもをみてもらえる	256	43.4%
2. みてもらえるかたの身体的・精神的な負担や時間的制約が心配である	209	35.4%
3. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	99	16.8%
4. 子どもの教育や発達にとって、ふさわしい環境であるか不安がある	15	2.5%
5. その他	7	1.2%
無回答	4	0.7%
計	590	100.0%

問9 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

1. いる	2. いない	無回答	計
545	52	12	609
89.5%	8.5%	2.0%	100.0%

問9-1 問9で「1. いる」に○をつけたかたへ 相談できる人は誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	425	38.2%
2. 友人と知人	426	38.3%
3. 近所の人	28	2.5%
4. 保育園等の先生	22	2.0%
5. 子育て支援施設(子育て相談室、つどいの広場ひよこ)	14	1.3%
6. 幼稚園・こども園の先生	26	2.3%
7. 小学校の先生	125	11.2%
8. 民生委員、児童委員	1	0.1%
9. かかりつけの医師	26	2.3%
10. さんまある(保健センター)	3	0.3%
11. 子ども家庭総合支援拠点ほっと(子ども課)	1	0.1%
12. その他	13	1.2%
無回答	2	0.2%
計	1112	100.0%

保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、父親・母親それぞれ当てはまる番号を【就労状況】から1つ選び、番号に○をつけてください。

【就労状況】	母親		父親	
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	360	60.0%	544	97.7%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	20	3.3%	1	0.2%
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	169	28.2%	4	0.7%
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	0.5%	0	0.0%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	45	7.5%	4	0.7%
6. これまで就労したことがない	1	0.2%	0	0.0%
無回答	2	0.3%	4	0.7%
計	600	100.0%	557	100.0%

問10-1 問10で「1. ～4.」(就労している)に○をつけたかたへ
 週当たりの「就労日数」と1日当たりの「就労時間」を、父親・母親それぞれお答えください。
 ※日数や時間が一定でない場合は、一番多い勤務体制でお答えください。
 ※就労時間には残業時間も含まれます。
 ※産休・育休・介護休業中のかたは、休業の前の状況についてお答えください。

【週当たりの就労日数】

	母親		父親	
1日	2	0.4%	0	0.0%
2日	4	0.7%	0	0.0%
3日	14	2.5%	19	3.5%
4日	43	7.8%	26	4.7%
5日	433	78.7%	352	64.2%
6日	51	9.3%	142	25.9%
7日	1	0.2%	3	0.5%
無回答	2	0.4%	6	1.1%
計	550	100.0%	548	100.0%

【1日当たりの就労時間】

	母親		父親	
～4時間	37	6.7%	0	0.0%
～5時間	40	7.3%	1	0.2%
～6時間	60	10.9%	2	0.4%
～7時間	49	8.9%	11	2.0%
～8時間	281	51.2%	296	54.2%
～9時間	36	6.6%	65	11.9%
～10時間	30	5.5%	69	12.6%
～11時間	5	0.9%	10	1.8%
～12時間	5	0.9%	60	11.0%
13時間以上	3	0.5%	23	4.2%
無回答	3	0.5%	9	1.6%
計	549	100.0%	546	100.0%

問10-2 問10で「1. ～4.」(就労している)に○をつけたかたへ
 家を出る時刻と帰宅時刻を、父親・母親それぞれお答えください。
 ※時間が一定でない場合は、一番多いケースでお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中のかたは、休業の前の状況についてお答えください。
 ※時間は、24時間制(例:08時～18時)でお答えください。

時間帯	母親				父親			
	家を出る時刻		帰宅時刻		家を出る時刻		帰宅時刻	
0時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1時	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.4%
2時	1	0.2%	0	0.0%	2	0.4%	1	0.2%
3時	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%
4時	0	0.0%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%
5時	1	0.2%	1	0.2%	11	2.0%	2	0.4%
6時	6	1.1%	0	0.0%	50	9.2%	3	0.6%
7時	185	33.7%	0	0.0%	279	51.2%	0	0.0%
8時	264	48.1%	0	0.0%	160	29.4%	7	1.3%
9時	65	11.8%	0	0.0%	16	2.9%	7	1.3%
10時	8	1.5%	1	0.2%	3	0.6%	5	0.9%
11時	2	0.4%	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
12時	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%
13時	4	0.7%	10	1.8%	1	0.2%	1	0.2%
14時	3	0.5%	15	2.7%	1	0.2%	3	0.6%
15時	0	0.0%	31	5.6%	3	0.6%	5	0.9%
16時	0	0.0%	58	10.5%	3	0.6%	4	0.7%
17時	0	0.0%	92	16.7%	1	0.2%	61	11.3%
18時	2	0.4%	255	46.4%	2	0.4%	203	37.5%
19時	1	0.2%	54	9.8%	3	0.6%	108	20.0%
20時	1	0.2%	18	3.3%	1	0.2%	75	13.9%
21時	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	32	5.9%
22時	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	13	2.4%
23時	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.6%
24時	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	4	0.7%	3	0.5%	4	0.7%	4	0.7%
計	549	100.0%	550	100.0%	545	100.0%	541	100.0%

問11 問10で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけたかたへ
 フルタイム勤務への転換希望はありますか。父親・母親それぞれ当てはまる番号を【勤務体制】から選び、
 番号に○をつけてください。

【勤務体制】	母親		父親	
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	17	9.8%	3	37.5%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	47	27.2%	1	12.5%
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	104	60.1%	2	25.0%
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4	2.3%	1	12.5%
無回答	1	0.6%	1	12.5%
計	173	100.0%	8	100.0%

問12 問10で「5. 6.」(現在は就労していない、これまで就労したことがない)に○をつけたかたへ
 就労したいという希望はありますか。父親・母親それぞれ当てはまる番号を【就労希望】から1つ選び、番号
 に○をつけてください。また、就労希望の「2. 3.」を選んだかたは、希望する就労形態もお答えください。

【就労希望】	母親		父親	
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	12	25.5%	0	0.0%
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい	14	29.8%	0	0.0%
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	21	44.7%	1	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	47	100.0%	1	100.0%

「2」を選んだ場合の年齢 ⇒

1歳未満	0	0.0%	0	0.0%
1歳	0	0.0%	0	0.0%
2歳	1	9.1%	0	0.0%
3歳	0	0.0%	0	0.0%
4歳	3	27.3%	0	0.0%
5歳	0	0.0%	0	0.0%
6歳	0	0.0%	0	0.0%
7歳以上	7	63.6%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	11	100.0%	0	0.0%

「2. 3.」を選んだ場合の希望する就労形態					
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	7	21.2%	1	100.0%	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	21	63.6%	0	0.0%	
無回答	5	15.2%	0	0.0%	
計	33	100.0%	1	100.0%	

「イ」を選んだ場合⇒ 【週当たり】	1日	0	0.0%	0	0.0%
	2日	0	0.0%	0	0.0%
	3日	7	23.3%	0	0.0%
	4日	7	23.3%	0	0.0%
	5日	15	50.0%	0	0.0%
	6日	0	0.0%	0	0.0%
	7日	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	1	3.3%	1	100.0%
	計	30	100.0%	1	100.0%

【1日当たり】	～4時間	3	10.0%	0	0.0%
	～5時間	12	40.0%	0	0.0%
	～6時間	8	26.7%	0	0.0%
	～7時間	0	0.0%	0	0.0%
	～8時間	6	20.0%	0	0.0%
	～9時間	0	0.0%	0	0.0%
	～10時間	0	0.0%	0	0.0%
	～11時間	0	0.0%	0	0.0%
	～12時間	0	0.0%	0	0.0%
	13時間以上	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	1	3.3%	1	100.0%
	計	30	100.0%	1	100.0%

お子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問13 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことがありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数を記入してください。※ここでの家族とは、同居の親族を指します。

【対応内容】			【宿泊日数】					
			1～9日	10日～	20日～	30日～	40日～	50日～
1. 同居以外の親族・知人にみてもらった	82	13.5%	72	6	1	1	0	1
2. 託児所やベビーシッター等の民間の預け先を利用した	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
3. 仕方なく子どもを同行させた	4	0.7%	3	0	0	0	0	0
4. 仕方なく子どもだけで留守番させた	3	0.5%	3	3	0	0	0	0
5. その他の対応	4	0.7%						
6. なかった	512	84.1%						
無回答	4	0.7%						
計	609	100.0%						

問13-1 問13で「1. 同居以外の親族・知人にみてもらった」に○をつけたかたへ
願うするにあたって、どの程度難しかったですか。

1. 非常に難しい	2	2.3%
2. どちらかというと難しい	32	36.8%
3. 特に難しくはない	52	59.8%
無回答	1	1.1%
計	87	100.0%

問13-2 問13で「1. 同居以外の親族・知人にみてもらった」「2. 託児所やベビーシッター等の民間の預け先を利用した」に○をつけたかたへ
既存の一時預かり事業と比較して利用料金が高額であっても、月内の利用制限がなく、お子さんの預かりを行える施設があれば利用しますか。

1. 利用したい	6	15.0%
2. どちらかというと利用したい	15	37.5%
3. 利用したくない	15	37.5%
無回答	4	10.0%
計	40	100.0%

- 問13-3 問13-2で「1. 利用したい」に○をつけたかたへ
 1日(8H)の利用料金について、いくらまでであれば利用しようと思いますか。
 具体的な金額の上限をお知らせください。
 (参考:既存の一時預かり事業【500～2,000円/日】)

500円未満	0	0.0%
500円～1000円未満	1	9.1%
1000円～2000円未満	5	45.5%
2000円以上	4	36.4%
無回答	1	9.1%
計	11	100.0%

- 問13-4 スポーツ少年団活動や習い事等への送迎サービスや急な仕事等でファミリー・サポート・センターを利用したことがありますか。

1. 利用したい	58	9.4%
2. どちらかというと利用したい	190	30.9%
3. 利用したくない	251	40.8%
無回答	116	18.9%
計	615	100.0%

小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

- 問14 お子さんが小学校低学年のかたへ
 お子さんには、どのような放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたいと思いますか。小学校低学年(1～3年生)のときと高学年(4～6年生)のとき、それぞれお答えください。

- (1)小学校低学年(1～3年生)のとき
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。
 (2)小学校低学年(4～6年生)のとき
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

(1)低学年のとき

放課後の過ごし方	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
1. 自宅	119 19.5%	15 5	25 1	26 2	9 4	3 1
2. 同居していない祖父母宅や友人・知人宅	25 4.1%	44 1	45 6	25 7	10 6	1 27
3. 習い事、スポーツ少年団活動等	125 20.5%	2 7	3 17	5 23	2 16	9 130
4. 児童館	48 7.9%	0 4	1 2	1 1	0 0	1 1
5. 放課後子ども教室	22 0.0%	0	0	0	0	1
6. 放課後児童クラブ[学童保育]	194 31.9%	「6.」を選んだ場合 下校～何時まで				
7. 大館市ファミリー・サポート・センター	4 0.7%	～13時 0				
8. 公民館や図書館などの公共施設	8 1.3%	～14時 0				
9. その他	2 0.0%	～15時 0				
無回答	0 0.0%	～16時 39				
		～17時 65				
		～18時 79				
		～19時 7				
		～20時 1				
		無回答 2				
		計 193				

※パーセントは、回収数6098件に対する割合。

(2)高学年のとき

放課後の過ごし方	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
1. 自宅	158 25.9%	15 8	34 3	27 1	11 8	68 0
2. 同居していない祖父母宅や友人・知人宅	34 5.6%	22 2	55 6	45 1	25 2	11 4
3. 習い事、スポーツ少年団活動等	155 25.5%	1 2	3 5	1 13	3 3	7 19
4. 児童館	15 2.5%	0 8	0 4	2 1	1 0	0 0
5. 放課後子ども教室	14 2.3%	1	0	0	0	1
6. 放課後児童クラブ	43 7.1%	「6.」を選んだ場合 下校～何時まで				
7. 大館市ファミリー・サポート・センター	3 0.5%	～13時 0				
8. 公民館や図書館などの公共施設	13 2.1%	～14時 0				
9. その他	2 0.3%	～15時 0				
無回答	68 11.2%	～16時 2				
		～17時 17				
		～18時 17				
		～19時 5				
		～20時 1				
		無回答 2				
		計 44				

※パーセントは、回収数609件に対する割合。

問15 お子さんが小学校高学年のかたへ
 お子さんは現在、どのような放課後の時間を過ごしていますか。また、どのような時間を過ごさせたいと思いますか。現在の状況と希望する状況について、それぞれお答えください。

- (1)現在の状況
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれそれぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。
- (2)希望する状況
 今の考えに当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

放課後の過ごし方		1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
1. 自宅	256	19	51	50	20	114	2
	42.0%	4	4	5	1	8	0
2. 同居していない祖父母宅や友人・知人宅	22	25	58	62	32	9	0
	3.6%	0	0	0	1	1	0
3. 習い事、スポーツ少年団活動等	186	0	0	0	0	1	0
	30.5%	4	2	5	4	15	0
4. 児童館	2	0	1	0	0	0	0
	0.3%	2	1	0	0	0	0
5. 放課後子ども教室	1	1	1	1	0	3	0
	0.2%						
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	30						
	4.9%						
7. 大館市ファミリー・サポート・センター	1						
	0.2%						
8. 公民館や図書館などの公共施設	3						
	0.5%						
9. その他	6						
	1.0%						
無回答	7						
	1.1%						
計							

※パーセントは、回収数609件に対する割合。

「6.」を選んだ場合 下校～何時まで	
～13時	0
～14時	0
～15時	0
～16時	3
～17時	8
～18時	18
～19時	1
～20時	0
無回答	0
計	30

放課後の過ごし方		1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
1. 自宅	205	12	47	36	16	94	1
	33.7%	5	4	3	1	6	0
2. 同居していない祖父母宅や友人・知人宅	19	21	59	59	21	10	0
	3.1%	0	0	3	2	0	0
3. 習い事、スポーツ少年団活動等	171	2	5	4	1	2	0
	28.1%	3	2	8	3	16	0
4. 児童館	5	0	0	0	0	1	0
	0.8%	2	4	0	0	0	0
5. 放課後子ども教室	14	1	2	3	0	1	0
	2.3%						
6. 放課後児童クラブ	32						
	5.3%						
7. 大館市ファミリー・サポート・センター	1						
	0.2%						
8. 公民館や図書館などの公共施設	6						
	1.0%						
9. その他	7						
	1.1%						
無回答	38						
	6.2%						
計							

※パーセントは、回収数609件に対する割合。

「6.」を選んだ場合 下校～何時まで	
～13時	0
～14時	0
～15時	0
～16時	1
～17時	13
～18時	14
～19時	3
～20時	0
無回答	0
計	31

問16 すべてのかたへ
 土曜日、日曜・祝日、長期休暇に、「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望はありますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけ、希望する時間帯を数字でご記入ください。
 ※時間は、24時間制(例:08時～18時)でお答えください。
 ※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	(1)土曜日	(2)日曜日・祝日	(3)長期休暇(夏休み、冬休み)
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	116 18.0%	44 7.0%	231 33.3%
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	95 14.8%	41 6.6%	224 32.3%
3. 利用する予定はない	409 63.6%	516 82.6%	213 30.7%
無回答	23 3.6%	24 3.8%	26 3.7%
計	643 100.0%	625 100.0%	694 100.0%

「1.」「2.」を選んだ場合

利用したい時間帯	(1)土曜日				(2)日曜日・祝日				(3)長期休暇(夏休み、冬休み)			
	何時から		何時まで		何時から		何時まで		何時から		何時まで	
7時	26	12.6%	0	0.0%	17	20.0%	0	0.0%	58	12.7%	0	0.0%
8時	150	72.5%	0	0.0%	50	58.8%	0	0.0%	316	69.1%	0	0.0%
9時	23	11.1%	0	0.0%	12	14.1%	0	0.0%	72	15.8%	0	0.0%
10時	1	0.5%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	7	1.5%	0	0.0%
11時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%
12時	0	0.0%	3	1.4%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	5	1.1%
13時	1	0.5%	1	0.5%	1	1.2%	3	3.5%	1	0.2%	4	0.9%
14時	0	0.0%	3	1.4%	0	0.0%	2	2.3%	0	0.0%	6	1.3%
15時	1	0.5%	5	2.4%	0	0.0%	5	5.8%	0	0.0%	25	5.5%
16時	1	0.5%	24	11.6%	0	0.0%	4	4.7%	0	0.0%	60	13.2%
17時	0	0.0%	55	26.6%	0	0.0%	14	16.3%	0	0.0%	127	27.9%
18時	0	0.0%	99	47.8%	0	0.0%	45	52.3%	1	0.2%	200	44.0%
19時	0	0.0%	11	5.3%	0	0.0%	7	8.1%	0	0.0%	23	5.1%
20時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.2%
21時	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	4	1.9%	4	1.9%	4	4.7%	4	4.7%	2	0.4%	2	0.4%
計	207	100.0%	207	100.0%	85	100.0%	86	100.0%	457	100.0%	455	100.0%

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問17 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

育児休業取得状況	母親		父親	
1. 働いていなかった	155	25.7%	4	0.7%
2. 取得した(取得中である)	330	54.8%	9	1.6%
3. 取得していない	115	19.1%	533	96.2%
無回答	2	0.3%	8	1.4%
計	602	100.0%	554	100.0%

「3」を選んだ場合(複数回答)

所得していない理由	母親		父親	
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	30	14.9%	148	15.6%
2. 仕事が忙しかった	17	8.4%	197	20.8%
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	13	6.4%	4	0.4%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	9	4.5%	7	0.7%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	1	0.5%	15	1.6%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	17	8.4%	145	15.3%
7. 保育園などに預けることができた	8	4.0%	12	1.3%
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%	162	17.1%
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	3	1.5%	93	9.8%
10. 子育てや家事に専念するため退職した	20	9.9%	5	0.5%
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	17	8.4%	65	6.9%
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	10	5.0%	2	0.2%
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	5	2.5%	28	3.0%
14. 出産時に退職した	36	17.8%	1	0.1%
15. その他	15	7.4%	34	3.6%
無回答	1	0.5%	29	3.1%
計	202	100.0%	947	100.0%

問18 問17で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけたかたへ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号をご記入ください。

育児取得後の状況	母親		父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	298	90.6%	10	100.0%
2. 現在も育児休業中である	10	3.0%	0	0.0%
3. 育児休業中または育児休業後に退職した	16	4.9%	0	0.0%
無回答	5	1.5%	0	0.0%
計	329	100.0%	10	100.0%

問19 問18で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたへ
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育施設等への入園に合わせてでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号をご記入ください。 ※希望の保育施設かどうか、また保育園、幼稚園等の施設にかかわらず、職場復帰したタイミングでお答えください。

復職時期	母親		父親	
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	183	59.2%	0	0.0%
2. それ以外だった	123	39.8%	8	100.0%
無回答	3	1.0%	0	0.0%
計	309	100.0%	8	100.0%

問19-1 育児休業から職場に復職したのは、お子さんが何歳何か月のときですか。また、希望としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。(お勤め先の育児休業の期間内で)数字をご記入ください。

お子さんの年齢	実際の取得期間				希望の取得期間			
	母親		父親		母親		父親	
～0歳2か月	13	4.1%	10	62.5%	4	1.3%	2	14.3%
0歳3か月～0歳6か月	60	18.8%	3	18.8%	15	4.8%	5	35.7%
0歳7か月～1歳0か月	153	47.8%	2	12.5%	117	37.1%	3	21.4%
1歳1か月～1歳6か月	69	21.6%	0	0.0%	44	14.0%	0	0.0%
1歳7か月～2歳0か月	6	1.9%	0	0.0%	40	12.7%	0	0.0%
2歳1か月～2歳6か月	7	2.2%	0	0.0%	6	1.9%	0	0.0%
2歳7か月～3歳0か月	8	2.5%	0	0.0%	63	20.0%	2	14.3%
3歳1か月～3歳6か月	2	0.6%	0	0.0%	4	1.3%	0	0.0%
3歳7か月～4歳0か月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4歳1か月～	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.6%	1	6.3%	22	7.0%	2	14.3%
計	320	100.0%	16	100.0%	315	100.0%	14	100.0%

問19-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字でお答えください。

お子さんの年齢	母親		父親	
～0歳2か月	2	0.6%	4	7.1%
0歳3か月～0歳6か月	4	1.2%	6	10.7%
0歳7か月～1歳0か月	66	19.5%	18	32.1%
1歳1か月～1歳6か月	25	7.4%	0	0.0%
1歳7か月～2歳0か月	62	18.3%	6	10.7%
2歳1か月～2歳6か月	6	1.8%	0	0.0%
2歳7か月～3歳0か月	166	49.1%	20	35.7%
無回答	7	2.1%	2	3.6%
計	338	100.0%	56	100.0%

問19-3 育児休業から職場に復職したとき、「短時間勤務制度」を利用しましたか。
当てはまる番号1つをご記入ください。

利用状況	母親		父親	
1. 利用した	77	24.2%	0	0.0%
2. 利用する必要がなかった(もともと短時間勤務だった)	56	17.6%	3	13.0%
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	149	46.9%	11	47.8%
4. 短時間勤務制度の対象外	33	10.4%	9	39.1%
無回答	3	0.9%	0	0.0%
計	318	100.0%	23	100.0%

問19-4 問19-1で実際の復帰と希望が異なるかたへ
希望の時期に職場復帰できなかった理由について、最も当てはまる理由1つを選び、番号をご記入ください。

(1)「希望」より早く復帰したかた	母親		父親	
1. 希望する保育園に入れたため	59	28.1%	0	0.0%
2. 配偶者や家族の希望	3	1.4%	0	0.0%
3. 経済的な理由で早く復職する必要があった	57	27.1%	2	25.0%
4. 仕事の都合	62	29.5%	5	62.5%
5. 人事など会社の都合	12	5.7%	0	0.0%
6. その他	15	7.1%	0	0.0%
無回答	2	1.0%	1	12.5%
計	210	100.0%	8	100.0%

(2)「希望」より遅く復帰したかた	母親		父親	
1. 希望する保育園に入れなかったため	13	61.9%	0	0.0%
2. 配偶者や家族の希望	0	0.0%	0	0.0%
3. 自分または子どもの体調が思わしくなかったため	1	4.8%	0	0.0%
4. 会社の都合	0	0.0%	0	0.0%
5. 子どもを見てくれる人がいなかったため	1	4.8%	0	0.0%
6. その他	5	23.8%	0	0.0%
無回答	1	4.8%	0	0.0%
計	21	100.0%	0	0.0%

問19-5 問19-3で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答したかたへ
その理由として当てはまる番号をすべて()にご記入ください。

理由	母親		父親	
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	67	27.8%	6	20.7%
2. 仕事が忙しかった	47	19.5%	10	34.5%
3. 短時間勤務にすると給与が減額となる	51	21.2%	6	20.7%
4. 短時間勤務にすると、保育園へ提出した就労証明書の内容と異なってしまう	7	2.9%	0	0.0%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	1	0.4%	1	3.4%
6. 配偶者が無職、または祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	5	2.1%	1	3.4%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	3	1.2%	0	0.0%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	19	7.9%	1	3.4%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	30	12.4%	3	10.3%
10. その他	10	4.1%	1	3.4%
無回答	1	0.4%	0	0.0%
計	241	100.0%	29	100.0%

問20 問18で「2. 現在も育児休業中である」と回答したかたへ
 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育施設)があれば、1歳まで育児休業を取得しますか。それとも、預けられる事業があっても1歳になる前に復職しますか。当てはまる番号1つをご記入ください。

復職時期	母親		父親	
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	9	75.0%	0	0.0%
2. 1歳になる前に復職したい	1	8.3%	1	100.0%
3. その他	2	16.7%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
計	12	100.0%	1	100.0%

問21 子どもが原則1歳(定員オーバーにより保育園に入園することができなかった場合など、一定の要件を満たす場合は最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される制度をご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答		計	
256	42.0%	300	49.3%	53	8.7%
		609			100.0%

問21-1 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置)期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度をご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答		計	
158	25.9%	398	65.4%	53	8.7%
		609			100.0%

大館市における子育て支援についてうかがいます。

問22 大館市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ←					→ 満足度が高い		
1	2	3	4	5	無回答	計	
138	199	190	50	8	24	609	
22.7%	32.7%	31.2%	8.2%	1.3%	3.9%	100.0%	

問23 ニプロハチ公ドームに隣接するパークセンター内にある、子どもの遊び場についてお尋ねします。今後、設備面・運営面でどのようなことを期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て支援事業の利用や子どもの発達に関する相談の実施(相談員の派遣など)	117	8.9%
2. 絵本・工作等の学習体験ができる	205	15.5%
3. 身体を使った遊び	307	23.2%
4. 親子での交流やくつろげる空間	210	15.9%
5. 子育て情報の発信	109	8.3%
6. イベント開催の増	169	12.8%
7. その他	51	3.9%
8. 施設の利用を知らなかった	148	11.2%
無回答	5	0.4%
計	1321	100.0%

問23-1 子どもの遊び場の休館日と開館時間について希望をお聞かせください。
 (現行: 休館日: 毎週月曜日、開館時間: 9時～16時)

1. いまのままでよい	464	75.8%
2. 休館日を変更してほしい	14	2.3%
3. 開催時間を延長または短縮してほしい	63	10.3%
4. その他	24	3.9%
無回答	47	7.7%
計	612	100.0%

「2」を選んだ場合⇒休館日の希望曜日

月	0	0.0%
火	7	46.7%
水	5	33.3%
木	2	13.3%
金	0	0.0%
土	0	0.0%
日	1	6.7%
無回答	0	0.0%
計	15	100.0%

「3」を選んだ場合⇒開館時間の希望時間

開館時間希望	何時から		何時まで	
7時	2	4.4%	0	0.0%
8時	7	15.6%	0	0.0%
9時	33	73.3%	1	2.1%
10時	0	0.0%	0	0.0%
11時	0	0.0%	0	0.0%
12時	0	0.0%	0	0.0%
13時	0	0.0%	0	0.0%
14時	0	0.0%	0	0.0%
15時	0	0.0%	0	0.0%
16時	0	0.0%	1	2.1%
17時	0	0.0%	18	38.3%
18時	0	0.0%	19	40.4%
19時	0	0.0%	5	10.6%
20時	0	0.0%	2	4.3%
21時	0	0.0%	1	2.1%
無回答	3	6.7%	0	0.0%
計	45	100.0%	47	100.0%

問24 子育て支援のサービスとして、活用したいと思うものをお選びください。(一番活用したいもの◎、次に活用したいものに○を()内につけてください。)その他の場合は、【 】内に詳細を記入願います。

1. スマートフォン等を活用した市からのお知らせの受取・相談	400	29.7%
2. お子さんが急病の際の小学校へのお迎えサービス	430	31.9%
3. 残業・急用などの際の日祝祭日や夜間等の一時的な預かり	365	27.1%
5. その他	82	6.1%
無回答	69	5.1%
計	1346	100.0%

問25 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援・子どもの遊び場に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

記入有り	278	45.6%
記入無し	331	54.4%
計	609	100.0%

3.「第3期 大館市子ども・子育て支援事業計画」(案)についての意見募集(パブリックコメント)の結果

「第3期大館市子ども・子育て支援事業計画」(案)についての意見募集(パブリックコメント)の結果は、次のとおりです。

- 1 募集期間 : 令和7年2月3日(月)から令和7年2月21日(金)まで
- 2 資料閲覧場所: 大館市ホームページ、大館市福祉部子ども課、
比内総合支所市民生活係、田代総合支所市民生活係
- 3 意見提出方法: 郵送、ファックス、電子メール、直接持参
- 4 意見提出者数: 12人
- 5 意見件数 : 29件
- 6 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容(要旨)	市の考え方
1	夫婦共働きのため、保育園に預けているのですが、こどもが体調不良や感染症にかかってしまい登園が不可能なときは、病児保育に空きがあれば利用しています。 1回の利用料金が1,000円ですが、可能であればもう少し安くして欲しいです。	お子さんがご病気のときは、大変だと思います。 秋田県内の多くの市町村が、病児保育の利用料金を、2,000円に設定している中、大館市は利用料金を1,000円で事業を実施しております。 また、市民税非課税世帯やひとり親世帯(市民税課税世帯)を500円、ひとり親世帯(市民税非課税世帯)及び生活保護世帯は0円に軽減し、第3子以降のお子様の利用料は、子育てファミリー支援事業にて、利用料の助成を行い、負担の軽減を図っております。 今後も、ニーズにお答えできるよう、制度を検討してまいりますので、ご理解をお願いいたします。
2	計画に対しては、細かいところに意見はありません。 私が思うのは市民みなさんの考え方を良いほうに変えていけたらと思います。 子育ては親だけで行ない、誰にも迷惑をかけてはいけません。子どもは厄介、お金がかかるなど年代問わずネガティブ先行な世の中だと感じています。 そうではないと思います。得られる充実感や子育てのヒント、手助けできる地域社会があるのにイマイチ伝わらないですね。 みんなで「見守る・育てる」は当たり前という考え方をいろいろな人が持てるよう、強制的にでもそれを伝える時間があって欲しい。学業、仕事、家事等の生活の中で、研修タイムを設け、地域子育ての勉強会をして知識を蓄えて、自信を持って、楽しくみんなで子育てできたらと思います。 待っているだけでなく、行政からどんどん支援を押し付けるぐらいの勢いで、取り組んで欲しいです。	貴重なご意見をありがとうございます。 これまであくまでも子育ての主体は保護者や親族であるという風潮が強かったところ、国が少子化を重要な課題ととらえ、本計画の基礎となる子ども・子育て支援法を制定し、平成27年度から子ども・子育て支援新制度をスタートし、子育てを社会全体で関わっていくよう舵を切りました。 更に、令和5年4月にはこども施策を社会全体で総合的に進めていくためこども家庭庁を設置し、「こども基本法」や「こども大綱」を制定し、こども施策を一元的に推進していく環境を整備しました。 国の趣旨が市民の皆様に伝わり、地域が主体的に子育て支援に関わる事が出来、子育てに関心が持てるような機会を提供できるよう、関係機関並びに関係部署と横断的に対応を検討してまいります。

3	子どもを生みたいけど経済的に・・・という方々をぜひ応援していただきたいです。	経済的支援の重要性については、市でも認識しており、本計画の46ページにも経済的支援に関する取り組みを掲載しております。 主な支援といたしましては、児童手当の支給や3歳児以上のお子さんの保育料の無償化、3歳未満児の保育料の助成、3歳以上児の給食費の助成、市の単独事業として、2歳まで在宅で子育てをしている世帯に対しての支援金など、多種多様な事業を実施しております。 今後も、新たな子育て支援事業を検討しながら、経済的支援を必要とするかたが適切に活用できるよう相談支援も推進し、子育て世帯を応援してまいります。
4	小さな不安を持っている保護者が気楽に話せる場が欲しいです。 しかし、場所だけ作って、待っているだけでは、集まらないと思います。保育園、地域など小さなコミュニティで何でも話せるようになればいいと思います。	市の公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談を実施し、育児不安を解消する取り組みを行っております。パークセンター内の「つどいの広場ひよこ」、城南保育園分園の「つくしんぼ広場」、扇田保育園の地域子育て支援センター、たしろ保育園の「子育て支援室」の計4か所です。 また、令和7年4月から妊娠期から子育て期にわたるまでの育児や子育てに関する悩みなどの相談に対応する「こども家庭センター」を設置する予定ですので、是非ご活用ください。
5	支援が必要な子に対し、できれば、保育園・学校で人数を増やして対応してくれるとうれしいです。	保育施設等では、支援が必要な児童の受け入れに際し、年齢別に定められている配置基準の保育士のほかに、障害の種類・程度などを考慮し、必要な保育士等の増員を行い、集団による保育を通して豊かな人間性の基礎を培い、健全な心身の発達を図る保育を実施しております。 また、小中学校では支援が必要なお子さんに対し、教育支援員を配置しており、教育支援員の増員については学校側からも強い要望がございます。人件費が高騰しているため、限られた予算の範囲内で、教育支援員の増員ができないか今後も検討してまいります。
6	学校にもよるかと思いますが、1クラスの人数が多すぎると「ひとりもとりこぼすことなく～」と大館で言われていることが実践できないと思います。さらなる少人数制をお願いしたいです。	国の基準で、小学校の1クラスあたりの児童数は35人以内と定められております。県の少人数学習推進事業により教員が配置された場合には、市として学級を増やすなどの措置もしており、各校ではチームティーチングの体制を組むなどの工夫に取り組んでおります。 複数の教員がチームとして指導に当たるなど、一人たりとも置き去りにしない教育の実現に努めております。
7	困っている子どもが親とは関係なく相談できる所も是非、あればいいと思います。きびしい親に反こうできず、学校で発散している様子の子もみられるので。	各小中学校には、スクールカウンセラーが定期的に巡回しており、児童生徒と直接面談ができる体制がございます。また、教育委員会では臨床心理士を配置しており、学校から連絡を受けて、児童生徒だけの面談や保護者だけの面談を行っています。 今後も、児童生徒の心のSOSに教員が早期に気づき、面談やカウンセリングにつなげてまいります。 加えて、子ども課でも臨床心理士を配置しており、子を持つ親に限らず、こどもの悩み事なども傾聴し、秘密を守って寄り添います。直接窓口で相談する以外にも、電話やメール等対面せずに相談することも可能ですので、お気軽にご相談ください。

8	子育てサポーターについての取り組みですが、講習会やスキルアップ研修会については記載があるが、サポーターを増やすために、是非、報酬額をUP（利用者側の利用料は据え置き）し、サポーターの意欲の向上や人数増を目指して欲しいと思います。	報酬額の変更については、利用者負担額との関係も含めて、子育てサポーターの増につながるよう、他市町村の動向を注視し、検討してまいります。
9	ウッドスタート誕生祝い品について、これまで産んだ3人ともいただきましたが、犬のおもちゃの家の屋根がこわされたり、接着がはがされたりで、危険な感じになって、遊ばせられなくなってしまいました。1歳には早すぎたか？（投げることもありこわれる）と思い、下の子の時も同じのをもらったけれど、せっかくなのにまだ出していない。小さい子でも遊べて、こわれても危険にならない（積み木は良いけど、少し物足りない）様な「ままごとの野菜」とかはどうでしょう？ これまで出産したママさん達に、木のおもちゃをもらって、実際どうだったか、アンケートをしてみたいかでしょうか？	貴重なご意見ありがとうございます。 もし「1歳には早すぎる」と感じられる場合は2歳からでも3歳からでも結構ですので、それぞれの家庭で自由に遊んでいただければと存じます。 秋田スギは軽くて柔らかいのが特徴のためおもちゃとしては壊れやすくなりますが、大館市のお子様にはぜひ秋田スギでできた秋田犬プルトイで遊んでいただきたいと考えてプレゼントしておりますので、親子で安全に配慮して遊んでいただけると幸いです。 アンケートの実施も検討いたしますが、ご意見などがございましたらいつでもご遠慮なくお申し付けください。
10	ファミサボをもっと充実できたら、とって子育てしやすい市になると思っています。利用者を増やすには、サポーターの増はもちろん、利用者さんの最初の壁（登録手続きが必要、サポーターさんの顔が見えないので、誰が来るのかも分からない、とりあえず利用してみないと何もわからないのでこわい。）を乗り越えられるような、登録のしやすさとその周知、ホームページの充実、サポーターさんの通勤時間がどのくらいなのかあらかじめ説明するなど、予算のUPなどをお願いします。	市では、保育以外の預かりサービスを充実させ、子育て世代の負担軽減を図っていきたいと考えており、ファミリー・サポート・センターの拡充もその一つです。 拡充のためのハードルとして、会員の相互援助によるサービスであるため、会員の登録を増やす取り組みが必要となります。また、大切なお子さんをお預かりするにあたり、サポーターの人となりについて、事前に把握されたいというご意見は、ごもっともであると思います。 委託先と協議し、ホームページの見直しやサポーターの情報の共有について、個人情報に配慮しながら可能か検討し、皆様が安心して利用出来るよう努めてまいりたいと思います。
11	「こども誰でも通園制度」の見込み量（9人）はどのように出したものでしょうか。実際に利用したいと思っている人数を調査すべきだと思います。	こども誰でも通園制度の見込み量と確保方策については、国の制度概要について、未確定の部分があり、国の整備量調査で定めた算式に基づき、見込み量を算出しております。 $(0 \sim 2 \text{歳の未就園児数} \times 10 \text{時間}) \div 176 \text{時間} (8 \text{時間} \times 22 \text{日})$ 国の制度が令和8年度から本格的にスタートすることから、3歳未満児の入園の状況をみながら、ニーズに添えていけるよう検討してまいります。
12	子育てファミリー支援事業の周知についてですが、3人目が生まれてすぐは案内をいただきましたが、その後、インフルエンザも助成に加わったことを知らずに利用できていませんでした。中学生や小学生が利用している助成と同じように病院からもアナウンスがあれば又は、インフルエンザの季節になったらお知らせをもらえるなど事業者と連携して周知してほしいです。	子育てファミリー支援事業のご案内につきましては、第3子以降のお子さんの出生時にご案内しているほか、広報や大館市のホームページ等でも周知しております。併せて、一度申請いただいたかたで次年度も継続の見込みがある世帯へは、4月から5月にかけて再度ご案内を送付させていただいておりますので、対象見込となるお子さんがいらっしゃる場合は、申請をお願いいたします。 ご提案いただいた、周知のタイミングや病院等との連携につきましては、子育て世帯のニーズにお応えできるよう検討してまいります。

13	保育コンシェルジュについてですが、とても良い支援事業があるのに利用者に伝わっていないように思われます。コンシェルジュを担える人がたくさんいて欲しいです。1人では足りないと思います。	保育コンシェルジュにつきましては、子ども課に専門の職員1名を配置しており、子育て世帯と関係機関をつなぐための役割を担っております。子育て世代が集まる「地域子育て支援拠点施設」や「子どもの遊び場」、民間の子育てカフェなどにも出向き、必要なサービスに繋げております。 保育コンシェルジュの人数を増やすのは、人件費の高騰などにより難しい側面がありますが、より多くの子育て世代のかたが利用できるよう、ホームページや広報などを通じて広く周知してまいります。
14	ファミリー・サポート・センター事業についてですが、まだまだ利用したい人に利用してもらえていないと思います。協力会員を増やせるように、養成講習会の費用助成や利用料金の見直しなど検討してもらえたらと思います。(私は、協力会員です) 子育てファミリー支援事業で、3人目は利用料が助成されるということも、もっとPRすべきだと思います。	令和7年度より、協力会員として活動するために必要な講習の受講を推進するため、これまで、受講者の購入を必須としていたテキストについて、貸出での対応も可能としました。また、講習の実施時期の調整や広域での開催など会員増加の取り組みを検討してまいります。また、利用料金の見直しについては、No.8、子育てファミリー支援事業の周知については、No.12のとおりですが、より一層、事業の周知に努めてまいります。
15	ファミリー・サポート・センター事業についてですが、サポーターが不足し、ニーズに答えられていない時があり、サポーターを増やす取り組みがもっと必要だと思います。 例えば、市内全ての町内会の回覧版にファミリー・サポート・センター事業の説明&サポーター募集&養成講座の案内を配付するなど、サポーター活動に興味を持ちそうな方へ周知していく必要があると思います。各町内に10人サポーターがいたら、いざ、お子さんを預ける時、顔見知りの近所の方に、安心して預けられる環境にもつながると思います。(預ける人と預かるサポーターが託児の当日、初めて顔を合わせるといのは、双方にとって負担や不安が大きく、そのような現状も改善する必要があると思います。)	サポーターが不足しており、ニーズにお応えできない場合があることは市でも把握しております。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。 No.10、14でもお答えした通り、会員増加への取り組みは大変重要であると受け止めております。 ご提案いただきました町内会の回覧板を活用した会員募集の周知についてですが、大変素晴らしいご提案だと思います。 これから、ますます少子高齢化が進む本市では、町内会の活動や、地域のつながりによる助け合いが重要であります。 令和7年度から新たに設置される町内会関係部署等と連携し、サポーターの増につながる取り組みについても併せて検討してまいります。
16	誕生祝い品(木製の)があることをあまり知られておらず、また、せっかくのプレゼントなのにあまり喜ばれていないことが残念です。 なぜ、大館市でウッドスタート宣言をしたのか、なぜ木のおもちゃを誕生祝い品としてプレゼントするのか、どのような思いが込められているのかをもっと広くPRし、誕生祝い品の価値をしっかりと伝えていく必要があると思います。その上で、祝い品をもらった人たちにアンケートを配付し、感想を聞いたり、改善点のヒアリングをして、どんどんブラッシュアップしていくと良いと思います。(犬のおもちゃが壊れやすいという声をよく聞きます。)	貴重なご意見ありがとうございます。 「せっかくのプレゼントなのにあまり喜ばれていない」とのご指摘は非常に残念です。誕生祝い品の意義や価値を伝えるため、親子で読みやすいように工夫した「ウッドスタートBOOK」と簡単なしおりを添付してお渡ししておりますが、より効果的なPRについても検討してまいります。 アンケートの実施も検討いたしますが、ご意見などがございましたらいつでもご連絡なくお申し付けください。 なお、秋田スギは軽くて柔らかいのが特徴のためおもちゃとしては壊れやすくなりますが、大館市のお子様にはぜひ秋田スギでできた秋田犬ブルトイで遊んでいただきたいと思いますと考えてプレゼントしておりますので、親子で安全に配慮して遊んでいただけると幸いです。
17	待機児童が通年でゼロになるような取り組みをお願いします。働くお母さんにとって、兄弟でバラバラの園に通う、保育園に入れないため働き方に制限が生じるなどの状況は、生活の質の悪化に直結します。	市では、これまで、認定こども園や企業主導型保育施設の整備により受入れ枠を拡大してきたほか、保育士確保及び保育現場の負担軽減等を目的とした補助を行うなど、待機児童解消に努めてきたところではございますが、保護者の産後休暇、育児休業明けのタイミングなどによって、年度途中で待機児童が発生して

		いるところですよ。 その一方、市内の園児数については、過去5年平均で約100人も減少しており、市内の保育施設の配置を見直す時期に来ていると認識しております。市内全体の保育施設の需要と供給の調整を図り、待機児童が通年でゼロとなるような取り組みを進めてまいります。
18	産後は、働くお母さんが自身の今後のキャリアについて深く考える時期でもあります。女性のキャリア支援について、幅広いアドバイスができる機会を作ったり、多様な働き方をしている方の事例を紹介したり交流の場を設けたり、子育てしながらお母さんたちが自分のキャリアを自分で考えられるようなサポートを事業としてぜひお願いしたいです。（ハローワークや企業紹介だけでなく、起業という視点でのサポートがとても大事だと思います。）	県は、秋田県北男女共同参画センターという事業をNPO法人に委託して実施しており、女性の様々な相談に対し、必要な機関や窓口へとつなぐ取り組みを実施しております。 また、仕事と子育ての両立を支援する事業を県の次世代・女性活躍支援課で実施しており、イベントや講演会、企業向けのサポート事業などを実施しております。 また、市庁舎3階の職の窓口「活job おおだて」では、ハローワークと同様の職業紹介を行っており、お気軽に求職活動ができるほか、商工課の窓口において、創業にかかる相談や補助金による支援、融資の保証などを行っておりますので、ご活用ください。
19	既存の施設（遊び場や公園）について、利用者の声を集めニーズに合わせて更新・改善していく取り組みが必要だと思います。民間の施設も同じですが、作ったその日から、改善への取り組みがスタートすると思います。どんどん進化していくためには、時代に合ったニーズの把握が欠かせないので、定期的に声を集め、できるところから日々少しずつ改善していけるような、施設更新に係る予算の計上と事業化をお願いします。（計画、人手、予算がないと結果、更新されず作って終わりの施設になってしまうと思います。）	パークセンター「子どもの遊び場」では利用者アンケートを実施しており、利用者からは、施設職員にも、直接お声がけをいただいております。ニーズの把握について、積極的に取り組んでおります。いただいたご意見・ご要望等につきましては、引き続き改善等に取り組んでまいります。 また、市内公園施設にある遊具につきましては、長寿命化計画を策定し、毎年の定期点検の結果に基づき補修・更新を行っております。 利用者ニーズにつきましては、市民アンケートの結果などを参考に把握に努めてまいります。
20	市内の中心部にプールをお願いしたいです。	人口減少や建設費高騰などの中で、市が単独で新たな施設を整備するのは現実的ではありませんので、民間や近隣自治体を持つ既存施設を活用させていただくことが最善と考えます。
21	公園などの無料の遊び場がもう少し使いやすくなってほしい。駐車場、水場、日陰があれば屋根がついているところ。（夏は特に休める場所がないと大変）イベントなどができる野外広場などあれば、市の公園など使いたい申請のやり方や条件など厳しすぎて、借りたくても難しい。子育て向けのイベントをやりたいくてもなかなかできない。	屋内の遊び場として設置している、パークセンター内の「子どもの遊び場」やふれあいセンターやまびこ内の「森のおへや」は、利用料が無料となっており、天候に左右されることなく利用が可能ですので、是非ご利用ください。 また、市街地にある児童公園等、一部駐車場の確保が難しい公園はありますが、水場や親水施設については、二ツ山公園や桂城公園等において整備を進めております。 東屋等の屋根設備は一部公園に限られていますが、植樹による木陰の確保に配慮しておりますが、不足している公園があればご指摘いただければと思います。 公園のイベント使用につきましては、「広く市民が利用できる施設を占有する」ことになるため、一定の条件や申請手順を設けさせていただいておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
22	施設一体型（共同の遊び場、飲食店など）ママ1人でも、おじいちゃん、おばあちゃんも。	現在、北部福祉エリア内のふれあいセンターやまびこは、多世代交流の施設として位置付けられておりますので、是非一度、ご利用ください。

		また、市内でも高齢者の集いの場に地域の子どもを対象としている「地域の茶の間事業」がございます。高齢者部局と連携して検討してまいります。
23	ニーズ調査結果の割合が一番高いところを追って、どんなことがもとめられているのかをまとめてみました。すると、「就労」に焦点を当てた時、「現在はフルタイムでの就業中又は、フルタイムの休業中だが、希望は子どもが3歳程度になるまで休んで、復帰又は再就職するなら、週5日、1日4～5時間程度の仕事をしながら生活したい・・・」というのが、多くの子育て中の親の本音であることが見えました。子育て支援といえば、お金の分配やサービスが主となっているように思いますが、こうして調査してみると欲しているのは両立できる「時間」ではないでしょうか？計画書内の「計画の点検、評価」の項目には「利用者の視点に立ち、施策の改善につなげます。」と書かれていますので、当事者の声が反映されるよう、働き方改革に注目した事業内容や新しい視点での仕事のあり方や取り組みを、地域をまきこんだり、官民一体となって、進めてくださいますようお願いします。保育士不足、人出不足解消の糸口にもなると思います。	お子さんの出生後は育児休業等を活用し、出来る限りお子様と一緒に過ごし、就園後は、時短勤務で出来るだけお子様に関われるようにという保護者の理想が表れているものと思います。 市では、「働くパパママ応援企業認定制度」による雇用主側の子育てへの理解を広め、育児休業を取得しやすい環境づくりと社会全体で子育てを支える機運の醸成を図る取り組みを行っております。 また、市民の働きかた改革等については、次のような取り組みを進めております。 ・企業誘致や創業支援で幅広い職種を創出する取り組みの推進 ・働き方改革に関する相談会を市庁舎内で開催（年6回） ・スキマバイトサービス「タイミー」と包括連携を結ぶ大館商工会議所からの情報提供 引き続き、官民一体となって、利用者の視点に立ち、施策の改善につなげてまいります。
24	基本理念の基本目標3の理念にある「～事情により社会的な支援の必要性が高い子どもと家庭へ、（中略）支援を届けられるよう、様々な地域資源を最大限に活かし、体制整備を進めていきます」はとても大切なことだと思います。 病気や障害は誰にでも起こり得るものです。 大館市の働いているお母さん達が、子どもに障害や病気などがあって仕事を辞めざるをえない、とならないようにお願いしたいです。障害児施策の充実とは、すべての親にとって安心できる社会をつくるために必要です。でも仮に今後、出生数が増えるとしたら、当然のことながら、病気や障害児も増えるのです。健常児への子育て支援は、障害児支援との「車の両輪」でお願いしたい。障害と健常の垣根はありません。健常に育ってきた子どもでも、不登校になれば親が働けなくなることはよくあります。子育てにおける困りごとに健常も障害もありません。2021年に施行された「医療的ケア児支援法」では、医療的ケア児とその家族への支援に関する国や自治体の責務が明記され、総則には「家族の離職の防止」が記されています。医療的ケア児に限らず、健常児も障害児もすべて包含し、「子育ては社会全体で支える」という大館市であって欲しいと思います。子育てによって親に生じる社会的・経済的なリスクや不利を一つ一つ解消していくことが求められるのではないのでしょうか。障害があっても安心して	本計画は「全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送ることが出来る社会」を目指して作成するものです。 ご意見の通り、病気や障害により突然環境が変わることは、誰にでも起こり得るものです。また、虐待、貧困など様々な支援を要する人々がいます。 基本目標3は、あらゆる成育環境においても子どもが健やかに成長するために、当市が提供するサービスや様々な社会資源が連携して、包括的に支援していくよう体制整備を行うことを表しています。 しかし、病気や障害を持つ子どもの親が仕事を辞めなくてもよい環境作りには、行政や関係機関のみならず、病気や障害等に対する市民の理解が不可欠であると考えます。 「子育てを市民の皆さんと共に支える社会」を実現するために、市民への啓発と包括的な支援体制作りを進めてまいります。

	暮らせる社会を目指して、大館市の皆さんの意識が変わることを願っています。	
25	カフェや本屋、レストランなどが併設されたおしゃれな図書館が欲しいです。 『和歌山市立図書館』を訪れた際、とても素敵なお店で「大館市にもあったらいいのにな」と思いました。 児童書がある階は、階段が段々畑のような作りになっており、子どもが靴を脱いで絵本を手にとってその場で読めるような工夫がされていました。また同じ絵本が数冊あって、貸し出されているがゆえに出会えない絵本がない点や、返却を待たなくても貸りられる点も魅力的でした。 さらに、児童書がある階には子育て支援センターの遊び場があり、遊び場で遊んだあとは図書館で絵本を読んだり、貸りて帰ったりと、小さい頃からたくさんの絵本と触れ合え絵本が身近にある環境づくりをされているのも素晴らしいと思いました。 また、大人が読む本もたくさんあり、館内で読むのはもちろん、人工芝生のある屋上に裸足であがり、寝転がったり歩きながら好きな格好で読むことができます。そして別階には本屋とカフェも併設されており、図書館で貸りた本を本屋で買ってもいいし、買った貸りた本をカフェで読んでもいいし、本の楽しみ方が幾分にもあって非常に素敵でした。 雪深い大館市で、体を動かす屋内の遊び場も良いが、じっくり絵本を楽しむこのような環境がほしいと思いました。	絵本や児童書などについては、お子様の情緒の安定や発達に良い影響を与えるものとして、保育園などでも保護者へ積極的に購入のお願いをしており、また、施設によっては貸し出しも行ってあります。 また、就学前の児童の対象施設としては、私立の学校法人で運営している「こどもと絵本の家」がございします。週に2日程度開放しており、様々な絵本や児童書を無料で読むことができ、子育て支援の専門員が配置されており、月に1回イベントなども実施しております。是非、ご利用ください。 市内4つの図書館に、靴を脱いでくつろぎながら絵本が読めるスペースがございします。以下施設ごとの特徴です。 【栗盛記念図書館】 多目的室（絵本や育児書などの部屋）の一角にジョイントマットを敷き、ぬいぐるみや布絵本を設置しています。ここで遊ぶお子様や読み聞かせをする親子の姿が常時見られます。ベビーカーや本を入れるカートも置いています。併設のカフェはございませんが、自動販売機を設置したラウンジがあり、飲み物などを飲みながらの読書も可能です。現在はお店側の都合により実施していませんが、クレープのキッチンカーが定期的に栗盛記念図書館敷地内に出店していた時期があり、小学生などがよく利用していました。 【花矢図書館】 畳敷きの児童室 【比内図書館と田代図書館】 絨毯敷きの絵本の閲覧スペースがあり、比内図書館の閲覧スペースにはベビーベッドもございします。
26	子ども用品（特におむつなどの消耗品）は消費税を還元してほしい。 低年齢の子どもが複数いると、消耗品にお金がかかるように思っています。	本市では、国及び県の補助を活用した妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的な支援（出産・子育て応援給付金）を一体として実施しております。 ①「出産応援給付金」（妊娠1回につき5万円の支給） ②「子育て応援給付金」（出産後、児童1人につき5万円の支給） ③「あきた出産おめでとう給付金」（出産後、児童1人につき2万円支給） また、市の独自支援として、次代を担う子どもの出生を祝福するため地域限定商品券を贈呈する「④はちくんすくすく子育て支援事業」（第1子10万円、第2子以降5万円）低年齢児の相談支援体制の強化を図ることを目的とした「⑤ほっとワンツー応援事業」（子育てに関するアンケートに回答した1歳及び2歳の誕生日を迎えたお子さんがいる家庭へ児童1人あたり2万円分の地域限定商品券の贈呈）を行っています。 総合すると、妊娠から2歳の誕生日までの間で、第1子は26万円、第2子以降は21万円の経済的な支援を行っているところでございします。 消費税の還元につきましては、国の施策となりますので、回答は控えさせていただきます。
27	動物とふれあえる施設が欲しいです。	秋田犬は、飼い主やよく知っている人以外に触れられることが苦手な場合が多く、犬の健康面と安全面を

	秋田犬と触れ合えない秋田犬の里はいつ行っても物足りないです。 成犬が危険なら仔犬とのふれあい体験ができるといいと思います。	考慮した展示方法としておりますので、ご理解とご協力をお願いします。
28	子連れ歓迎な飲食店の一覧が欲しいです。	県で実施している「あきたふれあいカード事業（子育て優待サービス事業）」では子育てに理解のある事業所にカードを提示すると特典を受けられるという事業を行っており、飲食店等の一覧を作成しております。本市の事業所も掲載されており、カードは子ども課窓口で発行しております。事業所の一覧はあきたの結婚・子育て応援 Web サイト「いっしょにねっと」で閲覧できますので、ご利用ください。 また、市内商工団体等と連携し、子どもさんとの入店を歓迎する飲食店のアンケートを実施するなどして、情報を集めた一覧の作成を検討してまいります。
29	農業の栽培や収穫体験ができる施設が欲しいです。	本市では南ヶ丘、有浦に市民菜園を開設しております。食育の観点から、栽培を体験いただければと思います。 広報おおだて令和7年3月号の10ページに市民菜園について記載しておりますので、どうぞご利用ください。 ※来年度の募集期間は、3月10日～24日までとなります。

秋田県大館市 **地区別世帯人口調べ（住民基本台帳人口）** 令和7年2月末日現在

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳に含まれました。

地 区 名	人 口			世帯数
	男	女	計	
大館	12,475	14,031	26,506	13,086
釈迦内	2,744	3,174	5,918	2,821
長木	1,737	1,973	3,710	1,709
上川沿	1,030	1,162	2,192	989
下川沿	2,198	2,390	4,588	2,204
真中	471	547	1,018	436
二井田	880	935	1,815	792
十二所	1,303	1,490	2,793	1,488
花岡	925	1,079	2,004	1,008
矢立	648	650	1,298	620
田代	2,468	2,699	5,167	2,295
扇田	1,754	1,996	3,750	1,761
東館	907	938	1,845	776
西館	1,078	1,130	2,208	887
大葛	196	203	399	191
合計	30,814	34,397	65,211	31,063

年 齢 別 人 口 調 べ (住 民 基 本 台 帳 人 口)

秋田県大館市

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳に含まれました。

令和7年2月末日現在

年齢	人口			年齢	人口			年齢	人口			計
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
0	113	109	222	35	282	231	513	70	541	567	1,108	
1	104	110	214	36	285	255	540	71	582	618	1,200	
2	154	135	289	37	304	303	607	72	538	654	1,192	
3	177	132	309	38	308	305	613	73	535	645	1,180	
4	137	151	288	39	302	302	604	74	575	678	1,253	
5	179	158	337	40	373	317	690	75	633	722	1,355	
6	162	169	331	41	374	319	693	76	534	674	1,208	
7	189	183	372	42	358	319	677	77	587	714	1,301	
8	186	204	390	43	362	349	711	78	389	508	897	
9	223	180	403	44	391	344	735	79	268	392	660	
10	215	179	394	45	398	327	725	80	338	456	794	
11	208	212	420	46	425	396	821	81	336	587	923	
12	225	216	441	47	416	408	824	82	315	519	834	
13	254	246	500	48	490	386	876	83	283	534	817	
14	240	230	470	49	471	453	924	84	256	544	800	
15	276	219	495	50	476	449	925	85	199	443	642	
16	315	245	560	51	472	434	906	86	246	402	648	
17	258	268	526	52	468	427	895	87	230	477	707	
18	273	279	552	53	428	437	865	88	208	450	658	
19	277	241	518	54	427	421	848	89	193	448	641	
20	249	217	466	55	412	421	833	90	145	385	530	
21	201	219	420	56	401	444	845	91	107	339	446	
22	234	226	460	57	419	437	856	92	102	292	394	
23	213	210	423	58	355	371	726	93	79	250	329	
24	217	195	412	59	441	425	866	94	72	204	276	
25	234	209	443	60	440	488	928	95	38	130	168	
26	232	211	443	61	449	449	898	96	28	113	141	
27	211	201	412	62	443	493	936	97	15	108	123	
28	254	208	462	63	491	489	980	98	11	64	75	
29	255	186	441	64	494	523	1,017	99	7	41	48	
30	262	218	480	65	484	514	998	100～	10	67	77	
31	259	213	472	66	509	549	1,058					
32	269	243	512	67	506	532	1,038					
33	260	202	462	68	498	481	979					
34	256	242	498	69	491	508	999	計	30,814	34,397	65,211	

段階別人口集計				
年齢	人口			計
	男	女		
0～4	685	637		1,322
5～9	939	894		1,833
10～14	1,142	1,083		2,225
15～19	1,399	1,252		2,651
20～24	1,114	1,067		2,181
25～29	1,186	1,015		2,201
30～34	1,306	1,118		2,424
35～39	1,481	1,396		2,877
40～44	1,858	1,648		3,506
45～49	2,200	1,970		4,170
50～54	2,271	2,168		4,439
55～59	2,028	2,098		4,126
60～64	2,317	2,442		4,759
65～69	2,488	2,584		5,072
70～74	2,771	3,162		5,933
75～79	2,411	3,010		5,421
80～84	1,528	2,640		4,168
85～89	1,076	2,220		3,296
90～94	505	1,470		1,975
95～99	99	456		555
100～	10	67		77
計	30,814	34,397		65,211

行政区別世帯人口調べ（住民基本台帳人口）

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳に含まれました。

令和7年 2 月末日現在

行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数
000101	桂城	87	96	183	93	000131	末広町	42	44	86	47	000161	旭ヶ丘	273	292	565	313
000102	金坂	182	196	378	191	000132	弁天町	63	73	136	73	000162	住吉町	169	151	320	147
000103	赤館	113	147	260	123	000133	大正町	48	57	105	59	000163	小館町	123	135	258	127
000104	部垂町	50	56	106	67	000134	御坂	217	260	477	205	000164	長根山	545	569	1,114	549
000105	桜町	151	208	359	178	000135	新富町	32	46	78	41	000165	南ヶ丘	126	151	277	136
000106	相染町	242	264	506	261	000136	大町 1 区	16	14	30	20	000166	有浦 3 丁目	170	208	378	186
000107	向町	31	47	78	50	000137	大町 2 区	16	25	41	30	000167	水門町	451	504	955	447
000108	一心町	79	93	172	104	000138	寺町	5	12	17	8	000168	雇用促進住宅	20	16	36	34
000109	谷地町	83	88	171	88	000139	常盤木町	44	51	95	51	000169	仲見世	15	15	30	22
000110	長倉町	49	67	116	56	000140	昭和町	58	73	131	66	000170	泉町	52	54	106	57
000111	愛宕町	51	60	111	53	000141	神明町	54	40	94	58	000171	曙町	62	66	128	60
000112	古川町	66	74	140	79	000142	南神明町	182	197	379	204	000172	御成町市営住宅	10	26	36	29
000113	大下町	121	130	251	122	000143	東新	17	21	38	22	000173	たつみ町	208	250	458	236
000114	鉄砲場	166	147	313	168	000144	新地	124	140	264	123	000174	田代町 2 区	77	80	157	83
000115	通町	116	141	257	139	000145	南町	20	37	57	39	000175	田代町 3 区	118	146	264	136
000116	独鈷町	162	206	368	165	000146	田代町 1 区	129	145	274	166	000176	東台 2 区	143	182	325	156
000117	川原町	84	90	174	82	000147	新町	69	58	127	74	000177	東台 3 区	308	370	678	326
000118	御成町 5 丁目	117	113	230	127	000148	中町	23	19	42	19	000178	東台 4 区	256	275	531	247
000119	御成町 4 丁目	133	172	305	160	000149	馬喰町	11	15	26	18	000179	清水町住宅	302	329	631	306
000120	御成町 3 丁目	185	201	386	205	000150	柄沢	415	452	867	445	000180	有浦 2 丁目	98	128	226	129
000121	御成町 2 丁目	98	129	227	132	000151	東台 1 区	151	196	347	166	000181	東有浦町	618	673	1,291	555
000122	御成町 1 丁目 1 区	27	33	60	26	000152	市営新町住宅	3	17	20	15	000182	有浦 4 丁目	761	875	1,636	703
000123	御成町 1 丁目 2 区	30	24	54	25	000153	市営中町住宅	12	20	32	19	000183	有浦 5 丁目	319	350	669	298
000124	御成町 1 丁目 3 区	55	71	126	61	000154	市営向町住宅	12	40	52	35	000184	清水南町	269	302	571	294
000125	御成町 1 丁目 4 区	219	232	451	179	000155	有浦 1 丁目	224	256	480	233	000185	中道 1 区	25	24	49	25
000126	東成町	308	319	627	278	000156	中神明町	185	182	367	167	000186	緑ヶ丘	159	185	344	150
000127	中道	61	96	157	90	000157	城西町	195	195	390	176	000187	有浦 6 丁目	387	456	843	373
000128	清水町	311	359	670	354	000158	東町	89	103	192	109	000188	南たつみ町	82	80	162	81
000129	栄町	67	77	144	87	000159	豊町	180	182	362	195	000189	田代町 4 区	69	72	141	70
000130	田町	39	47	86	52	000160	北神明町	141	114	255	133						

行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数
000201	小釈迦内	51	71	122	63	000301	上代野	200	230	430	213	000401	中山	62	70	132	51
000202	板子石	422	524	946	493	000302	下代野 1 区	174	196	370	174	000402	沢山	38	52	90	44
000203	日景町 1 区	83	97	180	89	000303	下代野 2 区	66	60	126	62	000403	羽立	101	135	236	117
000204	向羽立	111	131	242	131	000304	下代野 3 区	34	32	66	26	000404	金谷	29	34	63	24
000205	獅子ヶ森 1 区	380	401	781	362	000305	下代野 4 区	113	138	251	102	000405	餌釣	135	167	302	134
000206	獅子ヶ森 2 区	113	169	282	170	000306	東二ツ屋	37	42	79	33	000406	池内	173	212	385	173
000207	大通	44	43	87	36	000307	宮袋	18	19	37	16	000407	小館花	31	26	57	23
000208	中通	41	50	91	33	000308	大茂内	164	173	337	143	000408	根下戸	230	223	453	190
000209	上通	35	37	72	37	000309	小茂内	45	36	81	33	000409	舟場	78	86	164	80
000210	山神台	145	156	301	126	000310	芦田子	120	140	260	111	000410	萩野台 1 区	116	105	221	109
000211	長面	77	100	177	83	000311	塞の神	86	99	185	67	000411	萩野台 2 区	37	52	89	44
000212	長面袋	60	56	116	42	000312	小雪沢	21	22	43	17						
000213	商人留	103	105	208	89	000313	大明神	21	18	39	21						
000214	松峰	95	100	195	83	000314	新沢	54	61	115	49						
000215	松木 1 区	116	139	255	110	000315	赤沢	5	9	14	5						
000216	松木 2 区	48	52	100	49	000316	黒沢	16	15	31	17						
000217	沼館 1 区	29	44	73	40	000317	茂内屋敷	20	24	44	22						
000218	沼館 2 区	180	194	374	163	000318	水沢	18	22	40	18						
000219	上袋町	12	14	26	13	000319	竜谷	13	10	23	12						
000220	日景町 2 区	162	157	319	166	000320	石渕	14	10	24	10						
000223	日鉱獅子ヶ森	24	24	48	22	000321	二ツ屋	7	6	13	7						
000224	二ツ森	98	109	207	93	000322	積ヶ岱	0	0	0	0						
000225	御町	1	1	2	1	000323	天下町 1 区	178	194	372	158						
000226	高館下	84	95	179	75	000324	天下町 2 区	88	98	186	85						
000227	釈迦内中台	62	69	131	62	000325	天下町 3 区	76	82	158	84						
000228	県市公営住宅	48	75	123	60	000326	天下町 4 区	45	51	96	45						
000229	釈・雇用促進住宅	23	44	67	45	000327	鳳町	88	104	192	81						
000230	獅子ヶ森 3 区	97	117	214	85	000371	水交苑	16	82	98	98						

行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数
000801	大滝 1 区	73	72	145	80	000901	本郷上	129	141	270	130	000939	陣場 1 区	18	20	38	21
000802	大滝 2 区	132	153	285	149	000902	本郷下	84	105	189	96	000940	陣場 2 区	21	22	43	23
000803	平内	22	25	47	21	000903	繫沢	23	35	58	26	000941	日景温泉	1	2	3	3
000804	下町	69	82	151	77	000904	土目内	45	53	98	48	000942	長森団地	13	11	24	13
000805	中町	45	72	117	50	000905	二井山	61	69	130	68	000943	白根山団地	3	2	5	2
000806	上町	45	53	98	44	000907	鳥内	33	32	65	26	000971	神山荘	9	54	63	63
000807	上新町	67	85	152	68	000908	十三森	27	30	57	29	000972	矢立育成園	13	6	19	19
000808	別所	83	83	166	64	000909	大森	40	58	98	44						
000809	沢尻	86	75	161	62	000910	神山	102	111	213	98						
000810	葛原	121	119	240	108	000911	姥沢	47	43	90	46						
000811	猿間	68	78	146	55	000912	桜町 1 区	5	5	10	6						
000812	浦山	47	50	97	39	000913	桜町 2 区	11	12	23	11						
000813	軽井沢 1 区	37	47	84	36	000914	桜町 3 区	7	9	16	9						
000814	軽井沢 2 区	125	133	258	146	000915	桜町 4 区	3	5	8	6						
000815	曲田	77	84	161	70	000917	泉田	19	18	37	20						
000816	道目木	56	59	115	50	000918	猫鼻	95	94	189	90						
000871	(老) 成章園	21	50	71	71	000919	大森団地	70	82	152	71						
000872	軽井沢福祉園	28	29	57	57	000920	花岡団地	44	40	84	38						
000873	道目木更生園	59	38	97	97	000921	神山社宅	19	18	37	17						
000874	特養ホーム	28	80	108	108	000924	西前田	36	52	88	51						
000875	ケアハウス	14	23	37	36	000927	粕田 1 区	39	43	82	38						
						000928	粕田 2 区	48	58	106	46						
						000929	中羽立	34	38	72	33						
						000930	清水川	33	31	64	27						
						000931	岩本	37	41	78	29						
						000932	橋桁	37	36	73	31						
						000933	白沢 1 区	78	100	178	81						
						000934	白沢 2 区	110	86	196	105						
						000935	白沢 3 区	50	47	97	49						
						000936	寺ノ沢	42	38	80	34						
						000937	松原	57	54	111	54						
						000938	長走	30	28	58	27						

行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数
000621	比内丁	227	251	478	201	000653	宿内	6	5	11	6						
000622	馬喰町	53	58	111	52	000654	新館	46	49	95	41						
000623	大町	24	24	48	19	000655	駒橋	30	30	60	25						
000624	中町	26	37	63	29	000656	野開	73	56	129	53						
000625	新町	24	31	55	24	000657	釣田	56	55	111	39						
000626	市川	245	239	484	225	000658	達子	94	98	192	80						
000627	東雲町	76	84	160	90	000659	水曲	83	87	170	79						
000628	伊勢町	146	163	309	125	000660	笹館	73	89	162	61						
000629	曙町	45	48	93	41	000661	小新田	34	32	66	27						
000630	南町	192	210	402	167	000662	羽立	54	51	105	40						
000631	八幡町	167	152	319	151	000663	大原木	16	11	27	12						
000632	笹刈	62	134	196	158	000664	沼田	34	37	71	26						
000633	横町	41	51	92	43	000665	谷地中	14	11	25	12						
000634	新丁	78	104	182	77	000666	大巻	76	75	151	52						
000635	裏通町	57	63	120	58	000667	弥助	17	16	33	14						
000636	扇ノ丁	55	73	128	66	000668	片貝	57	74	131	57						
000637	下川端	101	113	214	95	000669	二ツ森	20	21	41	18						
000638	上川端	47	53	100	46	000670	前田野	244	261	505	213						
000639	朝日町	88	108	196	94	000671	寺崎	38	40	78	28						
000640	独鈷	174	192	366	165	000672	八木橋	64	83	147	51						
000641	向田	42	51	93	36	000674	畑沢	20	18	38	14						
000642	沢	41	50	91	38	000675	板戸	51	44	95	39						
000643	日詰	50	50	100	40	000676	水沢	5	4	9	6						
000644	炭谷	14	14	28	11	000677	白沢	5	7	12	7						
000645	中野	143	158	301	124	000678	小坪沢	23	16	39	12						
000646	長内沢	10	15	25	13	000679	大葛温泉	9	12	21	8						
000647	五日市	124	110	234	94	000680	大谷	23	36	59	29						
000648	田尻	29	36	65	27	000681	大葛	35	35	70	39						
000649	二タ又間戸石	5	4	9	5	000682	森越	51	42	93	45						
000650	竹原	19	15	34	11	000683	長部	31	33	64	27						
000651	味噌内中	27	35	62	23	000684	大渡夏焼	16	16	32	12						
000652	味噌内下	74	68	142	64	000685	森合	31	29	60	31						

行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数	行政区番号	行政区名称	男	女	合計	世帯数
000721	出口 1	23	29	52	22	000754	伊勢堂下	19	20	39	19	000787	南町	102	105	207	93
000722	出口 2	55	56	111	43	000755	下岩瀬	91	94	185	79	000788	中島	85	93	178	75
000723	出口 3	17	22	39	26	000756	杉子沢	34	36	70	34	000789	長慶荘	9	51	60	60
000724	出口 4	19	28	47	22	000757	赤沼	52	57	109	57	000790	若杉	44	52	96	35
000725	出口 5	15	16	31	17	000758	羽貫谷地	14	18	32	19						
000726	出口 6	110	107	217	85	000759	上岩瀬	37	39	76	36						
000727	桜花	53	65	118	55	000760	代野	54	55	109	55						
000728	赤坂下	44	52	96	33	000761	赤川	59	56	115	45						
000729	比立内	27	33	60	26	000762	茂屋	64	72	136	50						
000730	外川原	63	51	114	47	000763	田の沢	33	32	65	25						
000731	大巻	76	71	147	66	000764	蛭沢	24	25	49	25						
000732	長坂	52	57	109	46	000765	田茂の木	13	16	29	12						
000733	長坂坂地	47	69	116	59	000766	越山	32	31	63	31						
000734	坂地	83	98	181	81	000767	羽立	18	24	42	23						
000735	本郷 1	23	24	47	25	000768	長谷地	11	7	18	8						
000736	本郷 2	29	34	63	31	000769	大石渡	16	21	37	19						
000737	本郷 3	37	35	72	31	000770	みのり台	55	64	119	55						
000738	中仕田	35	40	75	32	000771	桜岱	38	31	69	29						
000739	岩野目	44	68	112	54	000772	新明岱	15	18	33	13						
000740	大岱	17	14	31	10	000773	前田	34	34	68	26						
000741	李岱	13	26	39	20	000774	川反	30	33	63	28						
000742	深沢	4	5	9	4	000775	館町	23	26	49	17						
000743	大渕	3	4	7	5	000776	上名	23	25	48	18						
000744	大野	27	23	50	27	000777	向館	41	36	77	29						
000745	高祖	10	7	17	9	000779	赤坂	41	39	80	31						
000746	中谷地	13	12	25	11	000780	柏木	28	32	60	24						
000748	平滝	1	3	4	4	000781	保滝沢	5	10	15	7						
000749	深岱	5	3	8	5	000782	美杉	4	5	9	4						
000750	大柳	36	39	75	34	000783	大野岱	6	8	14	3						
000751	街道脇	21	23	44	18	000784	谷地の平東	105	113	218	86						
000752	玉石	22	18	40	19	000785	谷地の平緑	69	57	126	50						
000753	上軽石野岱	22	30	52	22	000786	谷地の平西	94	102	196	86		計	30,814	34,397	65,211	31,063

大館市 子ども課関連施設位置図

【凡例】

- ★ 認可保育園
- 認定こども園
- ★ へき地保育所
- 児童館・児童センター
- ★ 地域型保育
- ★ 事業所内託児所
- 幼稚園
- 児童発達支援センター
- ◇ 母子生活支援施設
- ✚ 病児・病後児保育室
- 地域子育て支援拠点
- ◇ ファミリー・サポート・センター
- ✚ 発達支援、放課後等デイサービス
- 室内遊び場

大館市児童発達支援センターひまわり

キッズテラスアットセイジュ
(企業主導型施設・病児保育施設併設)

ふあみーゆ

大館カトリックこども園

バンビーニ
(企業主導型施設・体調不良児型併設)

沼館保育所

城南保育園分園

下川沿保育所

医療法人和成会付属託児所
KIDS PORT

大館ホテヤ第二こども園

わんぱく広場

エンジェル

大館ホテヤこども園

大館市立総合病院
院内保育所はっちランド

宮の杜神明こども園

マミースマイル

ファミリー・サポート・センター

大館乳児保育園

白百合ホーム

元気ひろば保育園
(企業主導型施設)

二井田保育所

矢立保育所

クレイドル

釈迦内保育園

向陽こども園

つどいの広場ひよこ

子どもの遊び場

長木保育所

みらいっこ園

総合福祉センター

市役所

大館八幡こども園

のっぽ

城南保育園

大館幼稚園

南が丘こども園

比内地区

扇田こども園

扇田保育園

比内児童館

なかよしとっと

西館保育園

西館児童館

東館保育園

十二所地区

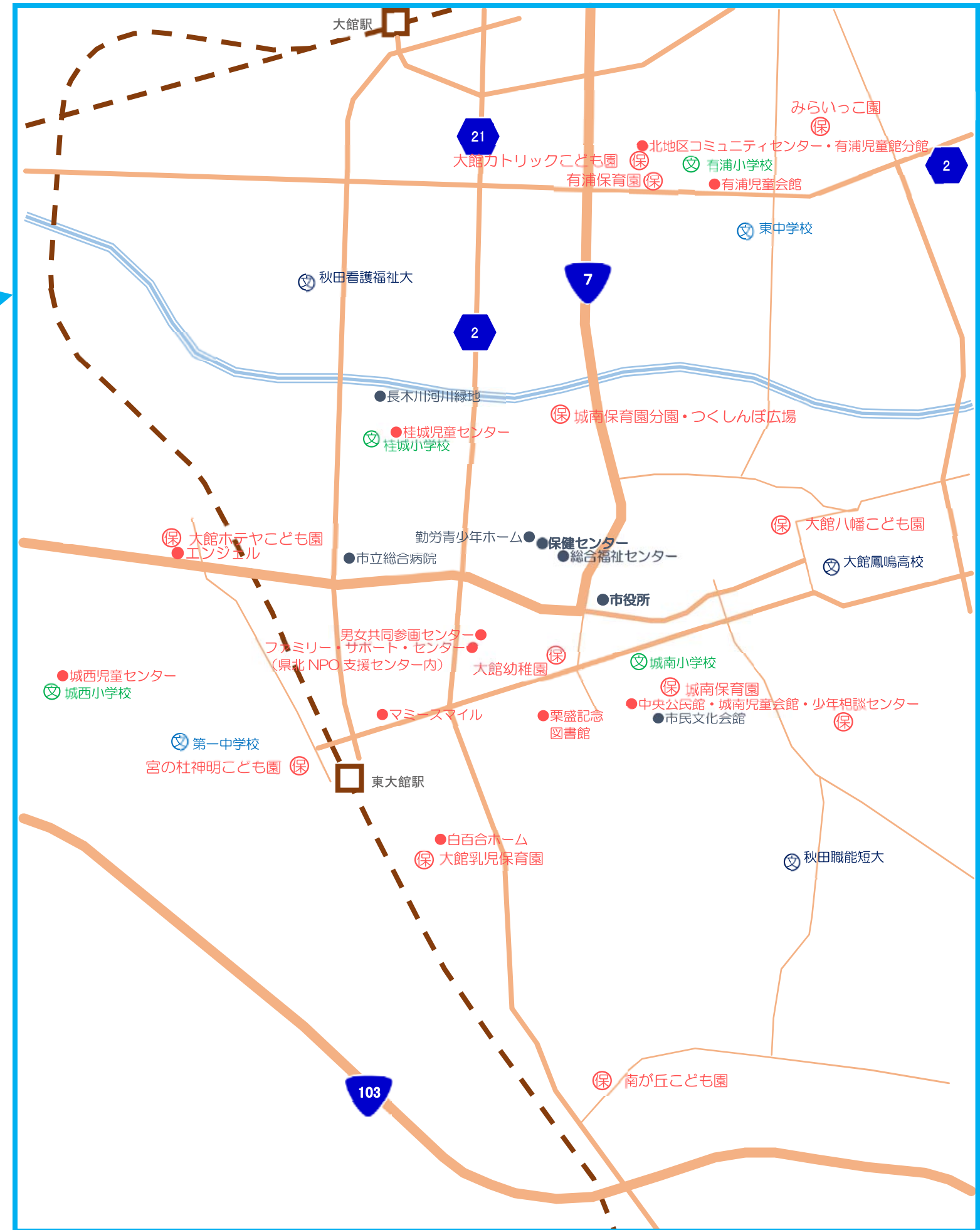
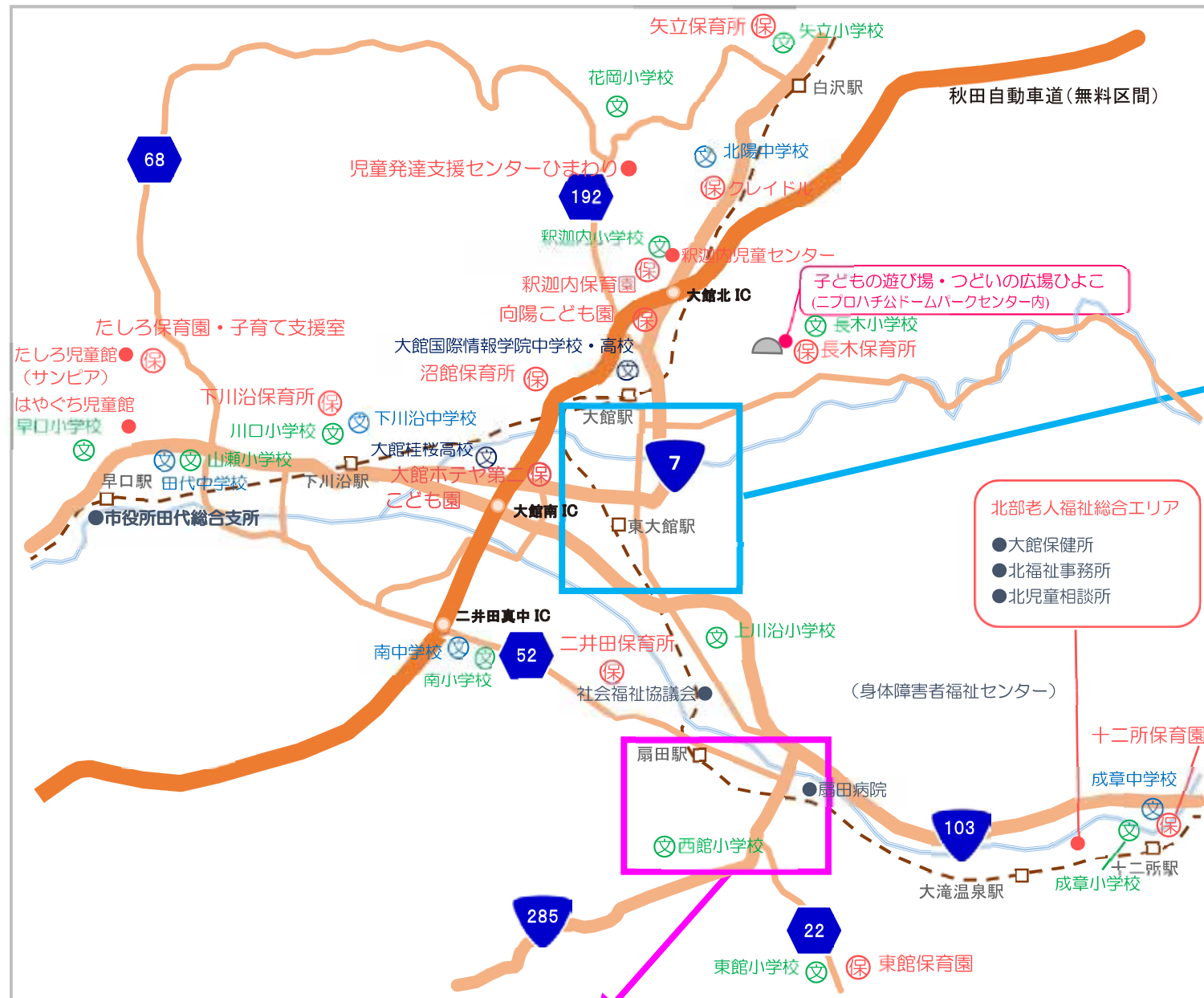
ふれあいセンターやまびこ

キッズスペース
森のおへや

十二所保育園

保育関連施設ごあんない Map

保…認可保育園・認定こども園・幼稚園・認可外保育施設 ●…その他保育関係施設
●…その他施設 小…小学校 中…中学校 高…高校・大学ほか



第3期

大館市子ども・子育て支援事業計画

令和7年3月発行

〒017-8555

大館市字中城20番地

大館市福祉部子ども課子育て支援係

TEL 0186-43-7053（直通）